

世田谷区子どもの読書に関する実態調査 報告書

世田谷区教育委員会

令和2年3月

目次

第1章 調査概要	3
1. 調査目的	3
2. 調査対象者	3
3. 調査方法	3
4. 調査期間	3
5. 調査項目	4
6. アンケート調査票の配布と回収	5
第2章 集計結果	7
I 子ども	7
II 保護者	43
III 子どもの読書嗜好と保護者の活動について.....	57
IV 自由記述（保護者）	59
第3章 調査票	71
I 子ども向けアンケート	71
II 保護者向けアンケート	75

第1章 調査概要

1. 調査目的

世田谷区では、「第2次世田谷区立図書館ビジョン 第2期行動計画」を策定し、すべての子どもたちの読書環境が充実するよう、様々な取り組みを進めております。

本調査は、子どもと保護者の読書の状況や読書活動を把握するため、5年ごとに実施しています。この調査結果を今後の子どもサービスに役立てるとともに、令和3年度からの「第3期行動計画」策定の参考資料とします。

2. 調査対象者

世田谷区住民基本台帳より、平成31年4月1日時点で5歳児・小学3年生・小学6年生・中学3年生の児童・生徒とその保護者、各500人を無作為抽出。

調査対象者サンプル数

調査対象者	子どもサンプル数	保護者サンプル数
5歳児		500
小学3年生	500	500
小学6年生	500	500
中学3年生	500	500
合 計	1,500	2,000

3. 調査方法

調査票を対象者に郵送し、郵送回収

4. 調査期間

令和元年10月1日～令和元年10月15日

5. 調査項目

調査項目は以下の通りです。調査票では、回答のしやすさを考慮して調査項目とは異なる順序になっています。

調査項目		子ども	保護者
基本属性	性別	○	○
	年齢	—	○
日頃の 読書状況	本を読むことについて	○	○
	本を読む理由	○	—
	本を読む場所	○	○
	1 か月間に読んだ本の数	○	○
	本を読まない理由	○	—
	子どもの頃の読み聞かせしてもらった経験	○	○
	読書量の変化、その理由	○	—
	(子どもの) 1 週間の活動	○	○
学校での 読書状況	1 か月間に学校図書館に行く回数	○	—
	1 か月間に学校図書館から借りる本の冊数	○	—
	学校での読書活動への参加・周知状況	○	—
	学校図書館への要望	○	—
区立図書館の 利用状況	1 か月間に区立図書館に行く回数	○	○
	区立図書館に行かない理由	○	—
	1 か月間に区立図書館から借りる本の冊数	○	○
	おはなし会への参加状況	○	—
	「こどもページ」「Teensのページ」の認知度	○	—
	「世田谷区家庭読書の日」の認知度	○	○
	区の図書館で実施している事業等の認知度	—	○
子どもの 読書活動の支援	1 か月間に子どもを図書館に連れていく回数	—	○
	子どもを図書館に連れていけない理由	—	○
	おはなし会への参加状況	—	○
	子どもへの読み聞かせの頻度	—	○
	読み聞かせを行わない理由	—	○
	子どもの読書環境を整えるためにしていること	—	○
	1 か月間に子どもに与える本の冊数	—	○
	子どもに与える本の入手場所	—	○
	子どもの読書環境を整えるために公立図書館で必要な活動	—	○
	子どもの読書環境を整えるために学校で必要な活動	—	○
	子どもの読書に対して期待すること	—	○
自由回答		—	○

6. アンケート調査票の配布と回収

配布数 3,500に対し、回収数 1,232。回収率は 35.2%。

アンケート調査票の配布と回収

調査対象者	配布数	回収数	回収率 (%)
5 歳児 保護者	500	222	44.4
小学 3 年生	500	183	36.6
小学 3 年生 保護者	500	183	36.6
小学 6 年生	500	169	33.8
小学 6 年生 保護者	500	169	33.8
中学 3 年生	500	153	30.6
中学 3 年生 保護者	500	153	30.6
合 計	3,500	1,232	35.2

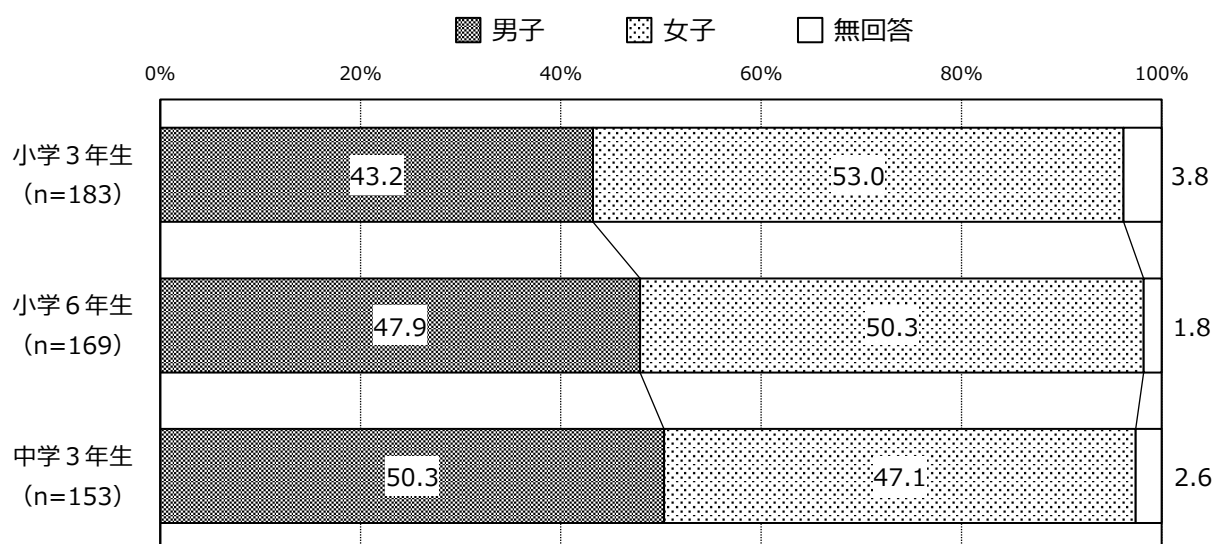
第2章 集計結果

I 子ども

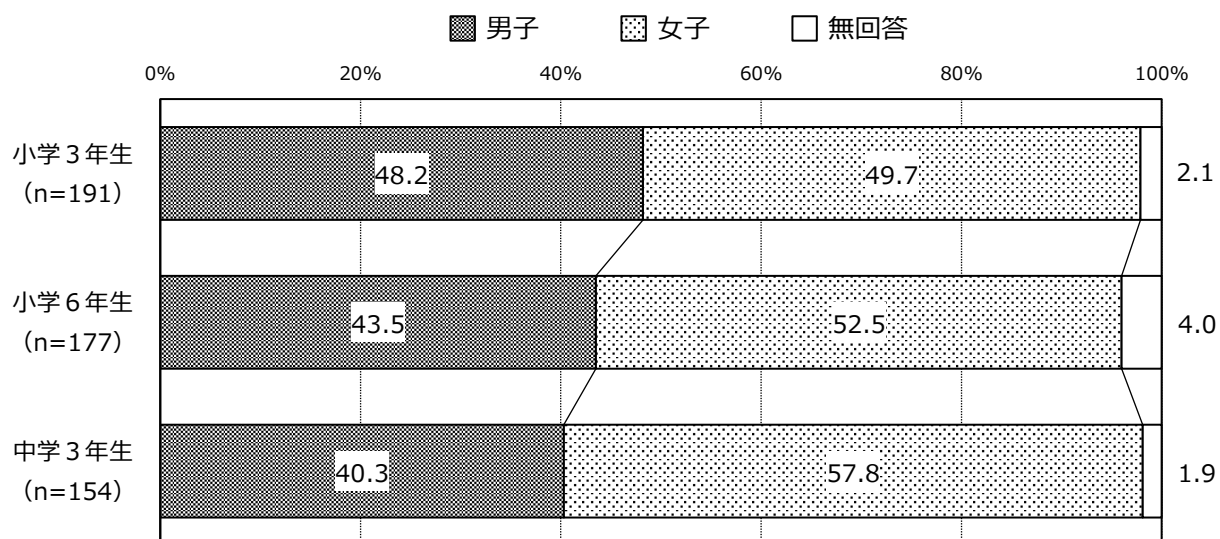
問1 あなたの性別を教えてください。

小学3年生と小学6年生は女子が50%超、中学3年生は男子が50%超。
【平成26年】は学齢が上がるにつれて女子の回答割合が高かったが、【令和元年】は男子の回答割合が高かった。

●令和元年（2019年）



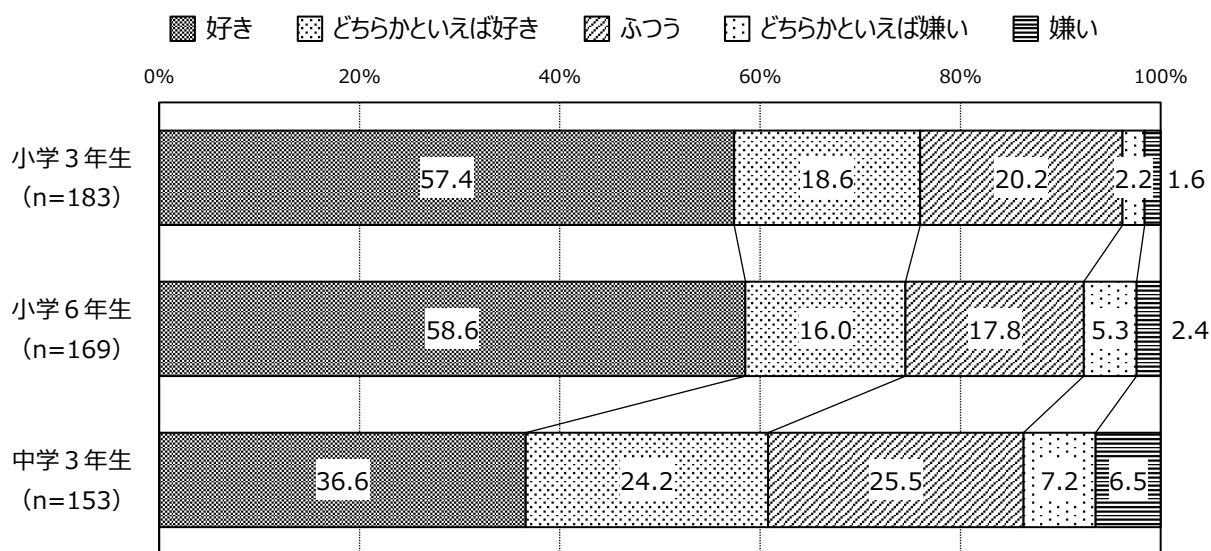
●平成26年（2014年）



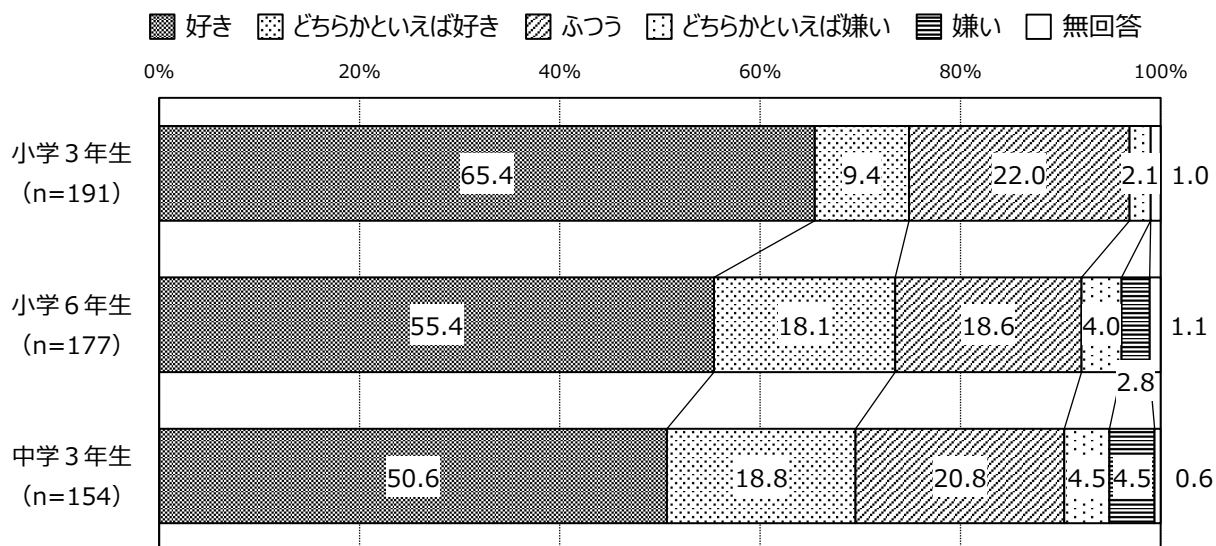
問2 あなたは本を読むのが好きですか。

どの学年も「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせると約60～75%と高い。
 【平成26年】は全ての学齢で「好き」と回答した割合が50%を超えていたが、【令和元年】は中学3年生
 50.6%→36.6%(14.0ポイント減)。

●令和元年（2019年）

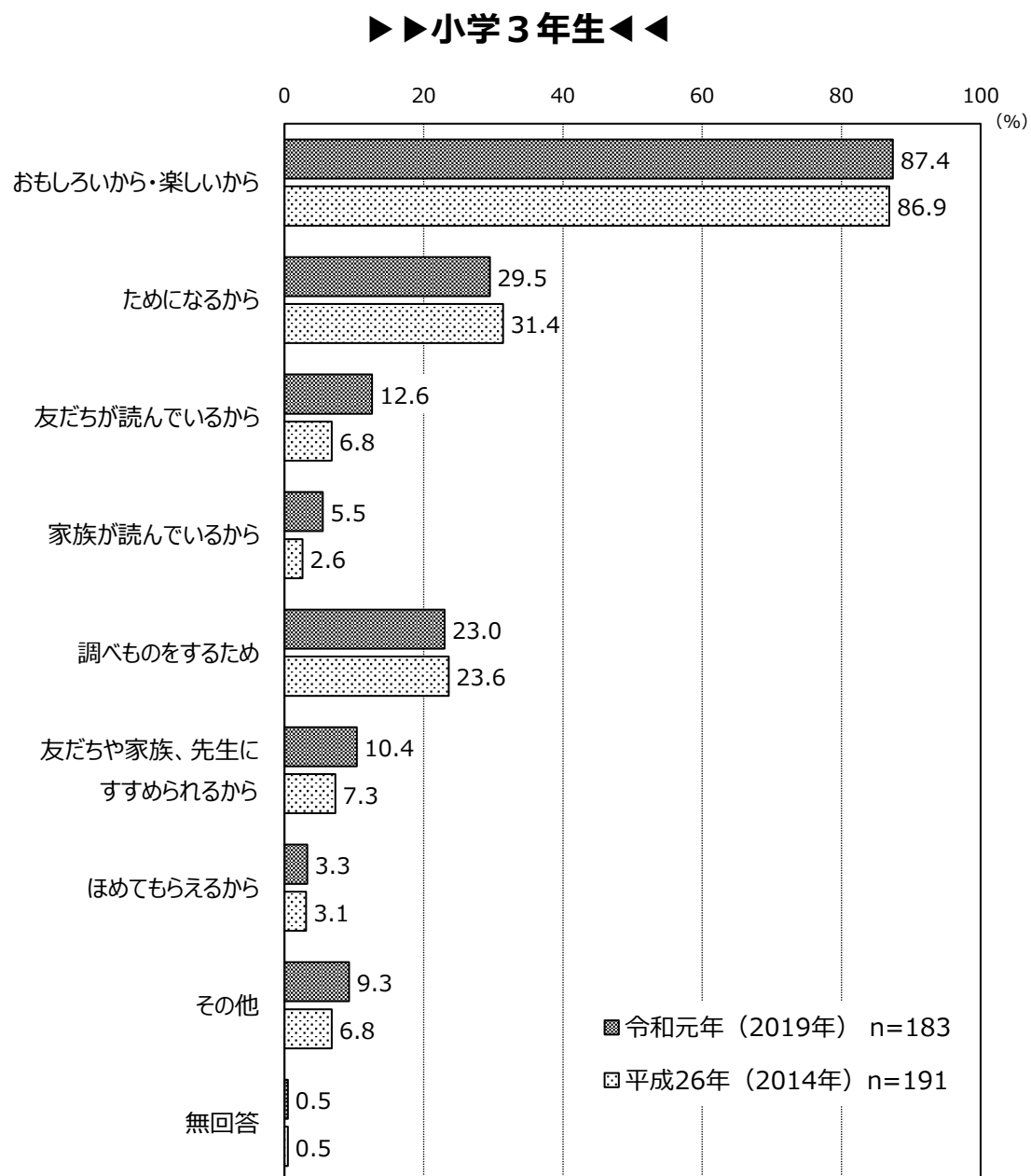


●平成26年（2014年）



問3 あなたが本を読むのはどうしてですか。（複数回答）

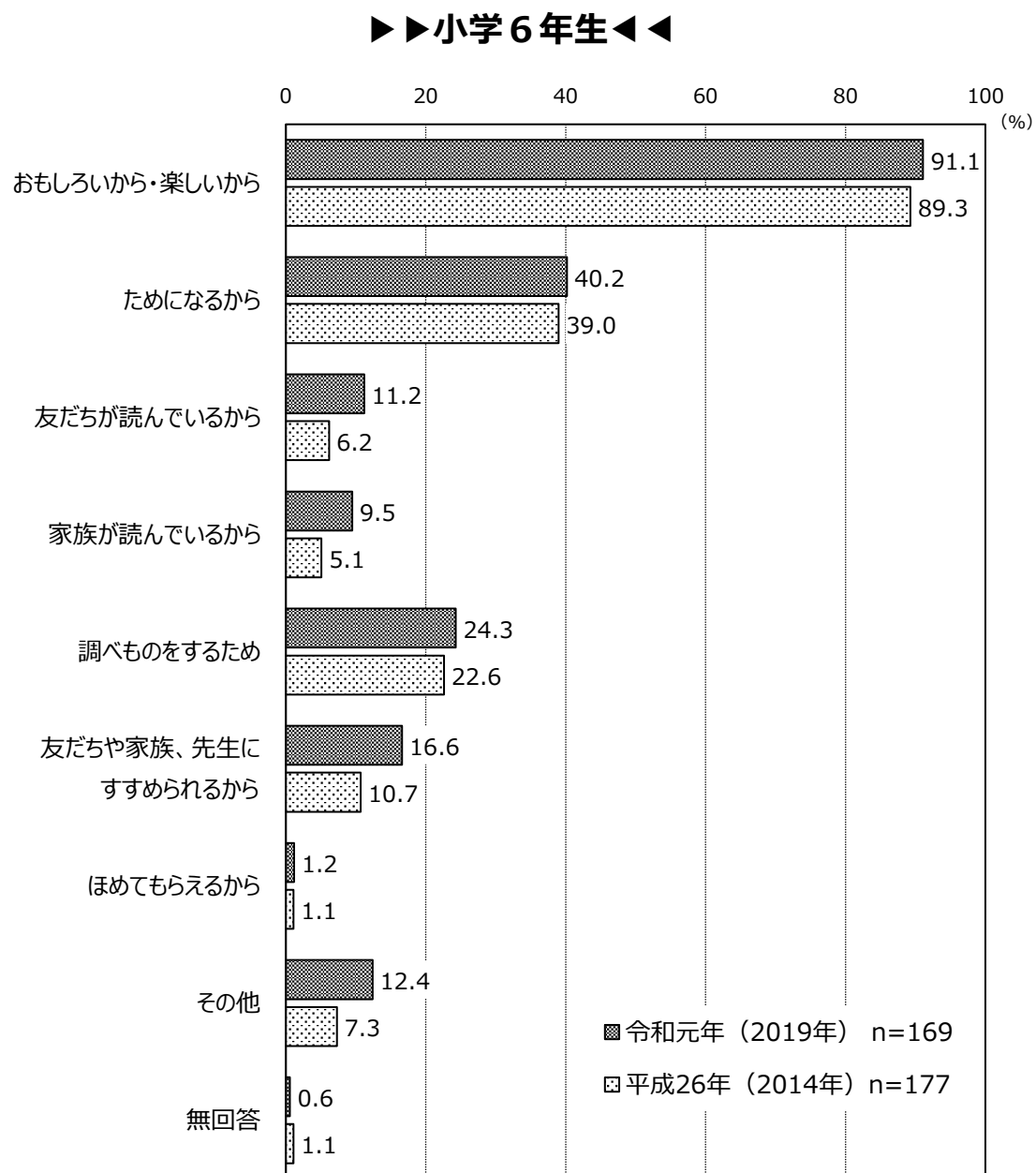
「おもしろいから・楽しいから」が最も高く87.4%、次いで「ためになるから」29.5%、
「調べものをするため」23.0%と続く。
【平成26年】と比べ、「友だちが読んでいるから」が6.8%→12.6%（5.8ポイント増）。



問3 あなたが本を読むのはどうしてですか。（複数回答）

「おもしろいから・楽しいから」が最も高く91.1%、次いで「ためになるから」40.2%、「調べものをするため」24.3%と続く。

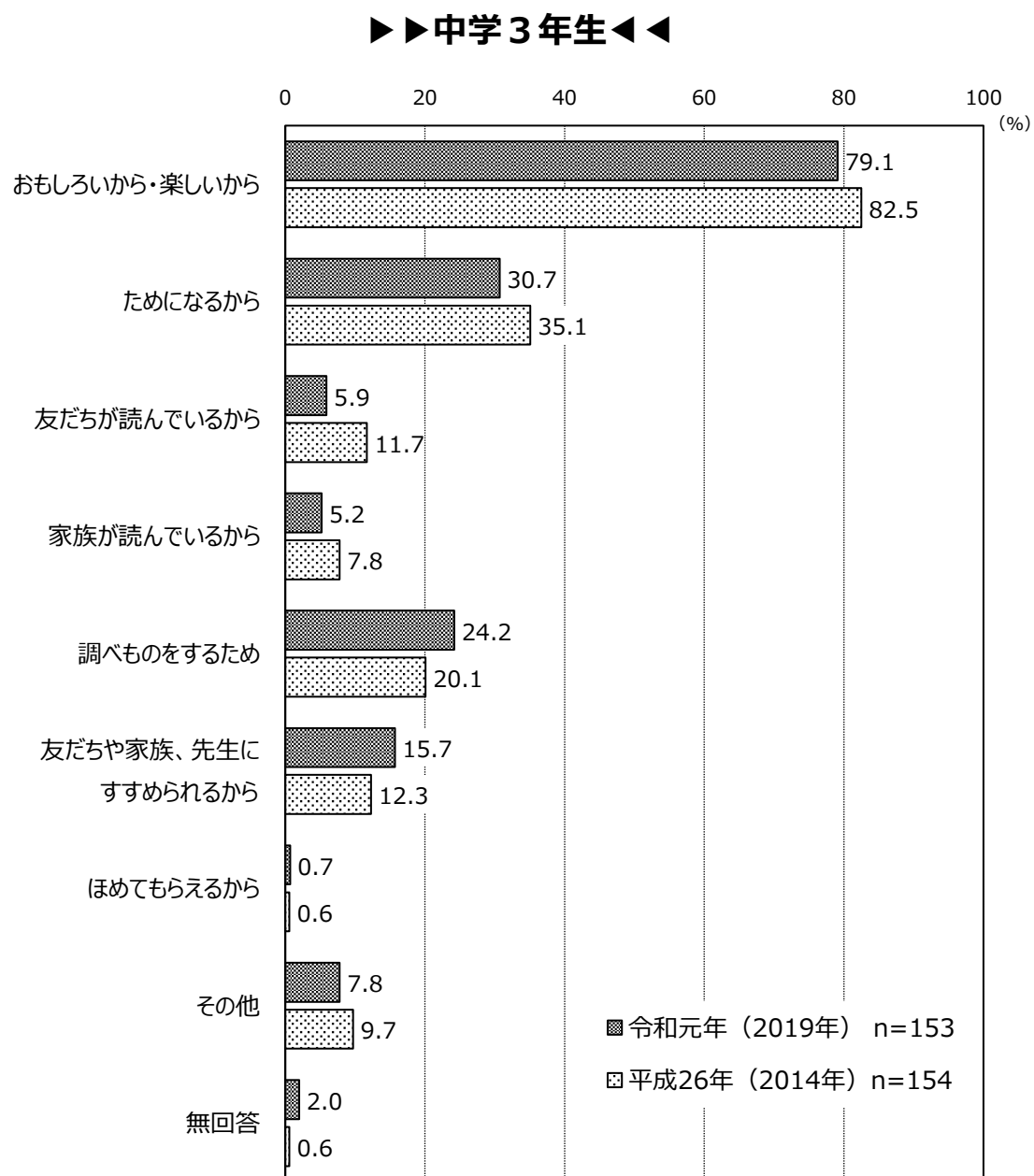
【平成26年】と比べ、「友だちや家族、先生にすすめられるから」が10.7%→16.6%（5.9ポイント増）。



問3 あなたが本を読むのはどうしてですか。（複数回答）

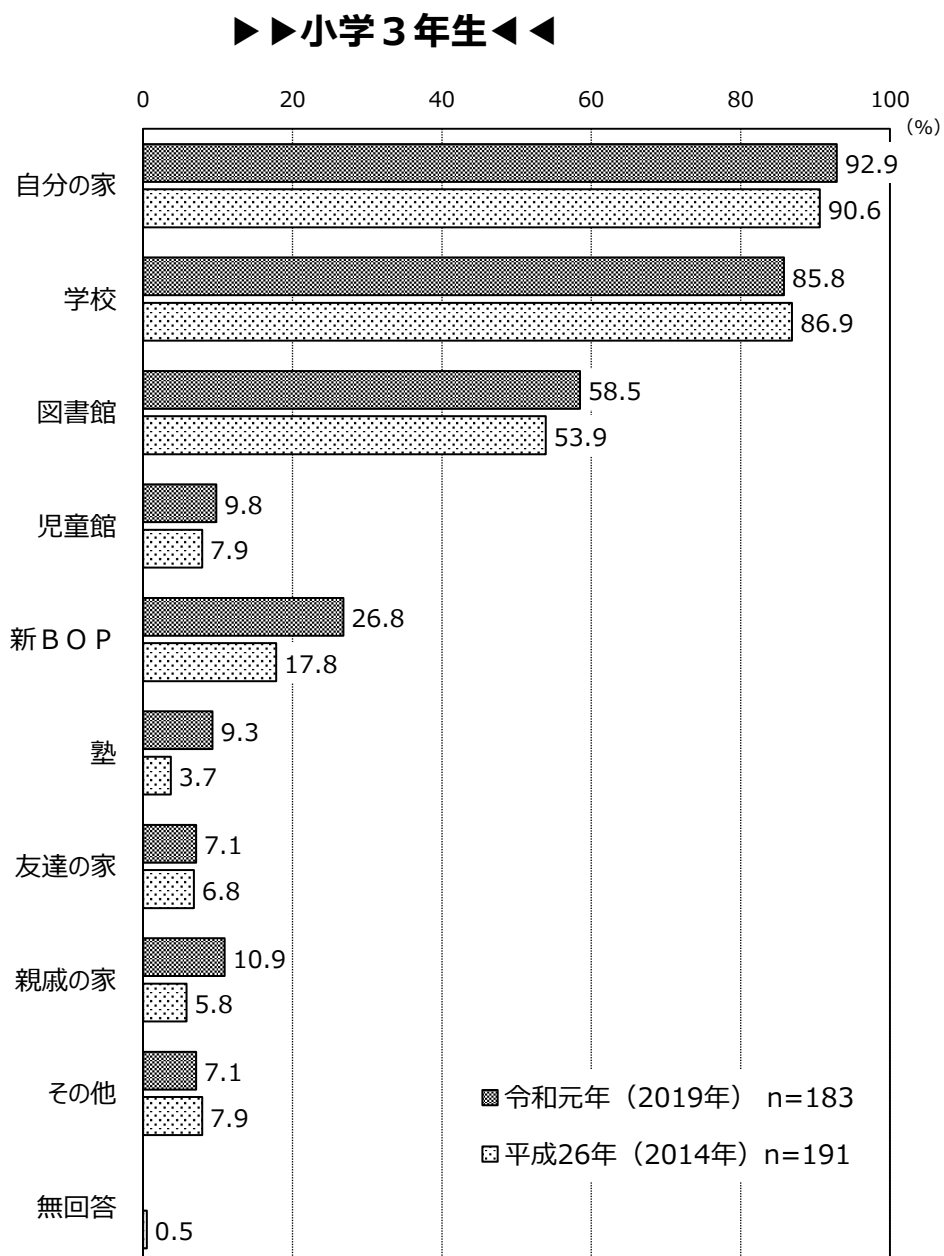
「おもしろいから・楽しいから」が最も高く79.1%、次いで「ためになるから」30.7%、「調べものをするため」24.2%と続く。

【平成26年】と【令和元年】を比較すると、「友だちが読んでいるから」以外の項目は概ね同程度の割合。



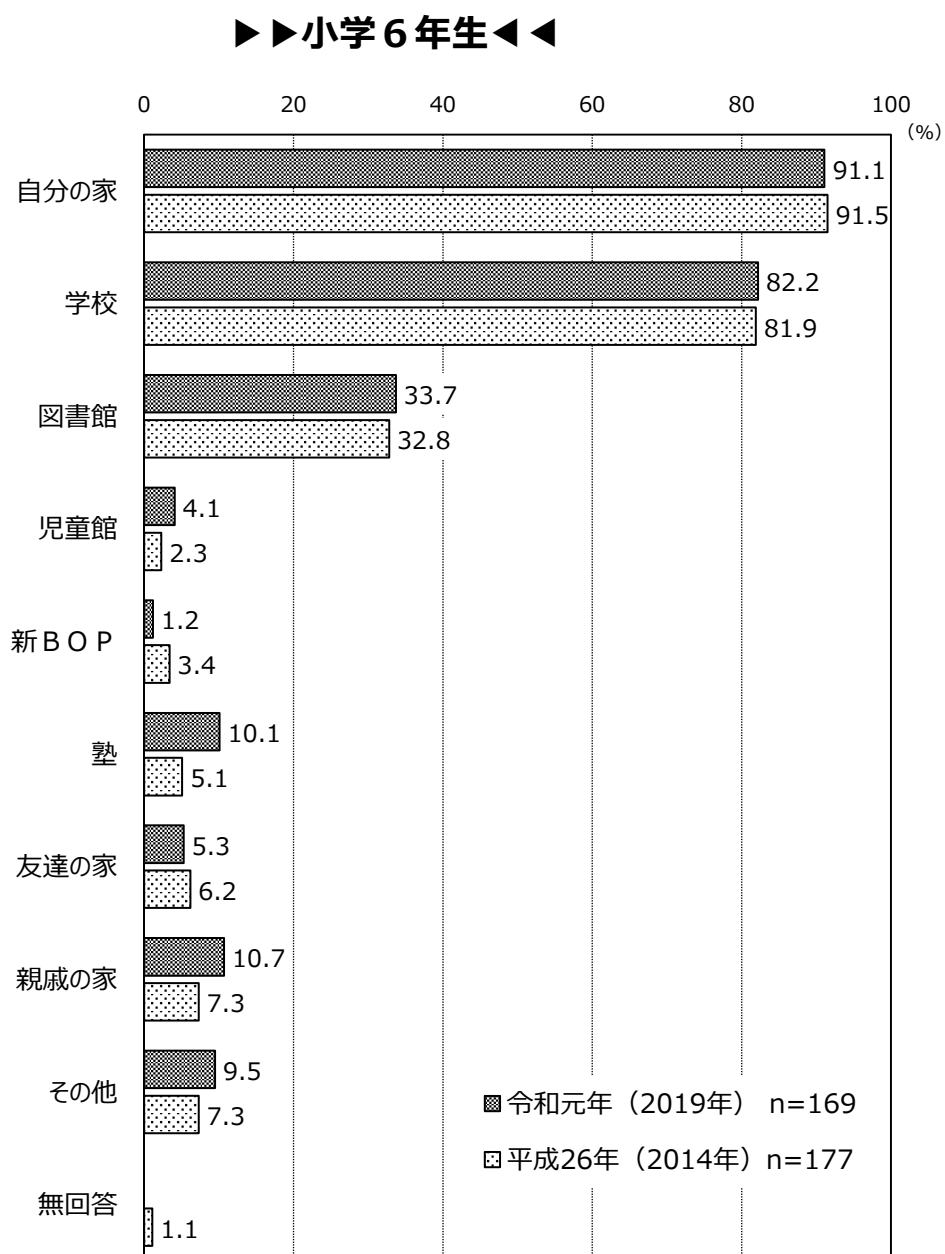
問4 あなたはどこで本を読んでいますか。（複数回答）

「自分の家」が最も高く92.9%、次いで、「学校」85.8%、「図書館」58.5%と続く。
 【平成26年】と比べ、「新BOP」が17.8%→26.8%（9.0ポイント増）。
 「塾」が3.7%→9.3%（5.6ポイント増）。



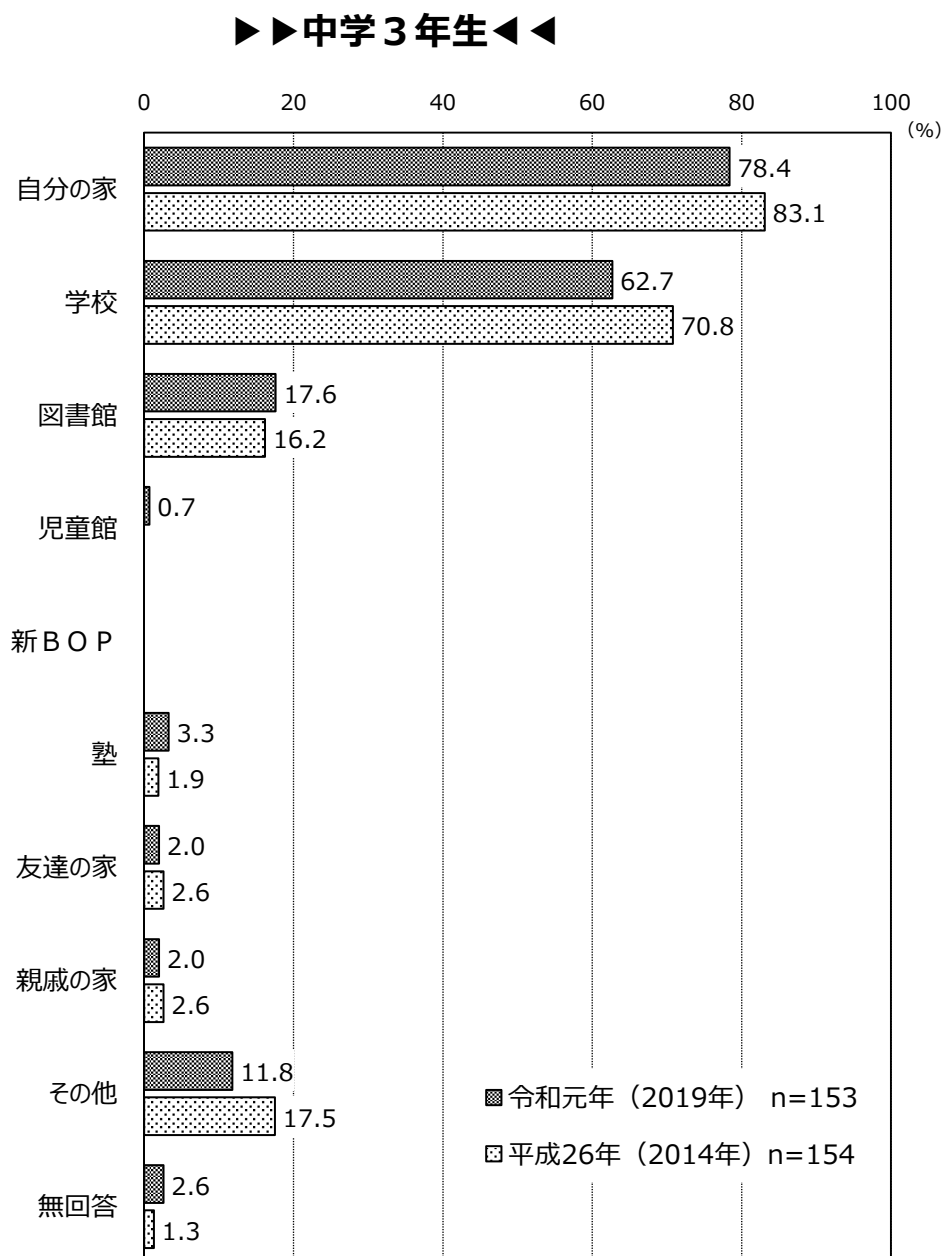
問4 あなたはどこで本を読んでいますか。（複数回答）

「自分の家」が最も高く91.1%、次いで、「学校」82.2%、「図書館」33.7%と続く。
【平成26年】と比べ、「塾」が5.1%→10.1%（5.0ポイント増）。



問4 あなたはどこで本を読んでいますか。（複数回答）

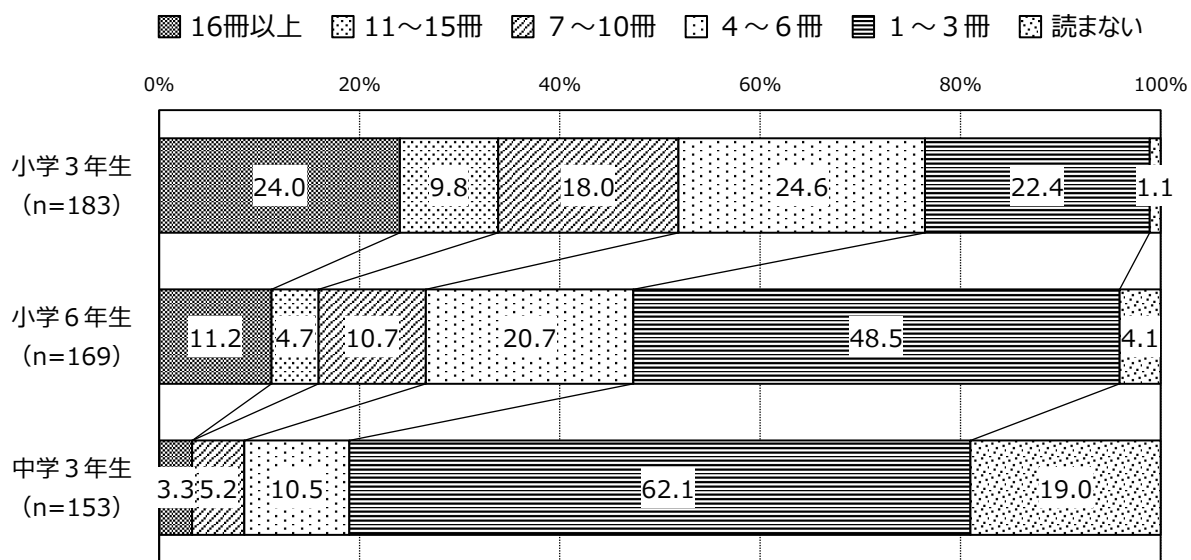
「自分の家」が最も高く78.4%、次いで、「学校」62.7%、「図書館」17.6%と続く。
【平成26年】と比べ、「学校」が70.8%→62.7%（8.1ポイント減）。



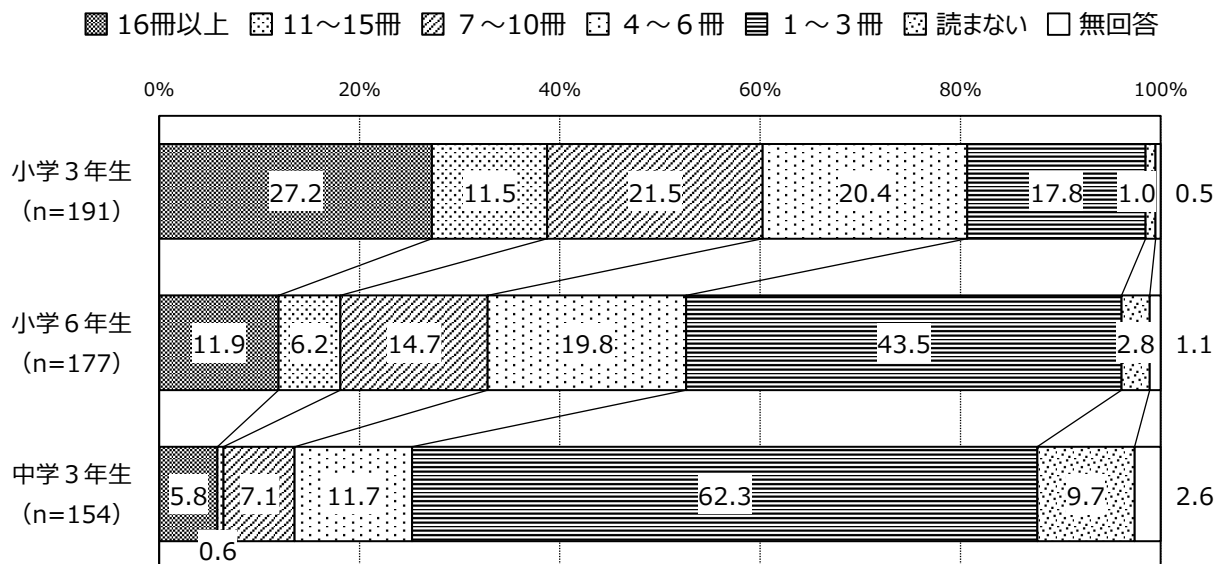
問5 あなたは1か月の間にだいたい何冊本を読みますか。

回答した割合が最も高いのは、小学3年生「4～6冊」24.6%、小学6年生「1～3冊」48.5%、中学3年生「1～3冊」62.1%。【平成26年】と比べ、前回同様に学齢が上がるにつれて本を読む冊数が減少。特に、中学3年生は「読まない」が9.7%→19.0%（9.3ポイント増）。

●令和元年（2019年）



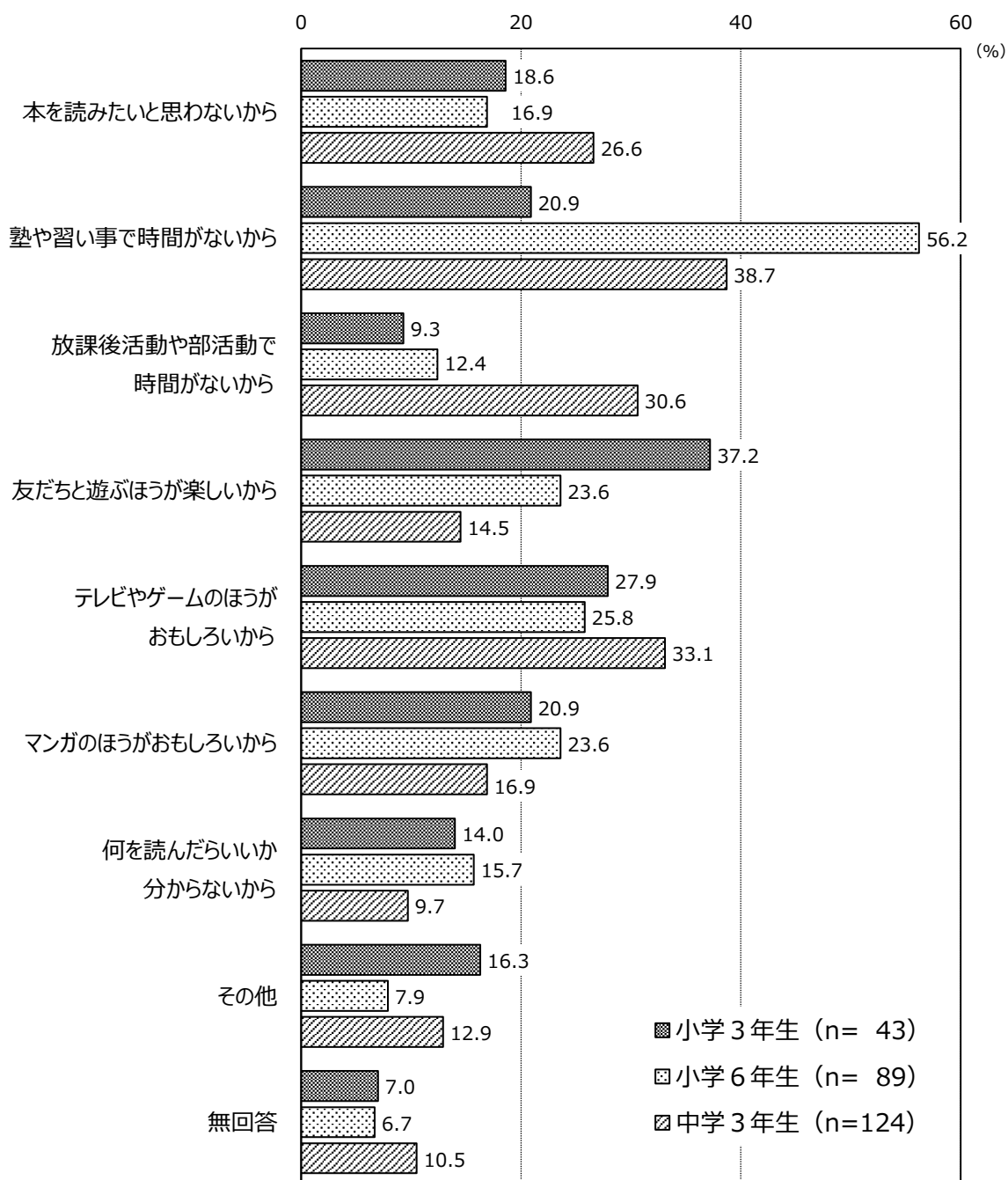
●平成26年（2014年）



問6 あなたがあまり本を読まないのはどうしてですか。(複数回答)

問5で「読まない」または「1～3冊」と答えた あまり本を読まない人数は、小学3年生で43人/183人中、小学6年生で89人/169人中、中学3年生で124人/153人中となり、学齢が上がるにつれて増加。

回答した割合が最も高いのは、小学3年生「友だちと遊ぶほうが楽しいから」37.2%、小学6年生「塾や習い事で時間がないから」56.2%、中学3年生「塾や習い事で時間がないから」38.7%。特に、小学6年生は「塾や習い事で時間がないから」が他の項目に比べ突出して高い。



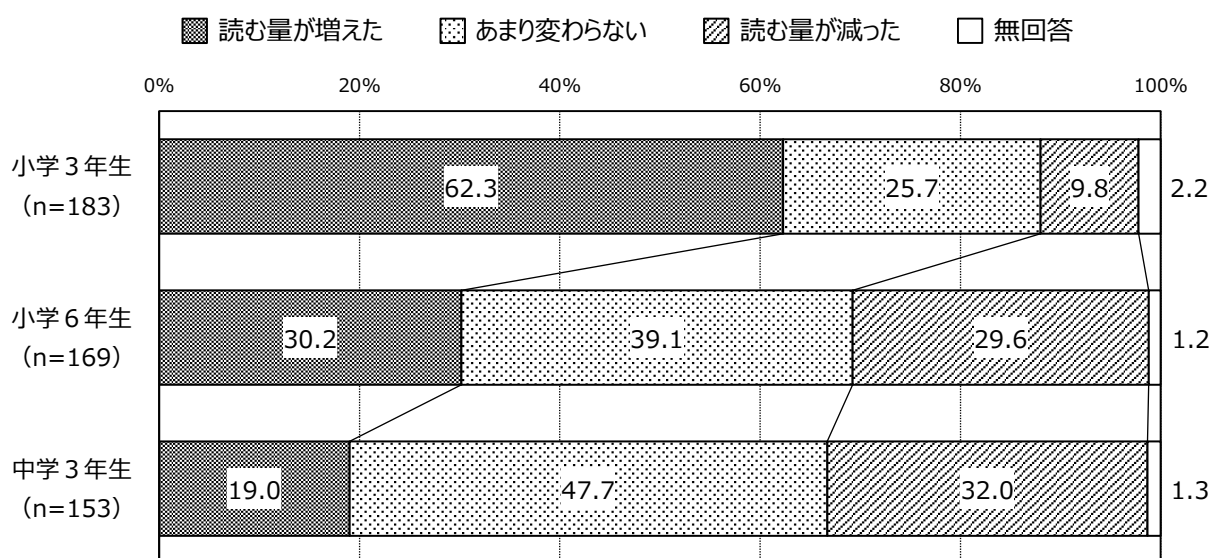
※問5「読まない」「1～3冊」の回答者

問7 1年前と比べて、本を読む量が変わりましたか。

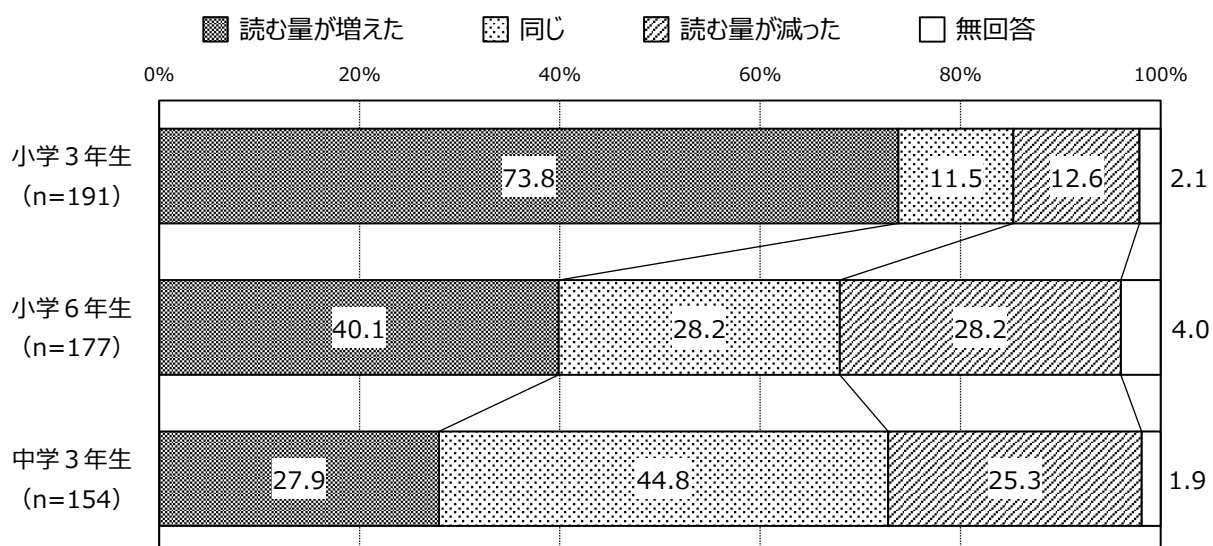
回答した割合が最も高いのは、小学3年生「読む量が増えた」62.3%、小学6年生「あまり変わらない」39.1%、中学3年生「あまり変わらない」47.7%。

【平成26年】と比べ、「読む量が増えた」が全ての学齢で減少。小学3年生73.8%→62.3%(11.5ポイント減)、小学6年生40.1%→30.2%(9.9ポイント減)、中学3年生27.9%→19.0%(8.9ポイント減)。

●令和元年（2019年）

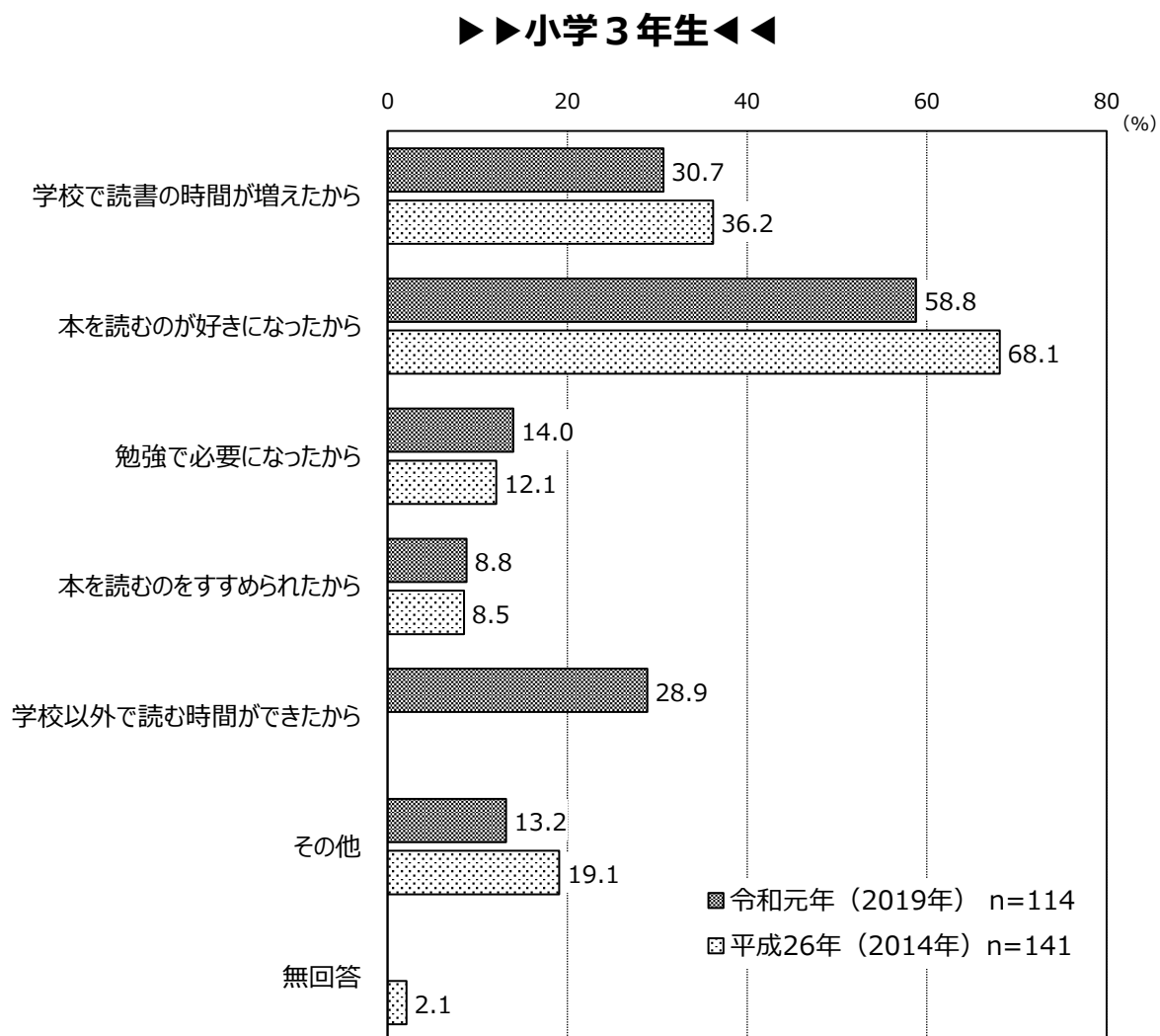


●平成26年（2014年）



問7で「読む量が増えた」と回答した理由（複数回答）

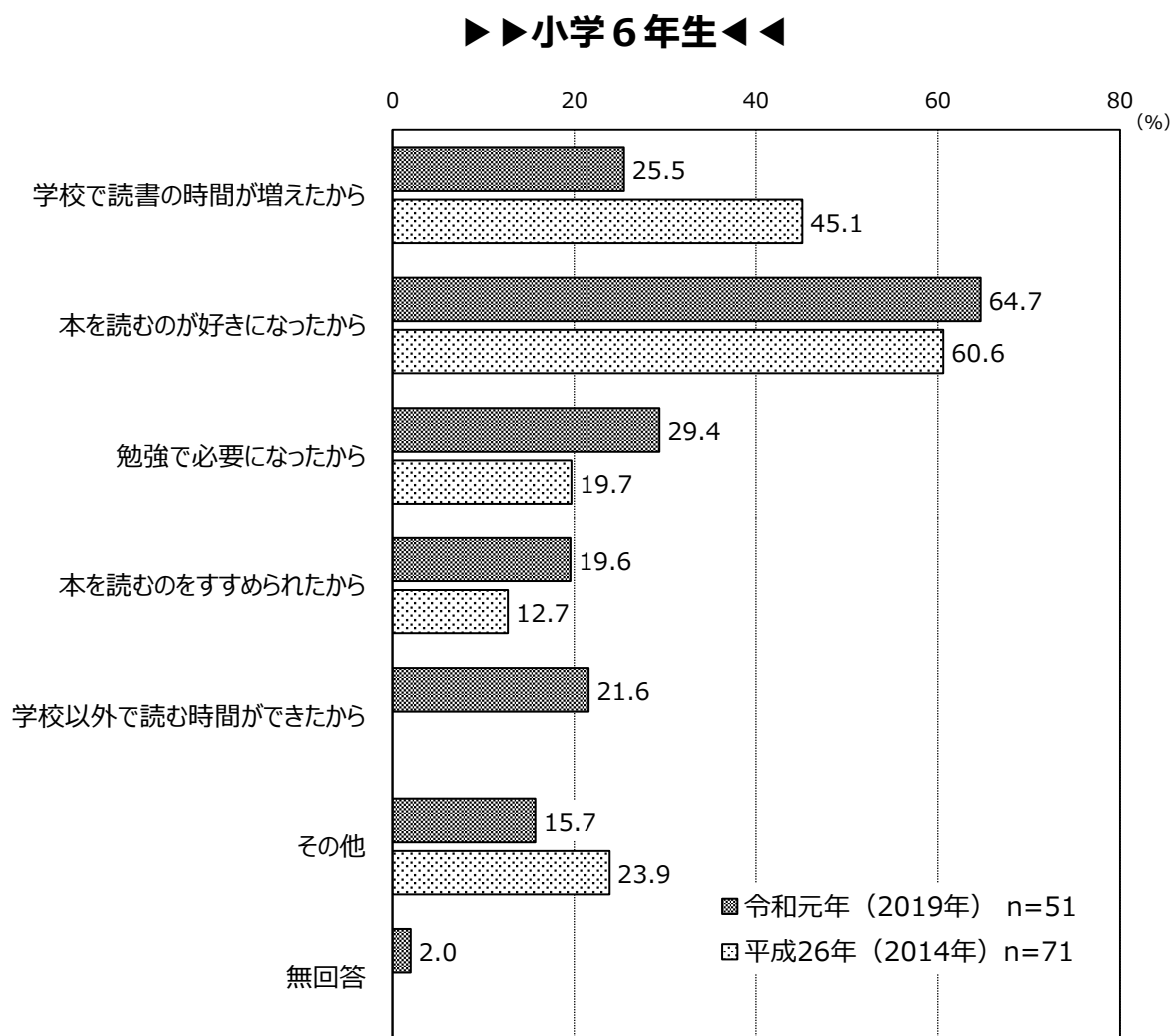
「本を読むのが好きになったから」が最も高く58.8%、次いで「学校で読書の時間が増えたから」30.7%、「学校以外で読む時間ができたから」28.9%と続く。
【平成26年】と比べ、「本を読むのが好きになったから」が68.1%→58.8%（9.2ポイント減）。



※「学校以外で読む時間ができたから」は令和元年調査にて新設

問 7 で「読む量が増えた」と回答した理由（複数回答）

「本を読むのが好きになったから」が最も高く64.7%、次いで「勉強で必要になったから」29.4%、「学校で読書の時間が増えたから」25.5%と続く。
【平成26年】と比べ、「学校で読書の時間が増えたから」が45.1%→25.5%（19.6ポイント減）。
「勉強で必要になったから」が19.7%→29.4%（9.7ポイント増）。

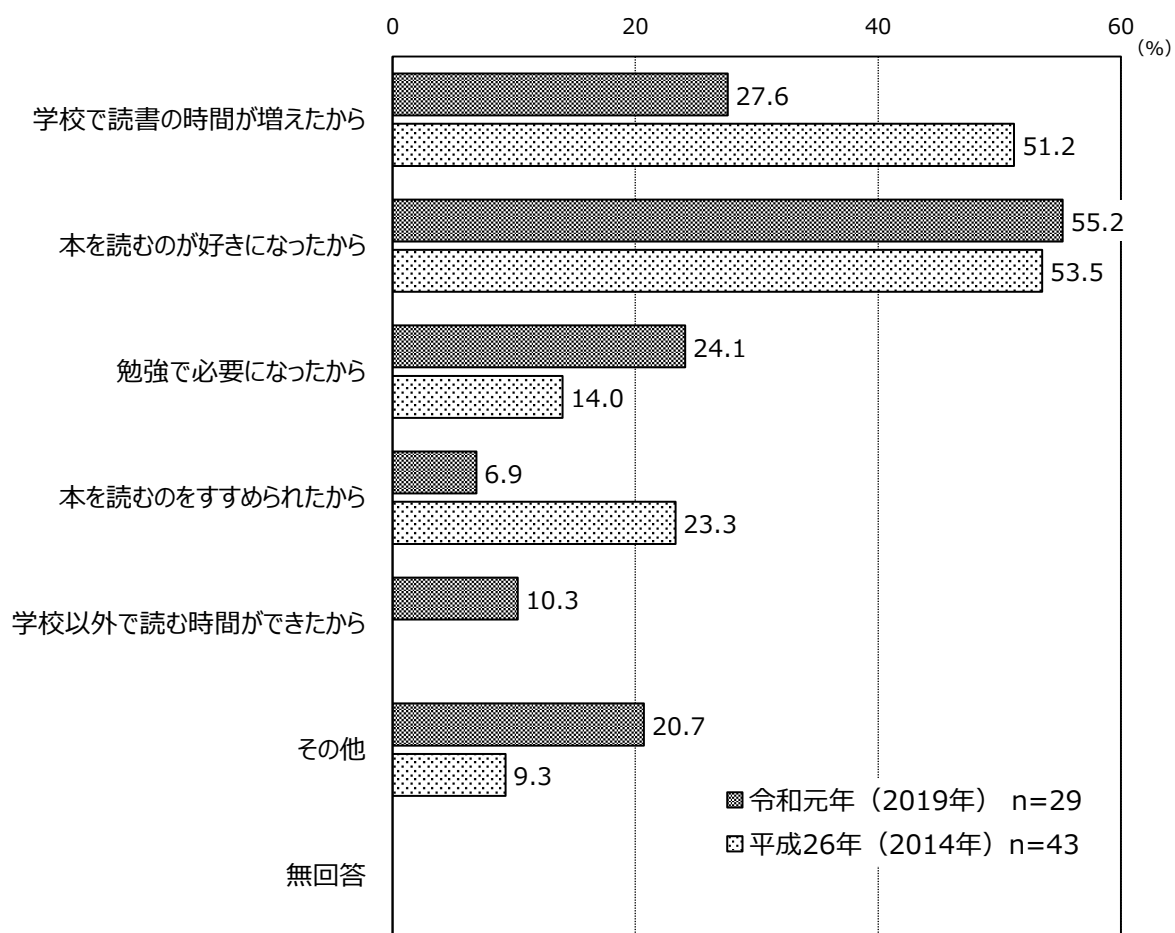


※「学校以外で読む時間ができたから」は令和元年調査にて新設

問7で「読む量が増えた」と回答した理由（複数回答）

「本を読むのが好きになったから」が最も高く55.2%、次いで「学校で読書の時間が増えたから」27.6%、「勉強で必要になったから」24.1%と続く。
【平成26年】と比べ、「学校で読書の時間が増えたから」が51.2%→27.6%（23.6ポイント減）。
「勉強で必要になったから」が14.0%→24.1%（10.1ポイント増）。

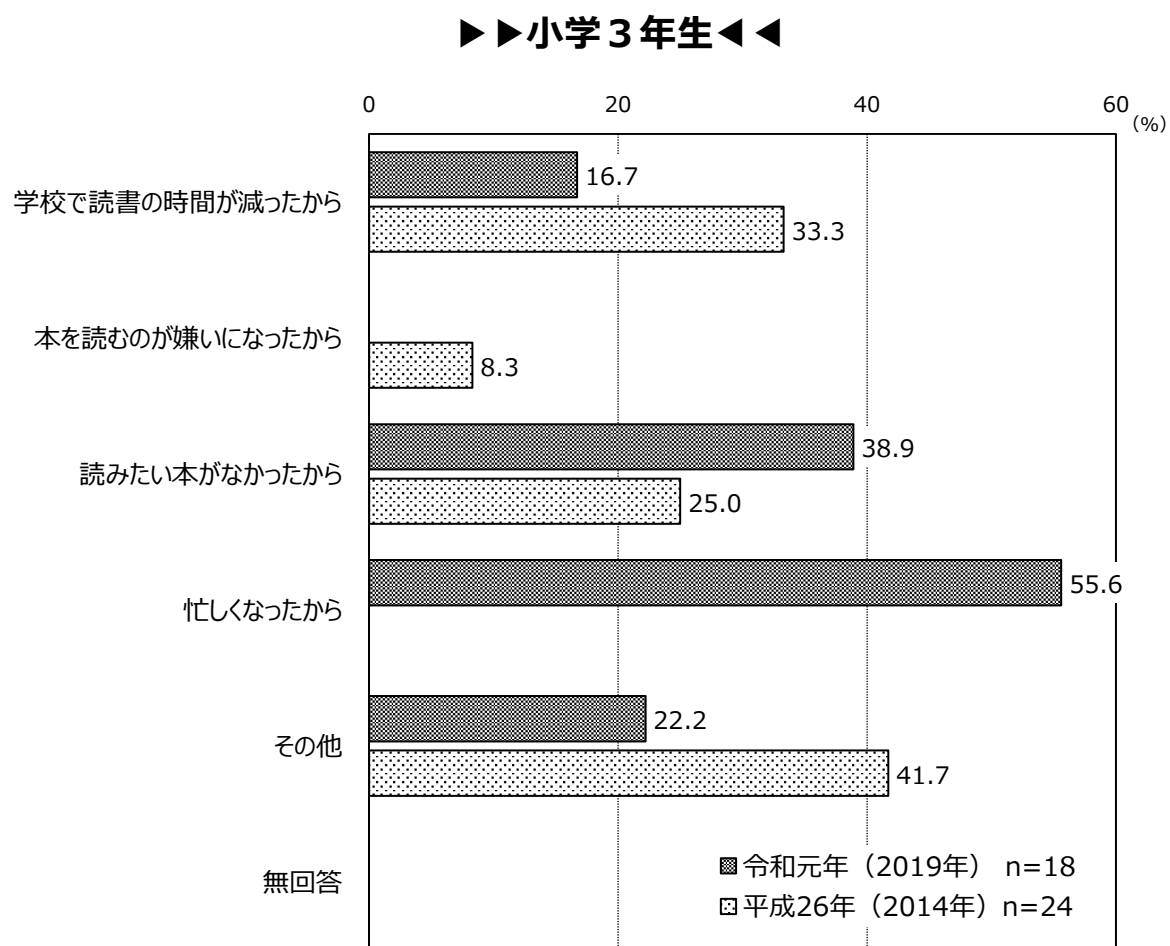
▶▶ 中学3年生 ◀◀



※「学校以外で読む時間ができたから」は令和元年調査にて新設

問7で「読む量が減った」と回答した理由（複数回答）

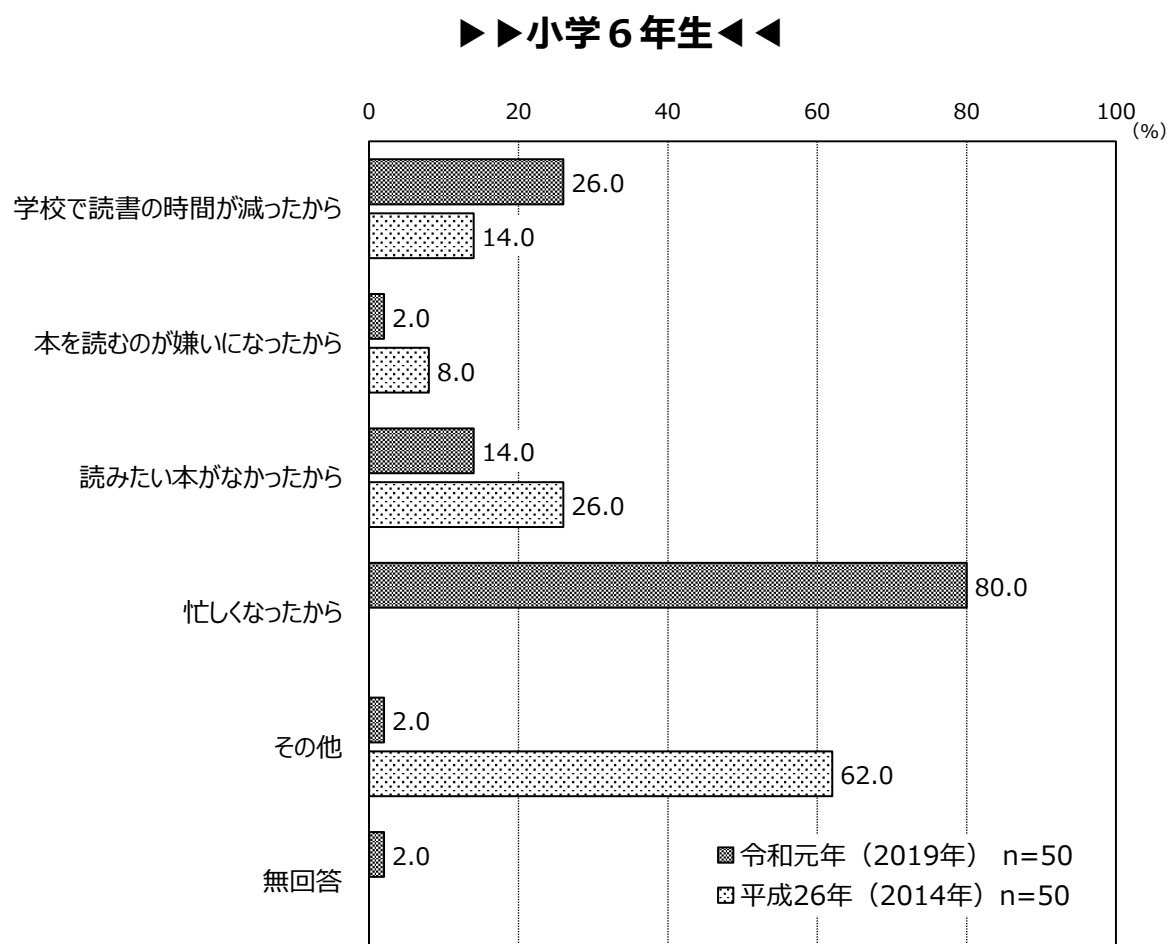
「忙しくなったから」が最も高く55.6%、次いで「読みたい本がなかったから」38.9%、「学校で読書の時間が減ったから」16.7%と続く。



※「忙しくなったから」は令和元年調査にて新設

問7で「読む量が減った」と回答した理由（複数回答）

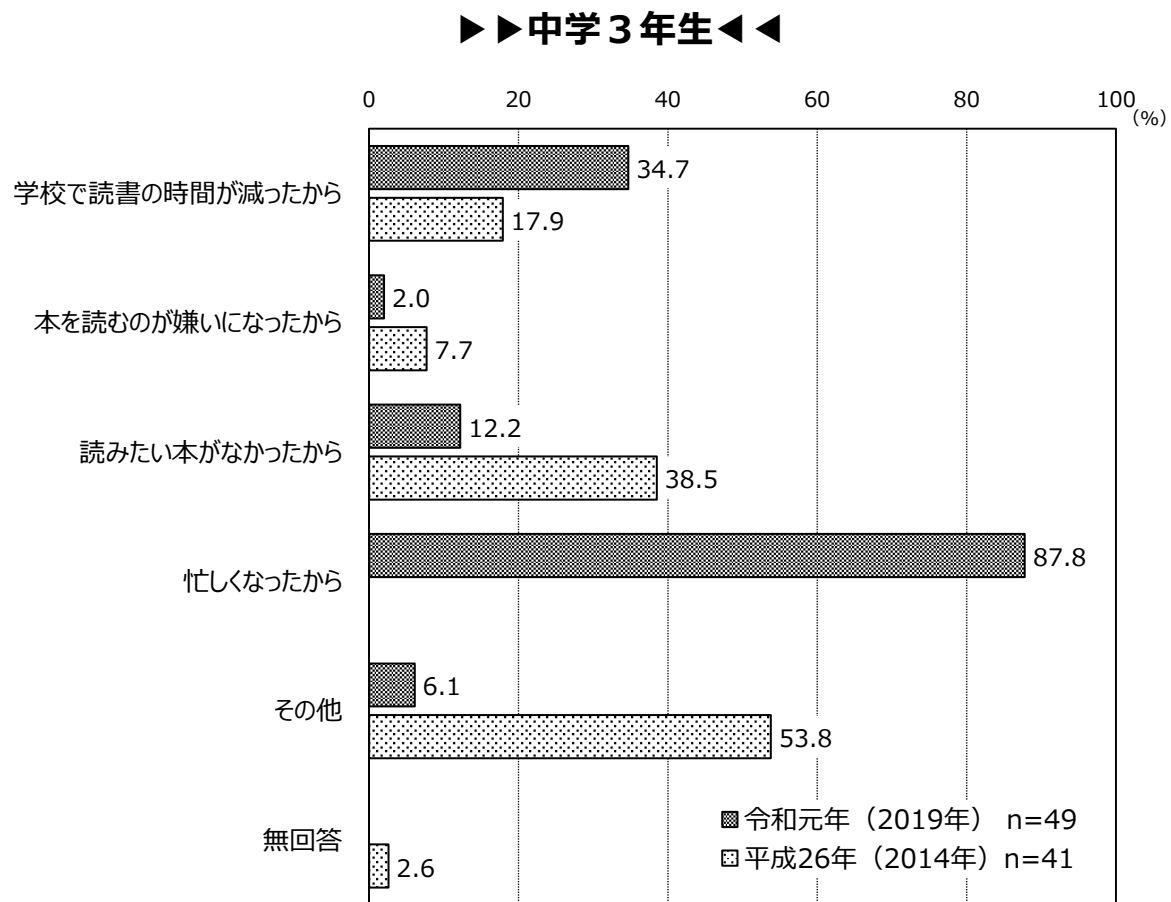
「忙しくなったから」が最も高く80.0%、次いで「学校で読書の時間が減ったから」26.0%、「読みたい本がなかったから」14.0%と続く。



※「忙しくなったから」は令和元年調査にて新設

問 7 で「読む量が減った」と回答した理由（複数回答）

「忙しくなったから」が最も高く87.8%、次いで「学校で読書の時間が減ったから」34.7%、「読みたい本がなかったから」12.2%と続く。



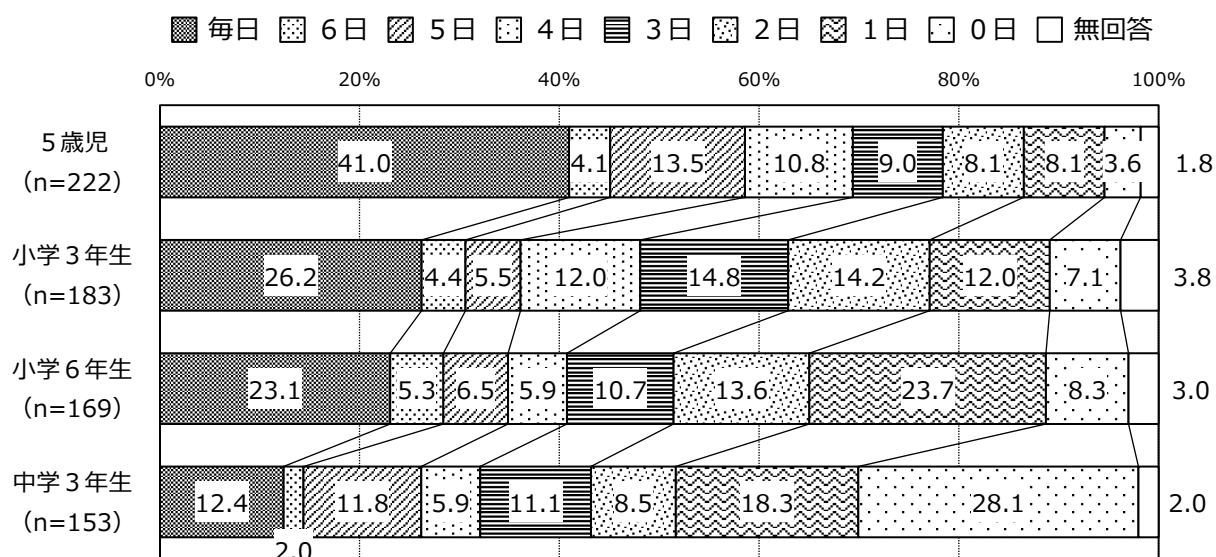
※「忙しくなったから」は令和元年調査にて新設

問8 授業以外で、あなたが1週間に次のことをしている日数を教えてください。

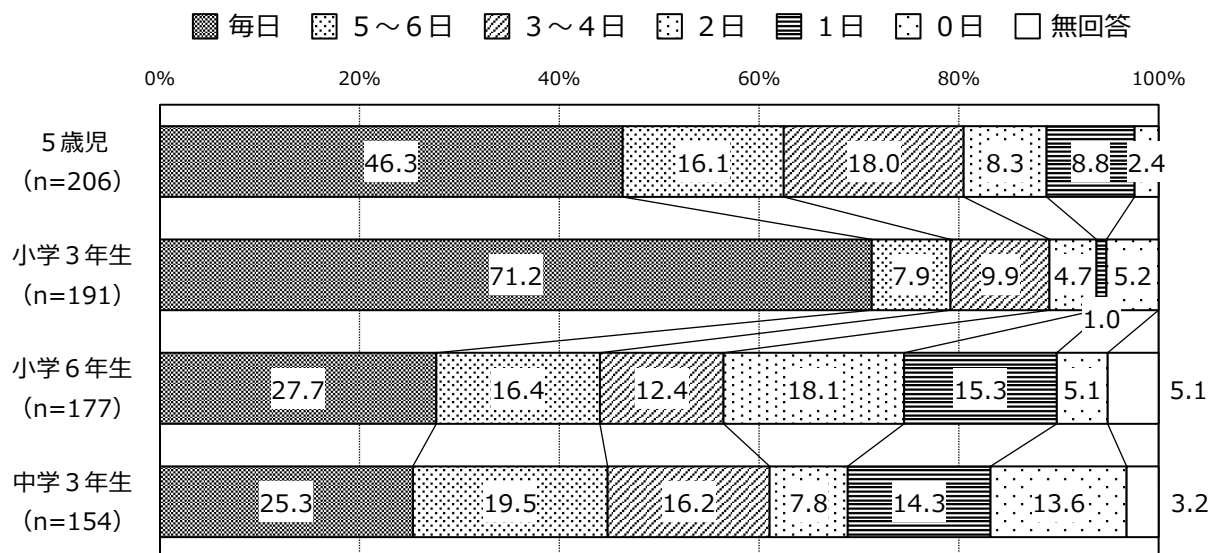
本を読む

回答した割合が最も高いのは、5歳児「毎日」41.0%、小学3年生「毎日」26.2%、小学6年生「1日」23.7%、中学3年生「0日」28.1%。学齢が上がるにつれて本を読む日数が減少。また、【平成26年】は全ての学齢で「毎日」が最も高い回答だったが、【令和元年】ではポイントが減少。特に、小学3年生で「毎日」と回答した割合が大幅に減少し、71.2%→26.2%（45.0ポイント減）。

●令和元年（2019年）

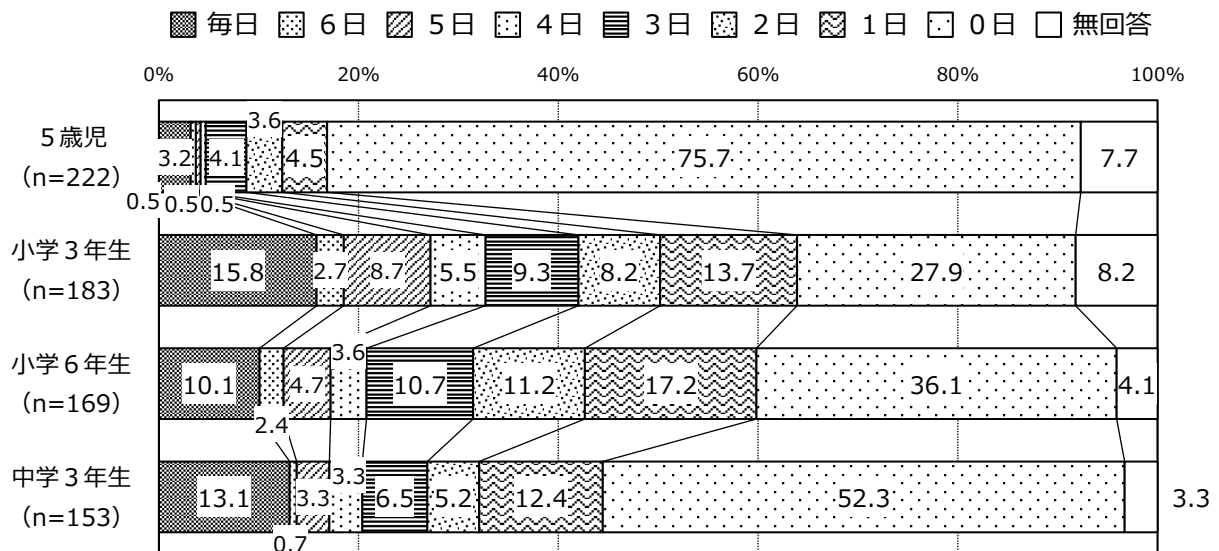


●平成26年（2014年）



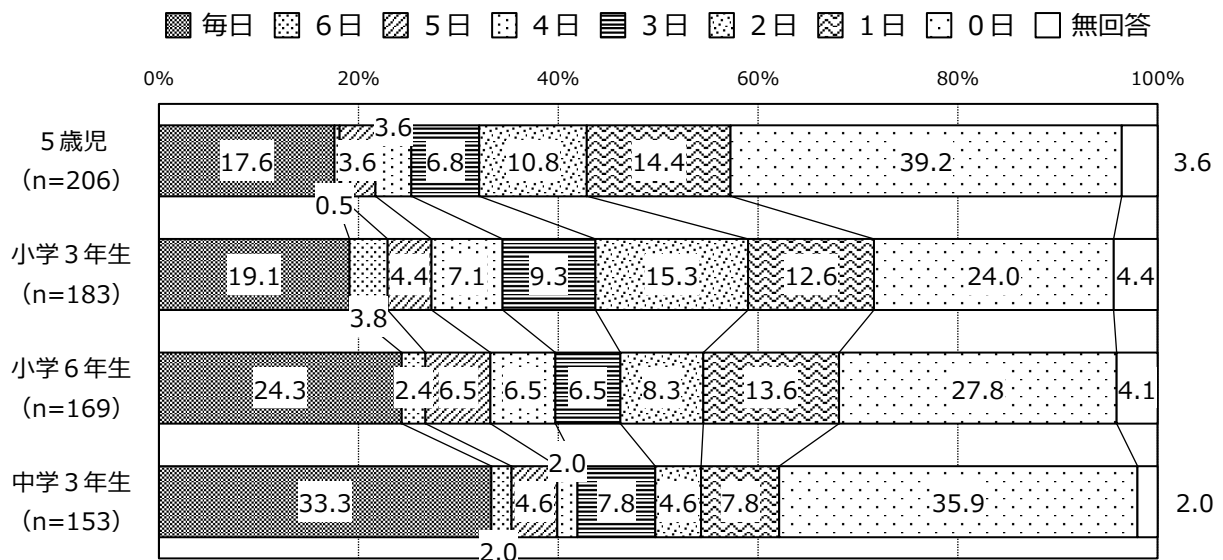
マンガを読む

全ての学齢で「0日」が最も高く、5歳児75.7%、小学3年生27.9%、小学6年生36.1%、中学3年生52.3%。「1日以上」の割合は、文字を十分に理解できない5歳児を除き、小学3年生をピークに学齢が上がるにつれて減少。



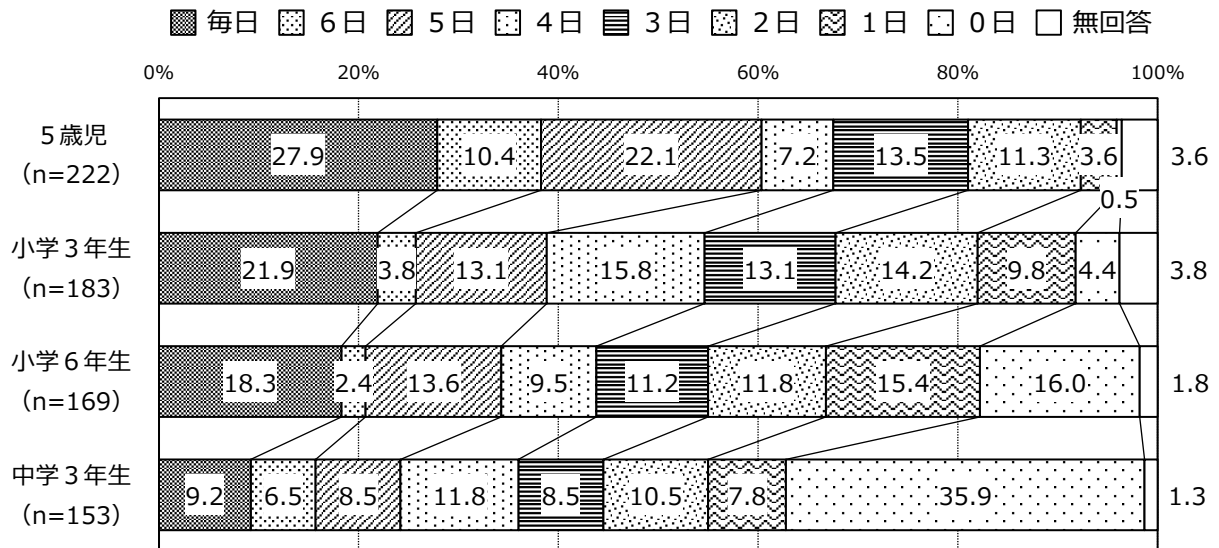
ゲームをする (スマホなどでするゲームも含める)

「毎日」と回答する割合が、5歳児17.6%、小学3年生19.1%、小学6年生24.3%、中学3年生33.3%、と学齢が上がるにつれて増加。



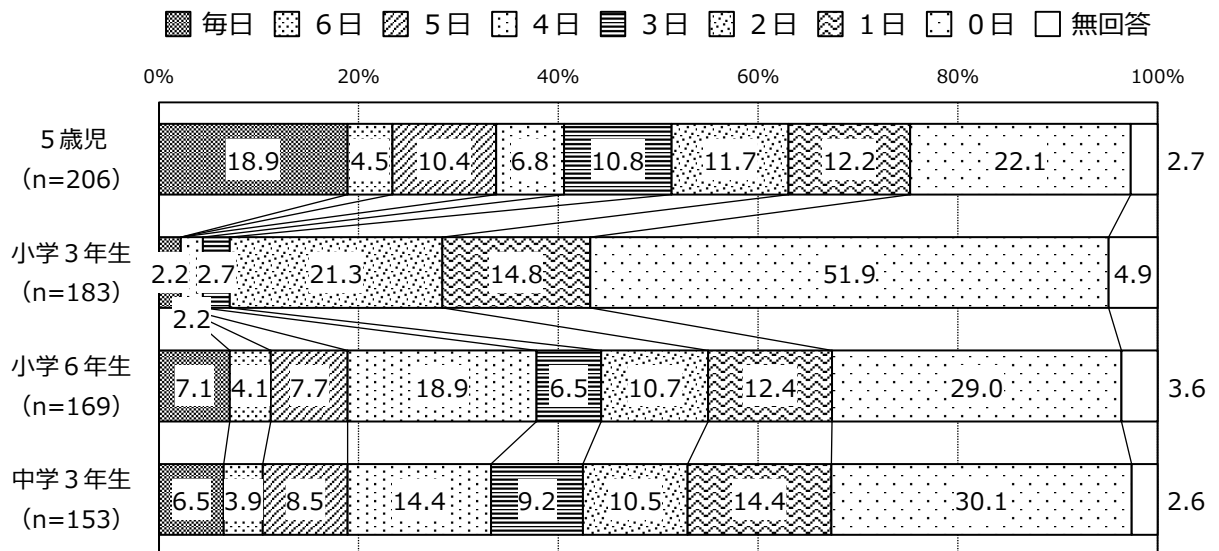
外で遊ぶ、スポーツをする

回答した割合が最も高いのは、5歳児「毎日」27.9%、小学3年生「毎日」21.9%、小学6年生「毎日」18.3%、中学3年生「0日」35.9%。学齢が上がるにつれて日数が減少。



塾に行く／勉強をする (5歳児)

1日以上割合は、就学前の5歳児を除き、小学3年生43.2%、小学6年生67.4%、中学3年生67.4%。

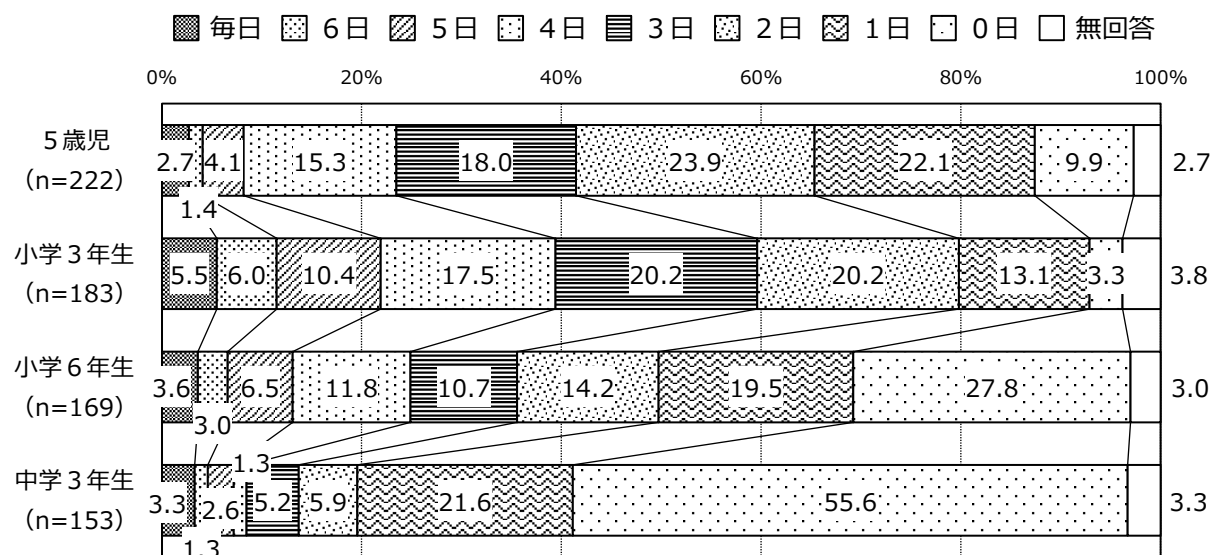


習い事やお稽古事をする

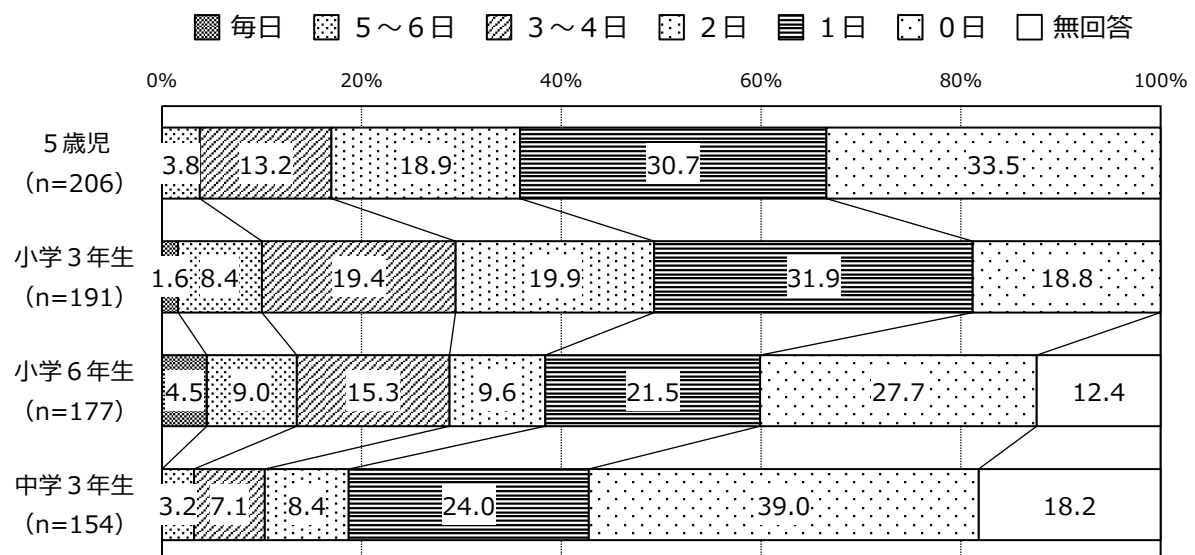
回答した割合が最も高いのは、5歳児「2日」23.9%、小学3年生「2日」「3日」ともに20.2%、小学6年生「0日」27.8%、中学3年生「0日」55.6%。

【平成26年】と比べ、前回同様に小学3年生をピークに、1日以上行う割合が、学齢が上がるにつれて減少。

●令和元年（2019年）



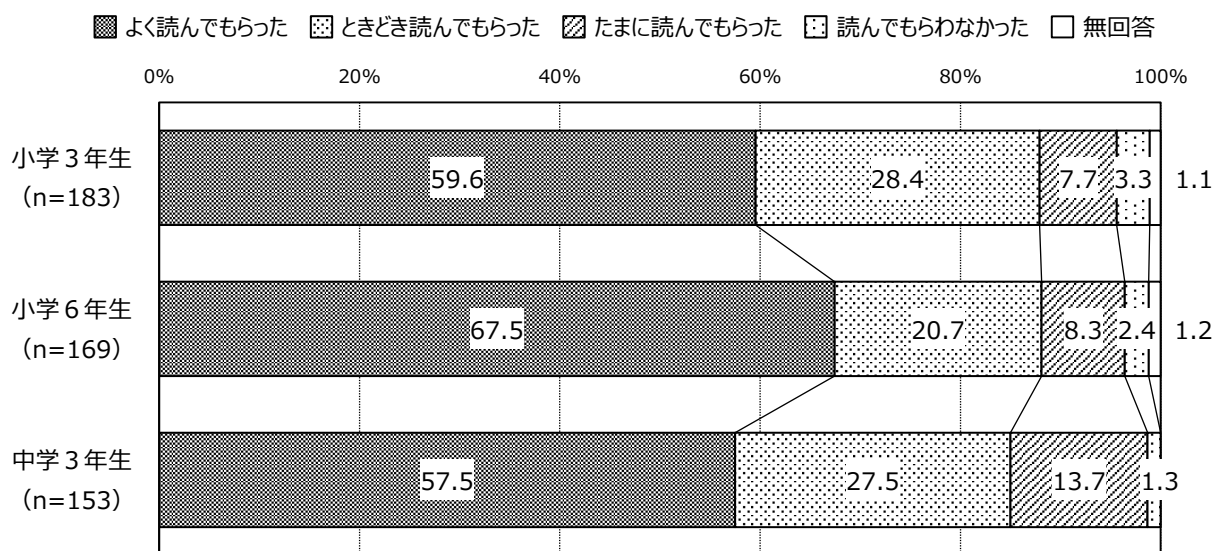
●平成26年（2014年）



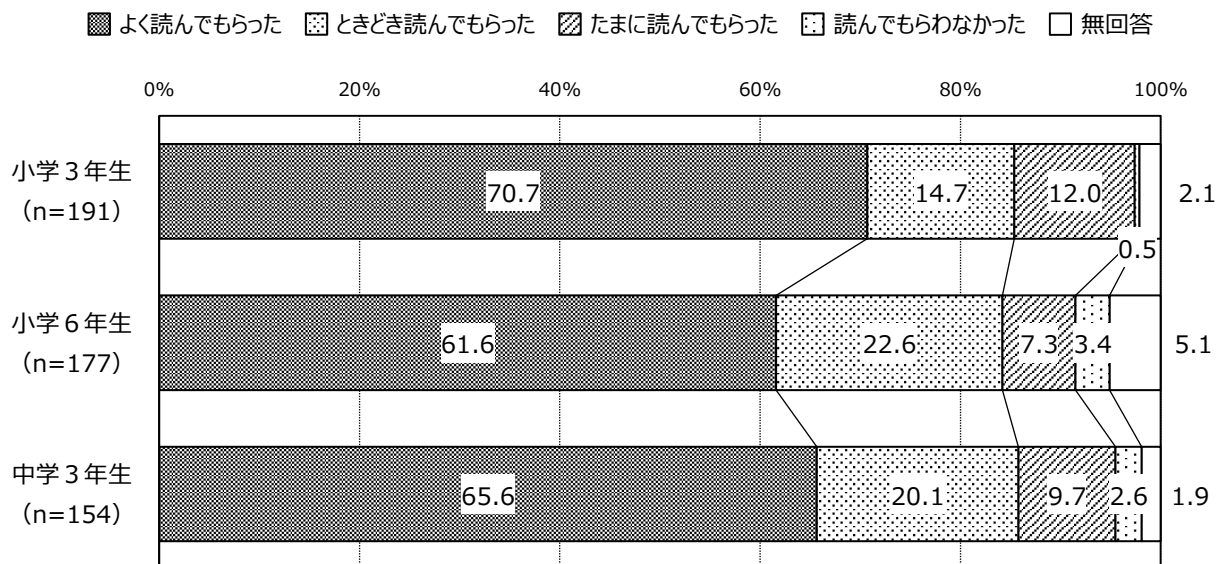
問9 あなたは小さい頃、家族や身近な人から本を読んでもらっていましたか。

【平成26年】と比べ、前回同様に全ての学齢で「よく読んでもらった」が最も高く、小学3年生59.6%、小学6年生67.5%、中学3年生57.5%。「読んでもらわなかった」は全ての学齢で5%以下。

●令和元年（2019年）



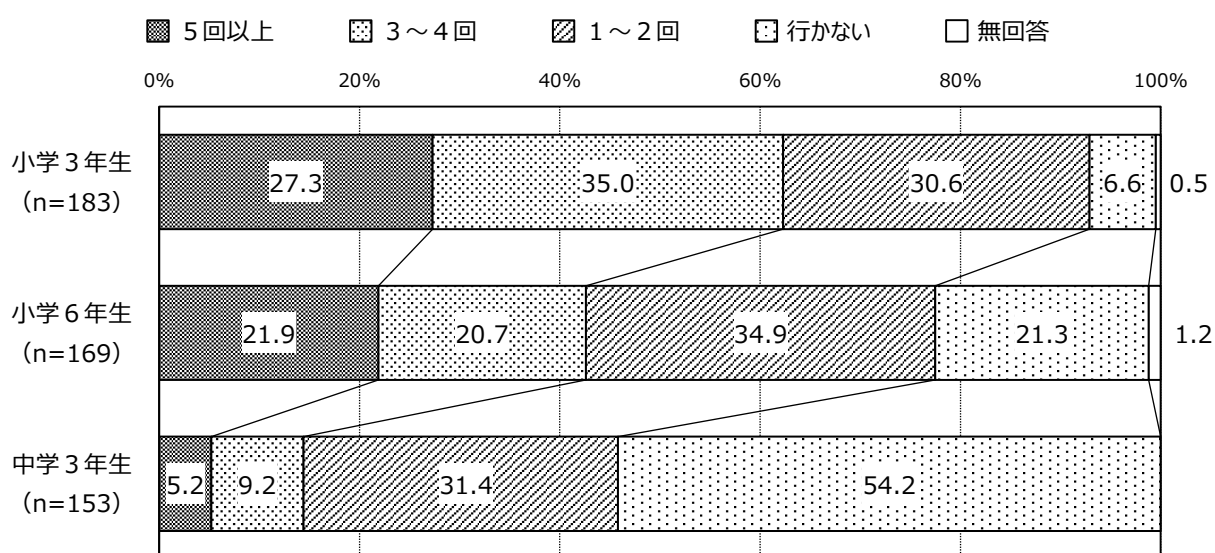
●平成26年（2014年）



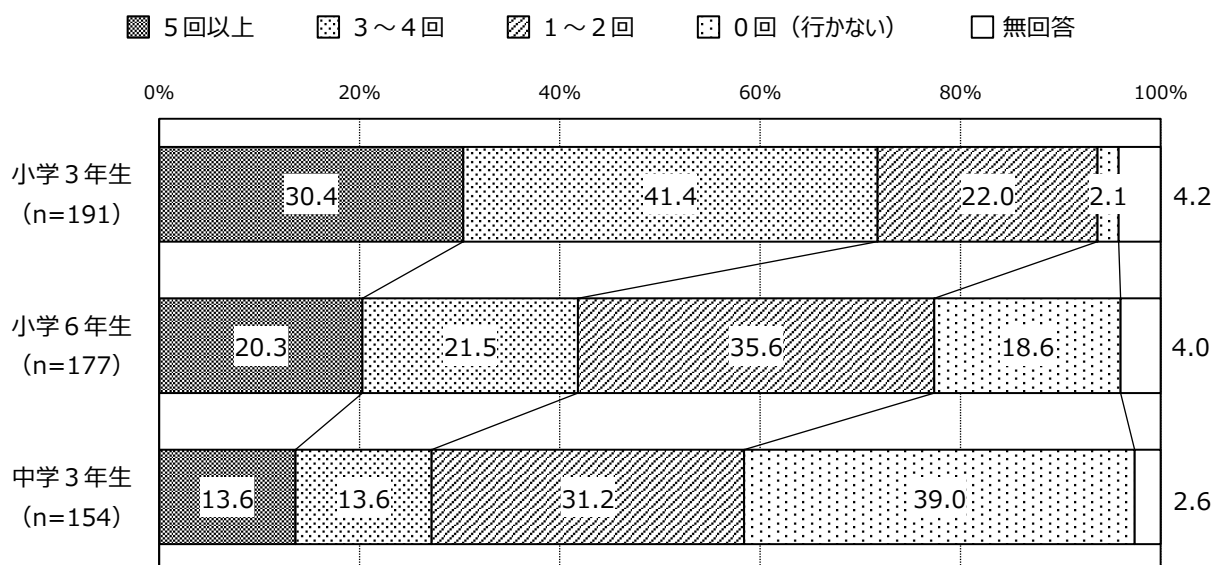
問10 あなたは1か月の間に学校の図書館にだいたい何回行きますか。

回答した割合が最も高いのは、小学3年生「3～4回」35.0%、小学6年生「1～2回」34.9%、中学3年生「行かない」54.2%。学齢が上がるにつれて回数が減少。【平成26年】と比べ、「行かない」が全てのが学齢で増加し、小学3年生2.1%→6.6% (4.5ポイント増)、小学6年生18.6%→21.3% (2.7ポイント増)、中学3年生39.0%→54.2% (15.2ポイント増)。

●令和元年（2019年）



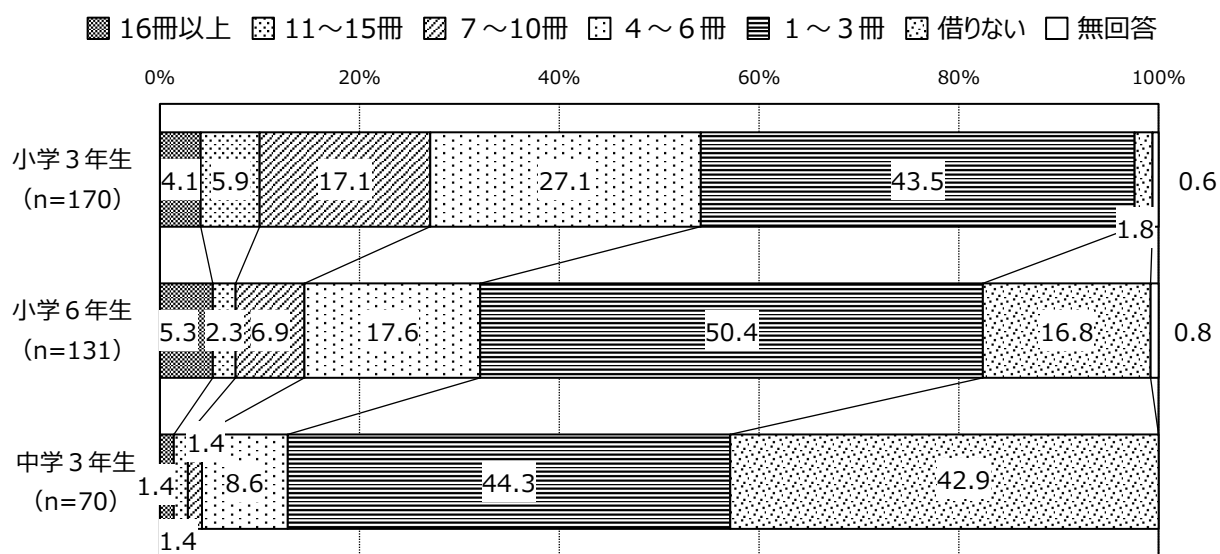
●平成26年（2014年）



問11 あなたは1か月の間に学校の図書館で平均何冊の本を借りますか。

問10で「1～2回」「3～4回」「5回以上」と回答していても、学齢が上がるにつれて、「借りない」と回答する割合が増える。

全ての学齢で「1～3冊」が最も高く、小学3年生43.5%、小学6年生50.4%、中学3年生44.3%。

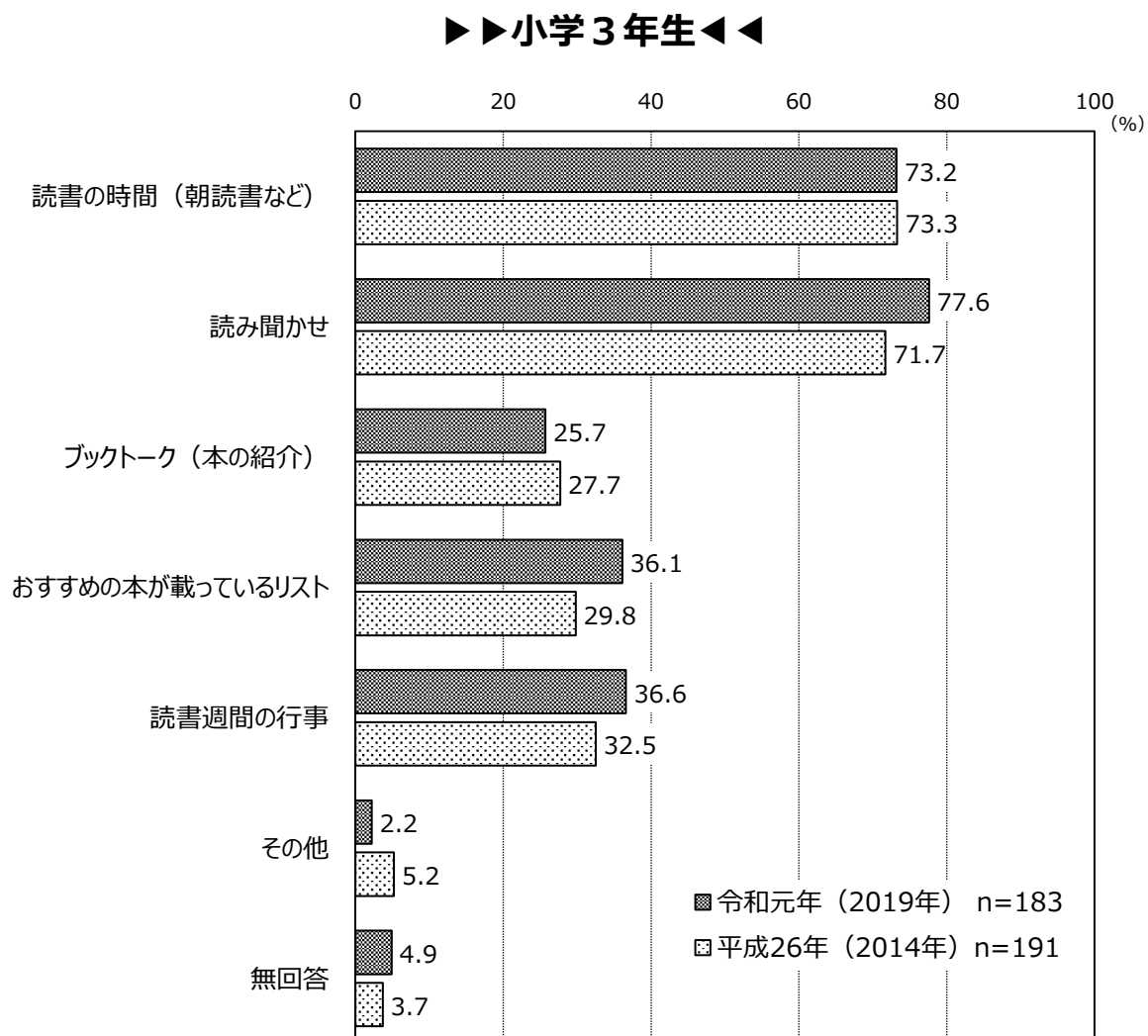


※問10「1～2回」「3～4回」「5回以上」の回答者

問12 学校で読書についてしていることで知っているものがありますか。（複数回答）

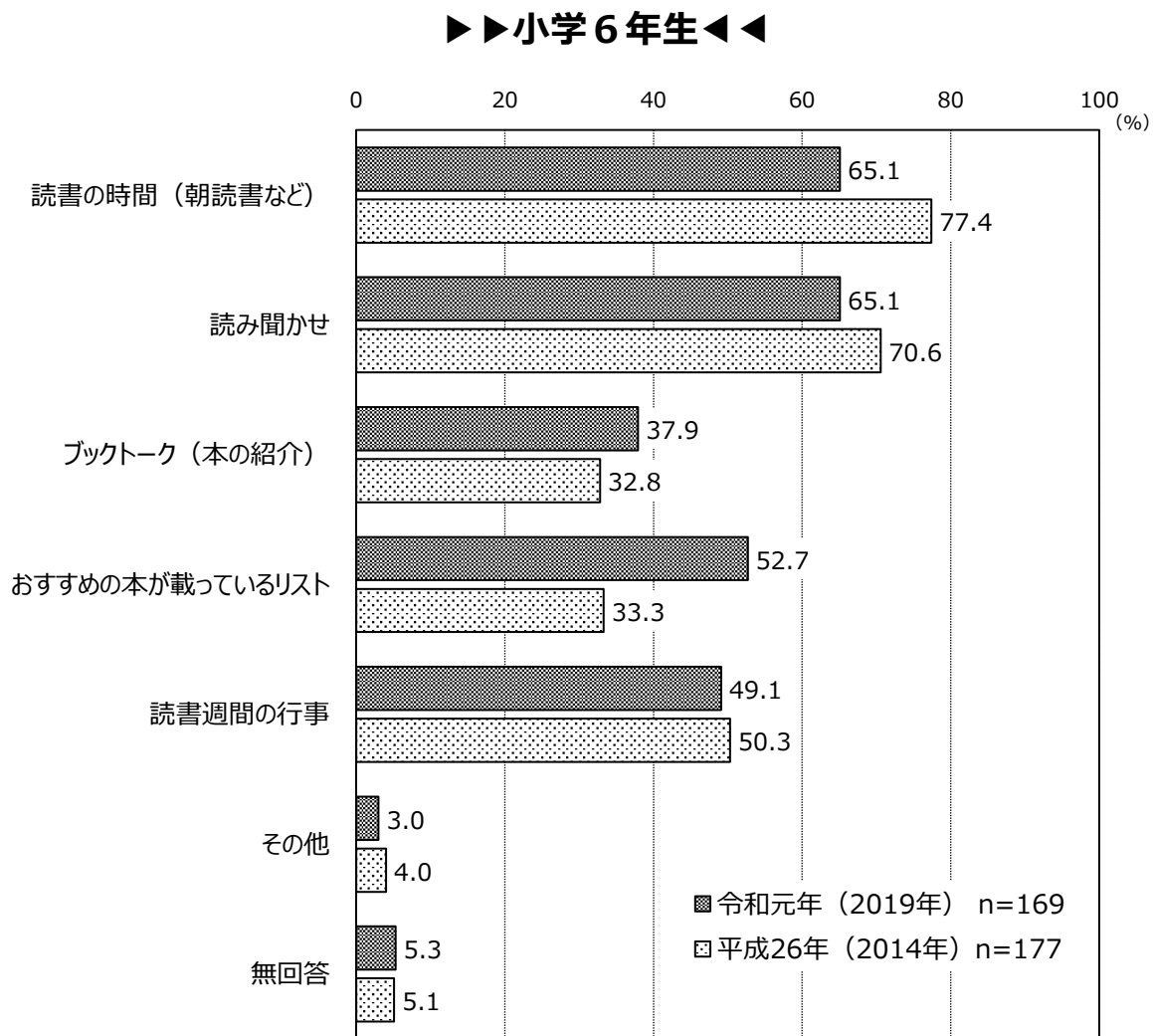
「読み聞かせ」が最も高く77.6%、次いで「読書の時間（朝読書など）」73.2%、「読書週間の行事」36.6%と続く。

【平成26年】と【令和元年】の全ての項目が概ね同程度の割合。



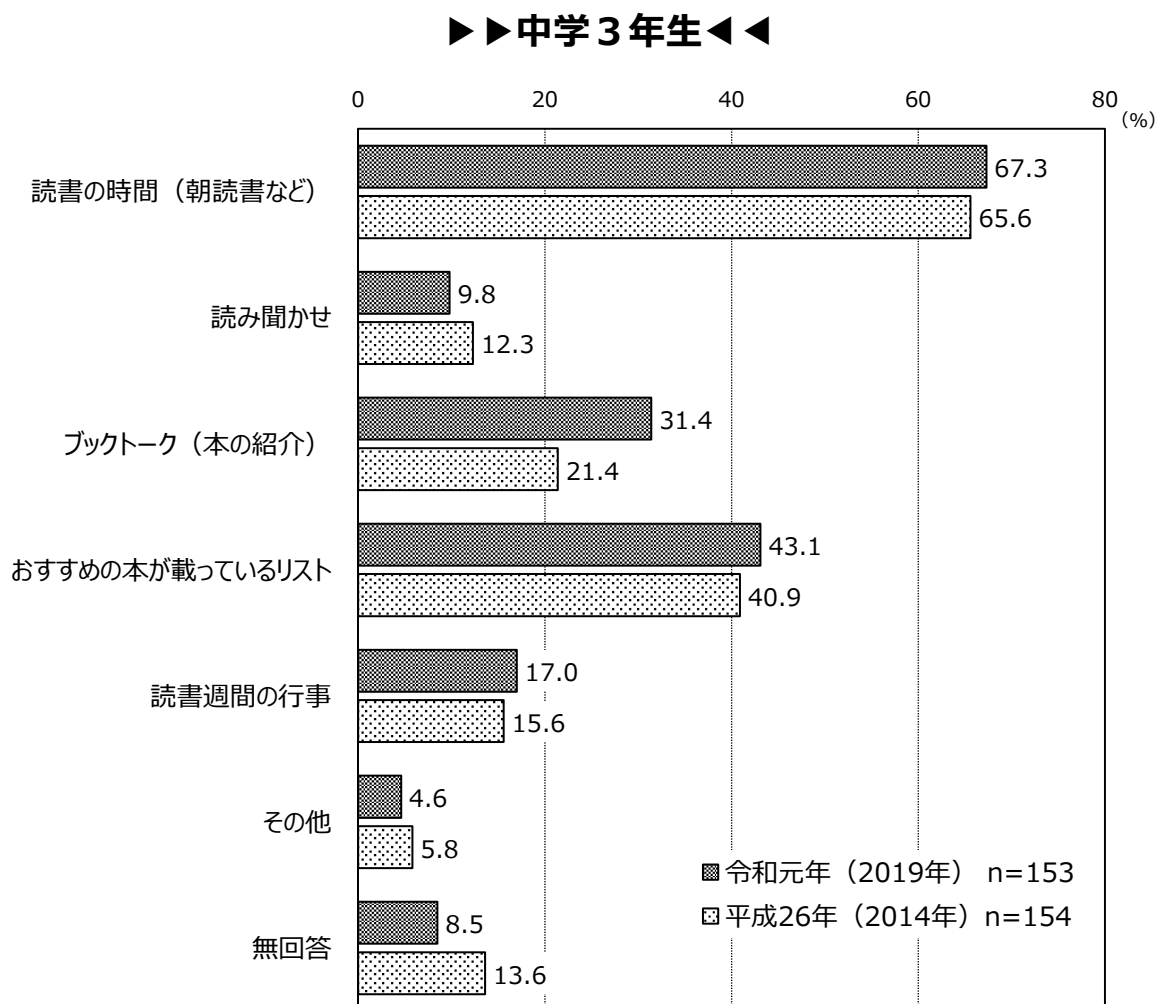
問12 学校で読書についてしていることで知っているものがありますか。（複数回答）

「読み聞かせ」「読書の時間（朝読書など）」がともに最も高く65.1%、次いで「おすすめの本が載っているリスト」52.7%、「読書週間の行事」49.1%と続く。
【平成26年】と比べ、「おすすめの本が載っているリスト」が33.3%→52.7%（19.4ポイント増）。



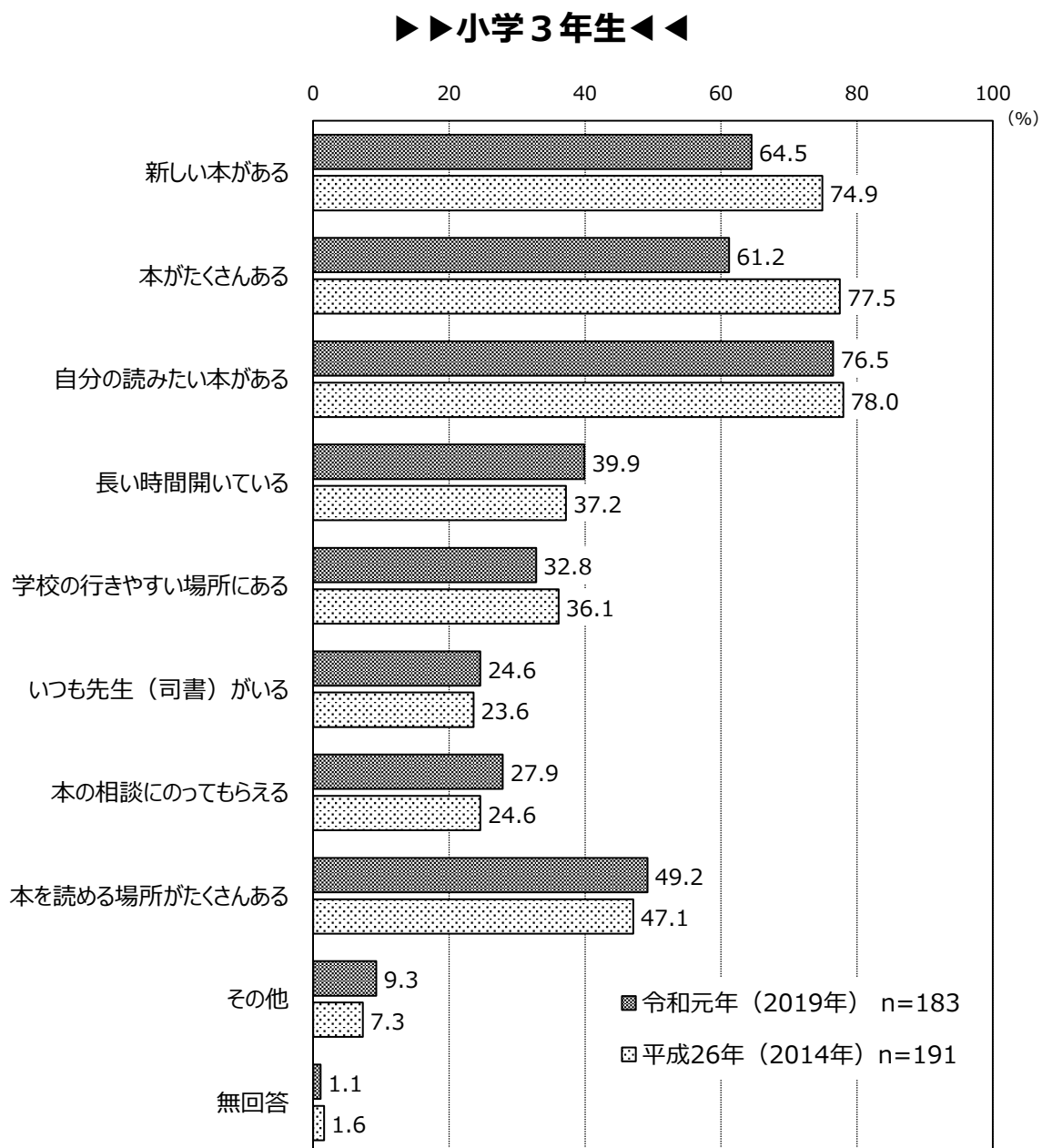
問12 学校で読書についてしていることで知っているものがありますか。（複数回答）

「読書の時間（朝読書など）」が最も高く67.3%、次いで「おすすめの本が載っているリスト」43.1%、「ブックトーク（本の紹介）」31.4%と続く。
【平成26年】と比べ、「ブックトーク（本の紹介）」が21.4%→31.4%（10.0ポイント増）。



問13 あなたはどんな学校図書館だったらいいと思いますか。（複数回答）

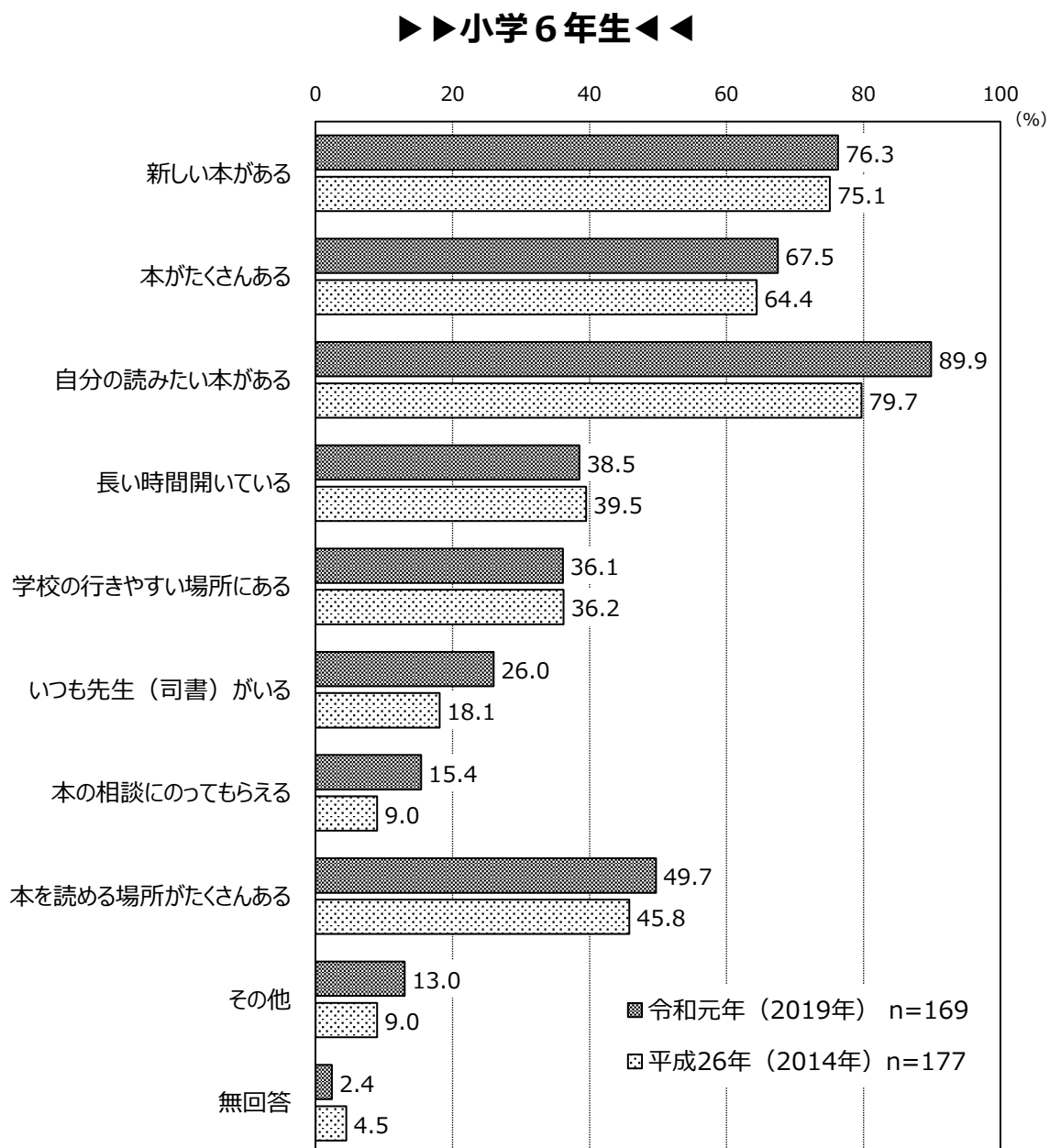
「自分の読みたい本がある」が最も高く76.5%、次いで「新しい本がある」64.5%、「本がたくさんある」61.2%と続く。
【平成26年】と比べ、「本がたくさんある」が77.5%→61.2%（16.3ポイント減）。



問13 あなたはどんな学校図書館だったらいいと思いますか。（複数回答）

「自分の読みたい本がある」が最も高く89.9%、次いで「新しい本がある」76.3%、「本がたくさんある」67.5%と続く。

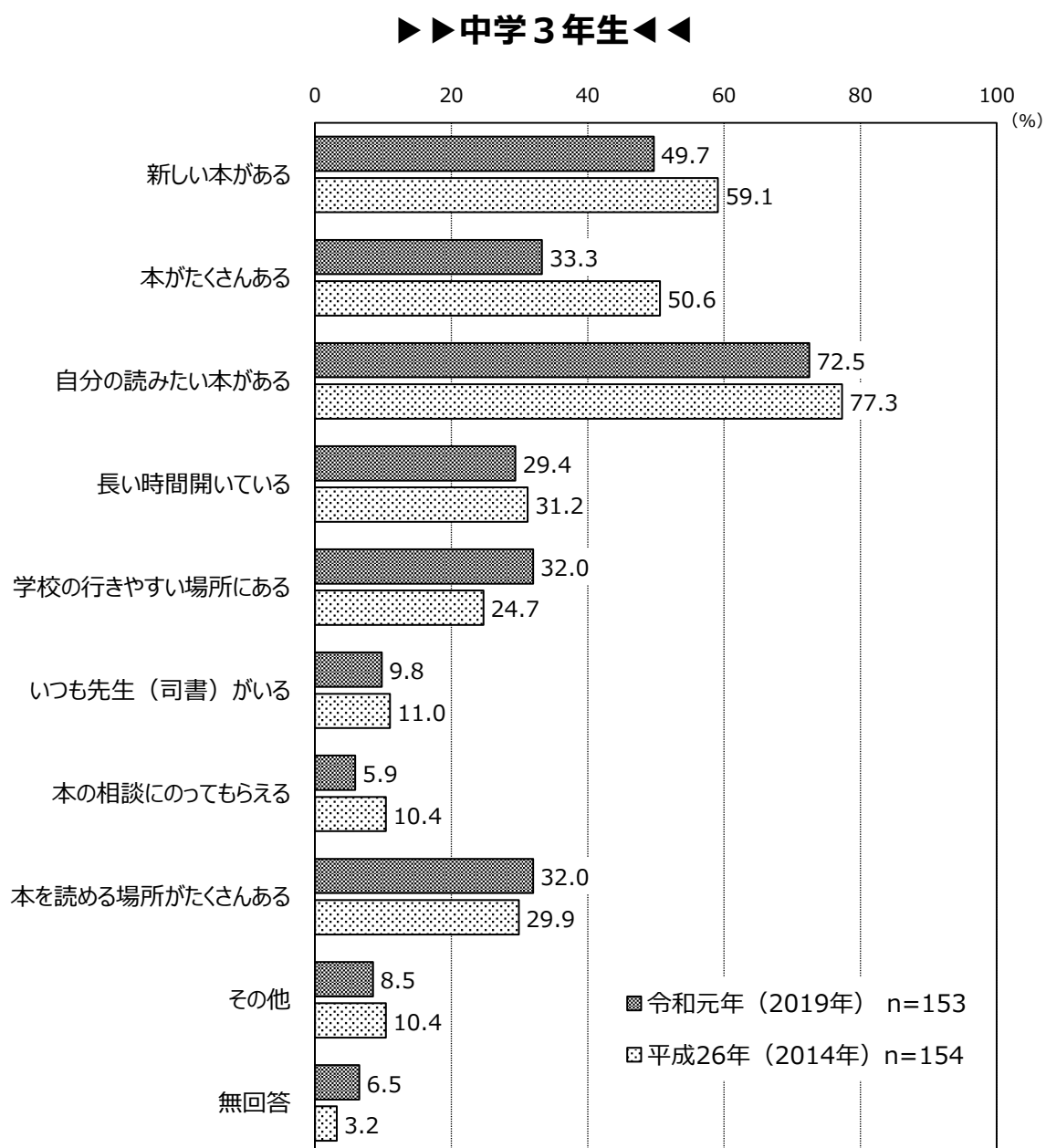
【平成26年】と比べ、「自分の読みたい本がある」が79.7%→89.9%（10.2ポイント増）。



問13 あなたはどんな学校図書館だったらいいと思いますか。（複数回答）

「自分の読みたい本がある」が最も高く72.5%、次いで「新しい本がある」49.7%、「本がたくさんある」33.3%と続く。

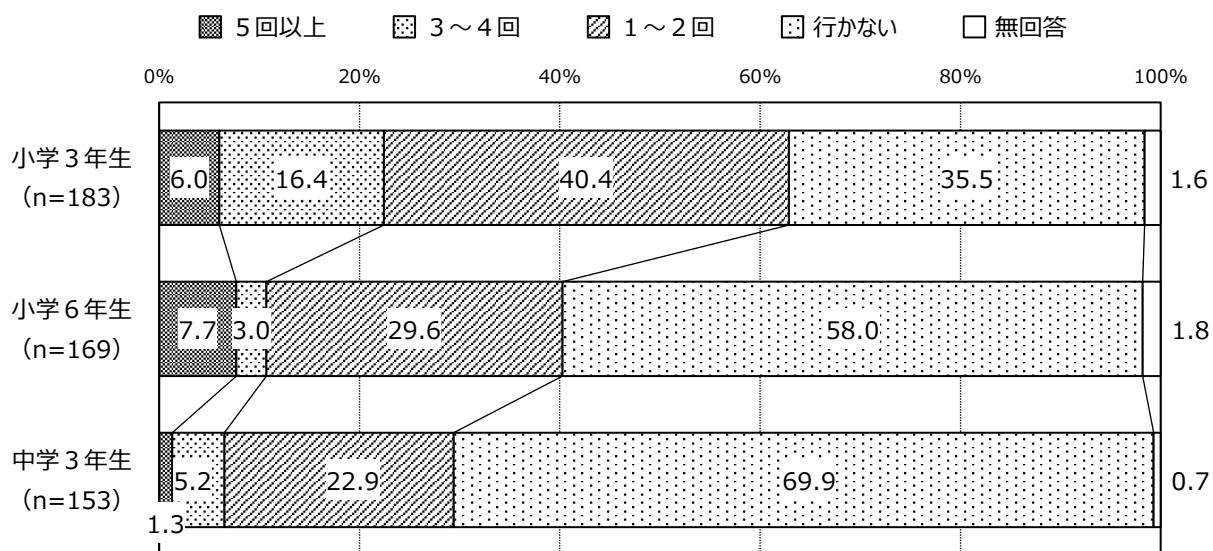
【平成26年】と比べ、「本がたくさんある」が50.6%→33.3%（17.3ポイント減）。



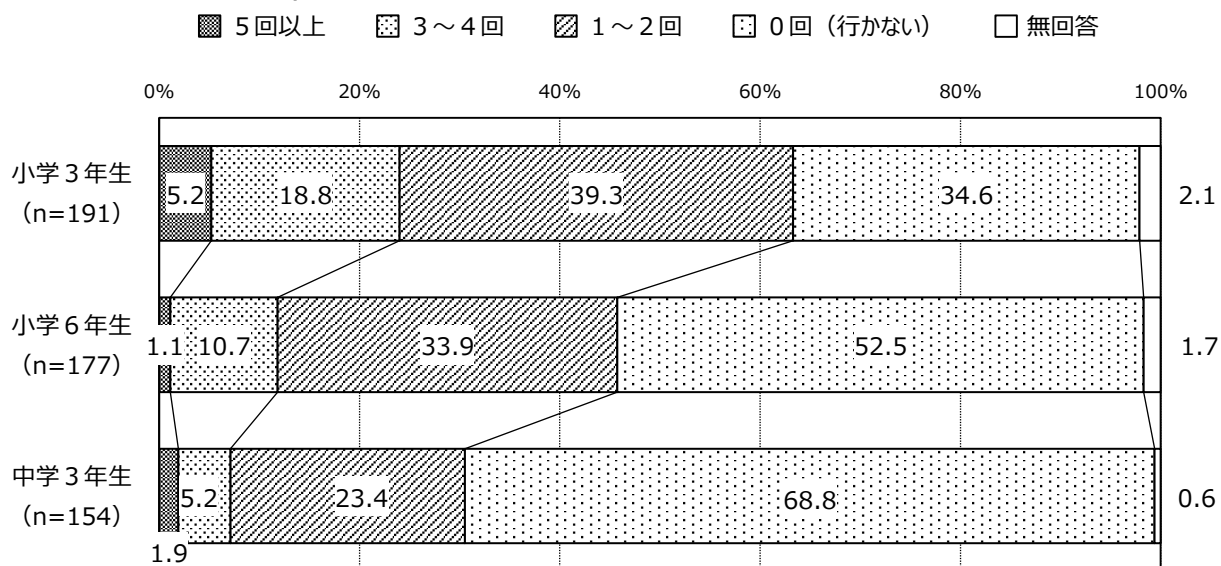
問14 あなたは1か月の間に地域の図書館にだいたい何回行きますか。

回答した割合が最も高いのは、小学3年生「1～2回」40.4%、小学6年生「行かない」58.0%、中学3年生「行かない」69.9%。学齢が上がるにつれて回数が減少。【平成26年】と比べ、「行かない」が全てのが学齢で増加し、小学3年生34.6%→35.5% (0.9ポイント増)、小学6年生52.5%→58.0% (5.5ポイント増)、中学3年生68.8%→69.9% (1.1ポイント増)。

●令和元年（2019年）



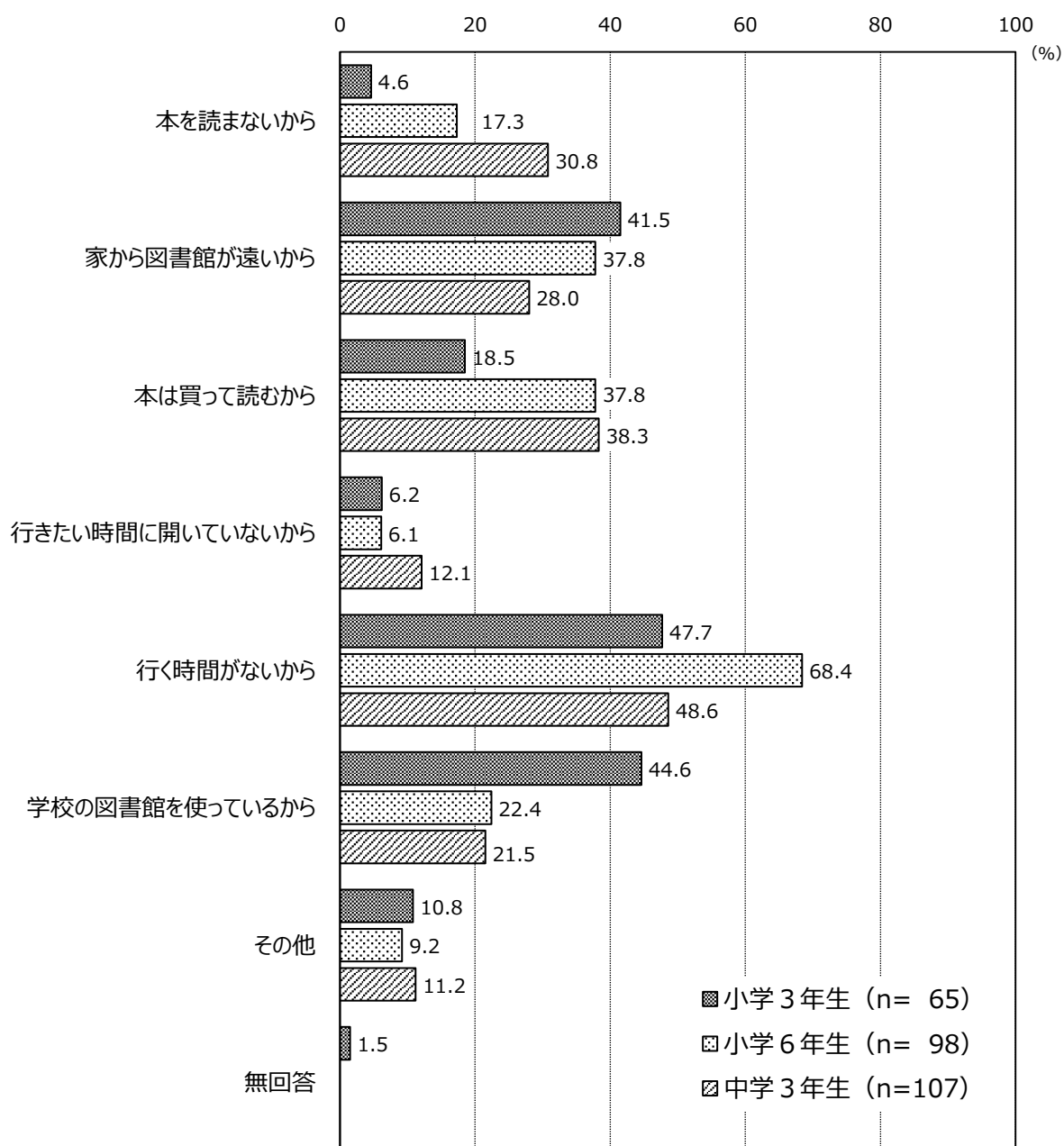
●平成26年（2014年）



問15 あなたが地域の図書館に行かないのはどうしてですか。（複数回答）

問14で「行かない」と答えた、地域の図書館に行かない人数は、小学3年生で65人/183人中、小学6年生で98人/169人中、中学3年生で107人/153人中。

全ての学齢で「行く時間がないから」が最も高く、小学3年生47.7%、小学6年生68.4%、中学3年生48.6%。

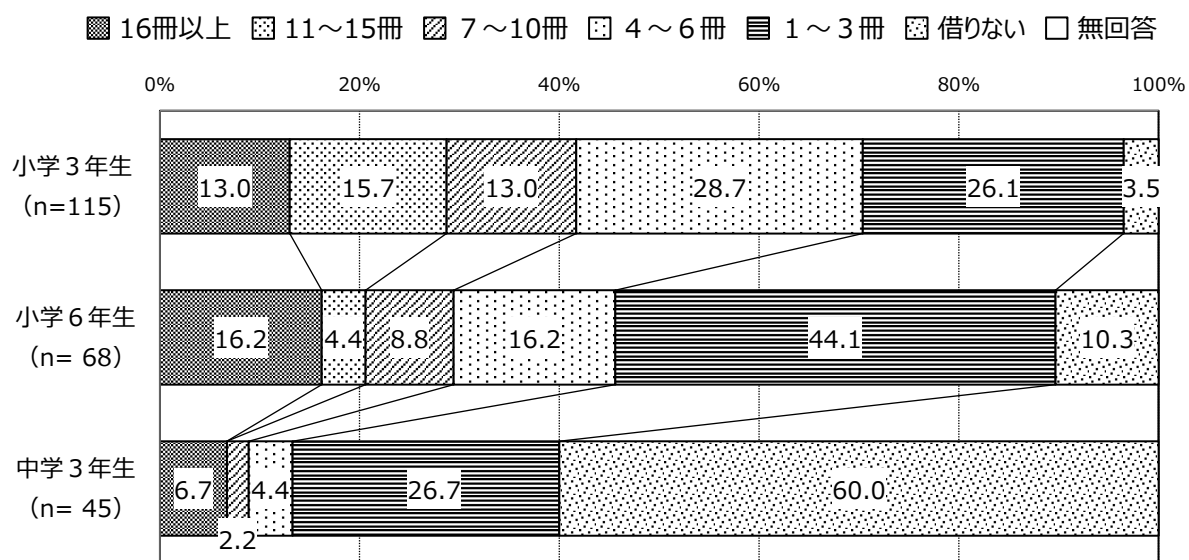


※問14「行かない」の回答者

問16 あなたは1か月の間に地域の図書館でだいたい何冊の本を借りますか。

問14で「1～2回」「3～4回」「5回以上」と答えた、地域の図書館に行く人数は、小学3年生で115人/183人中、小学6年生で68人/169人中、中学3年生で45人/153人中。

回答した割合が最も高いのは、小学3年生「4～6冊」28.7%、小学6年生「1～3冊」44.1%、中学3年生「借りない」60.0%。

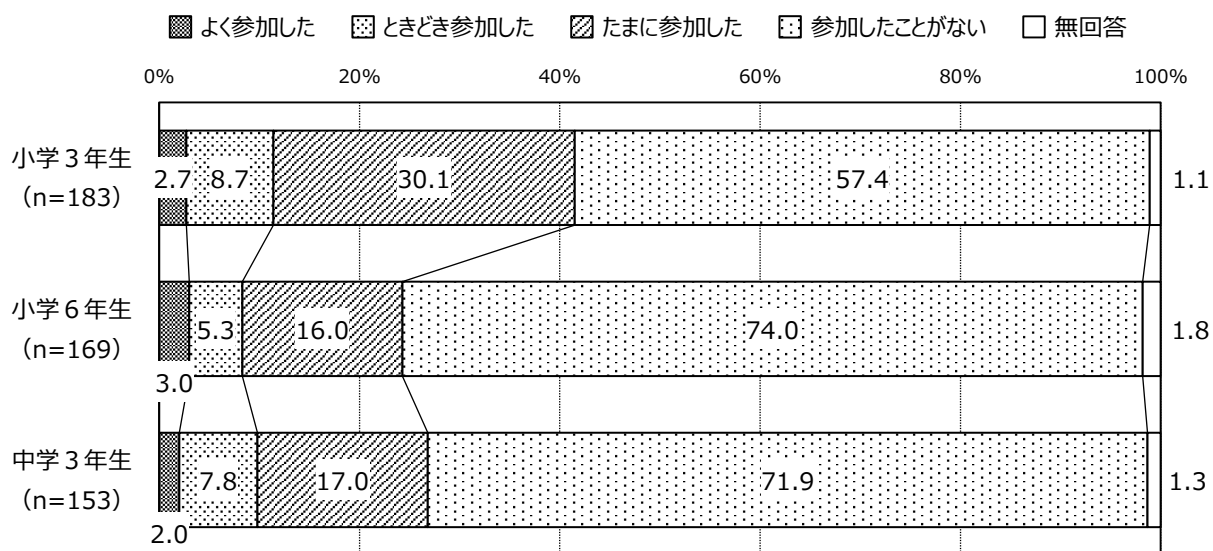


※問14「1～2回」「3～4回」「5回以上」の回答者

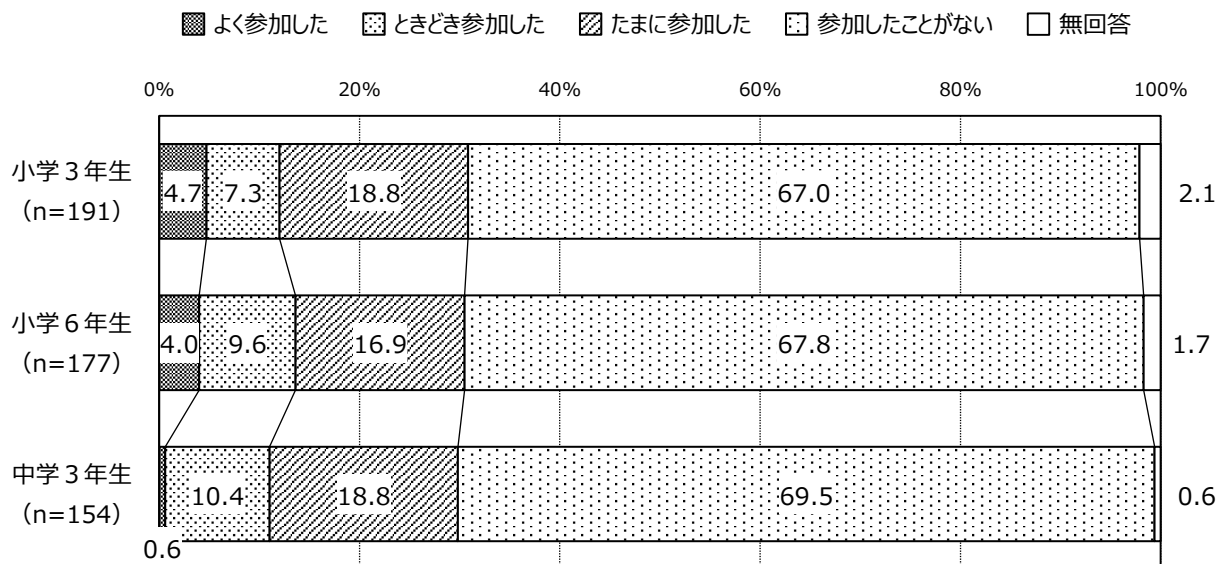
問17 これまで地域の図書館の「おはなし会」などに参加したことがありますか。

【平成26年】と比べ、前回同様に全ての学齢で「参加したことがない」が最も高く、小学3年生57.4%、小学6年生74.0%、中学3年生71.9%。

●令和元年（2019年）



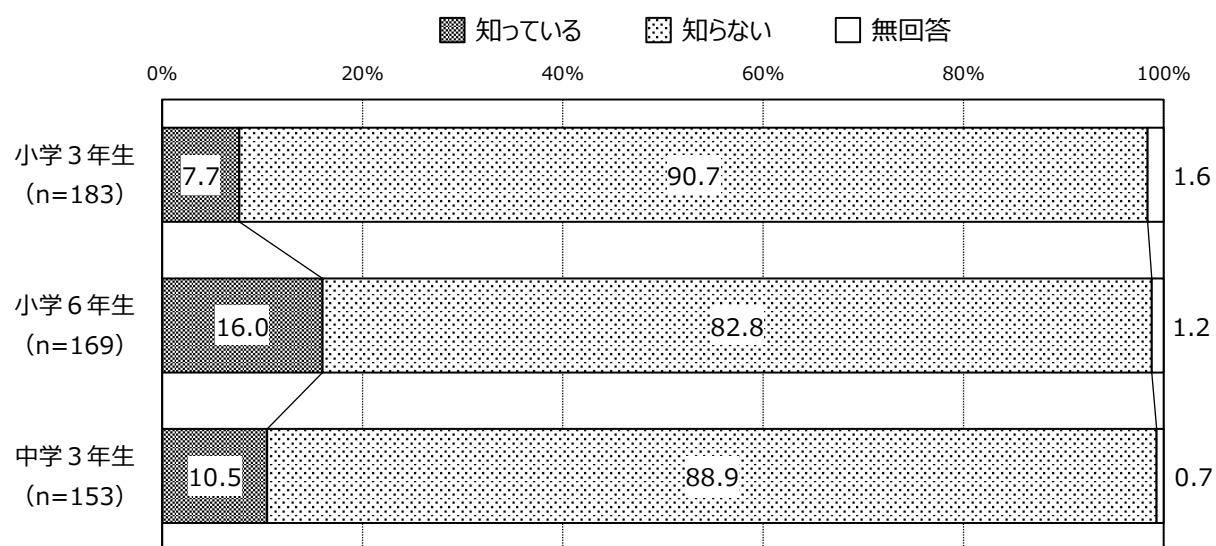
●平成26年（2014年）



問18 「世田谷区立図書館」のホームページにある「こどもページ」や「Teensのページ」を知っていますか。

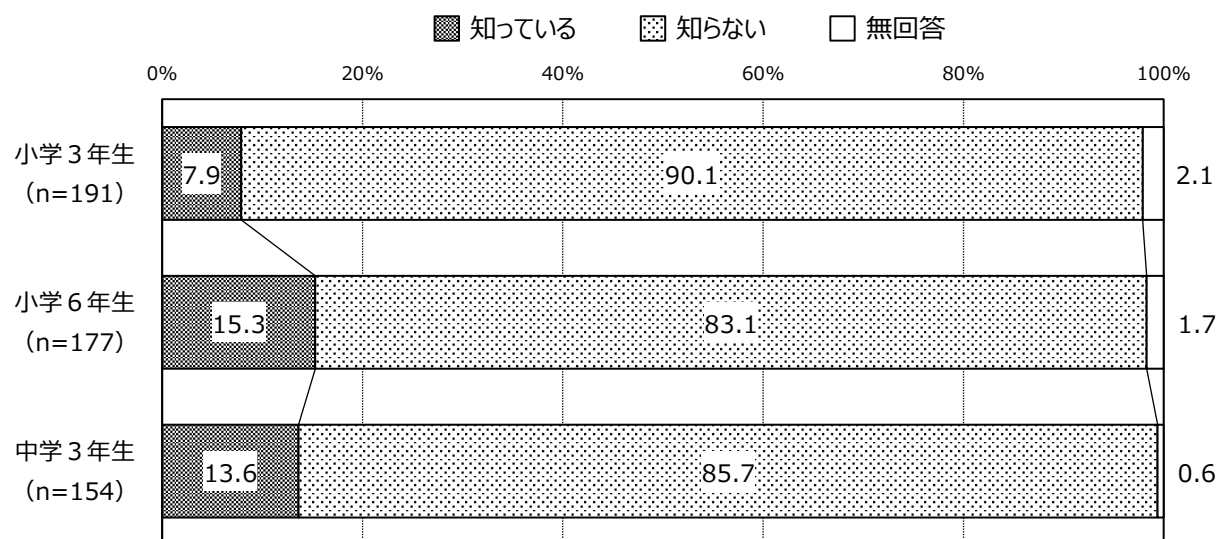
【平成26年】と比べ、前回同様に全ての学齢で「知らない」が高く、小学3年生90.7%、小学6年生82.8%、中学3年生88.9%。

●令和元年（2019年）



●平成26年（2014年）

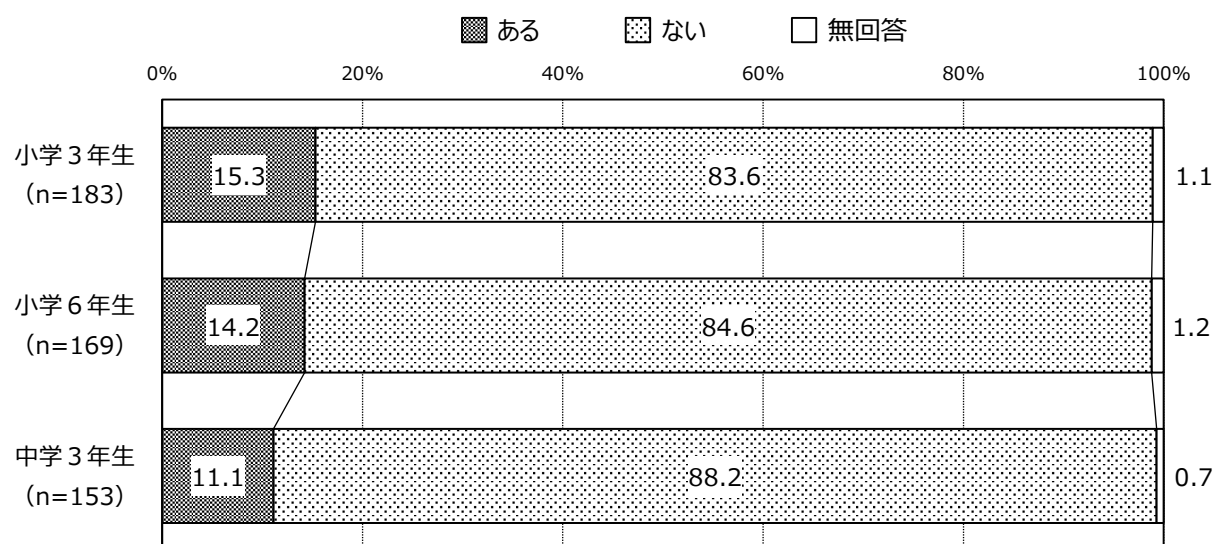
※「せたがや こどものとしよかん」のホームページを知っていますか。



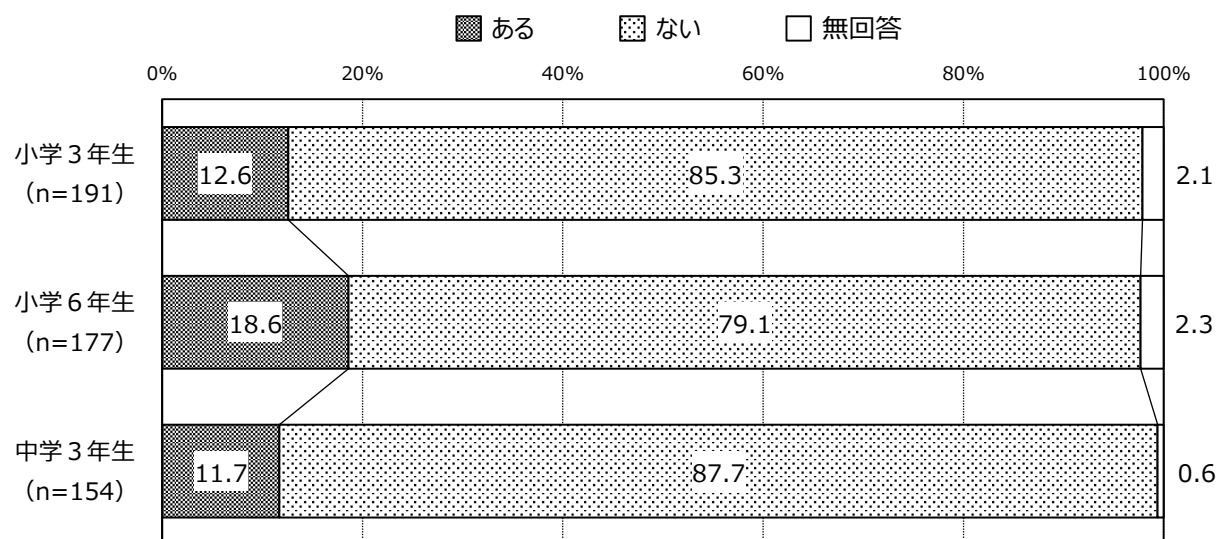
問19 世田谷区では「毎月23日は世田谷区家庭読書の日」としていますが、聞いたことがありますか。

【平成26年】と比べ、前回同様に全ての学齢で「ない」が高く、小学3年生83.6%、小学6年生84.6%、中学3年生88.2%。

●令和元年（2019年）



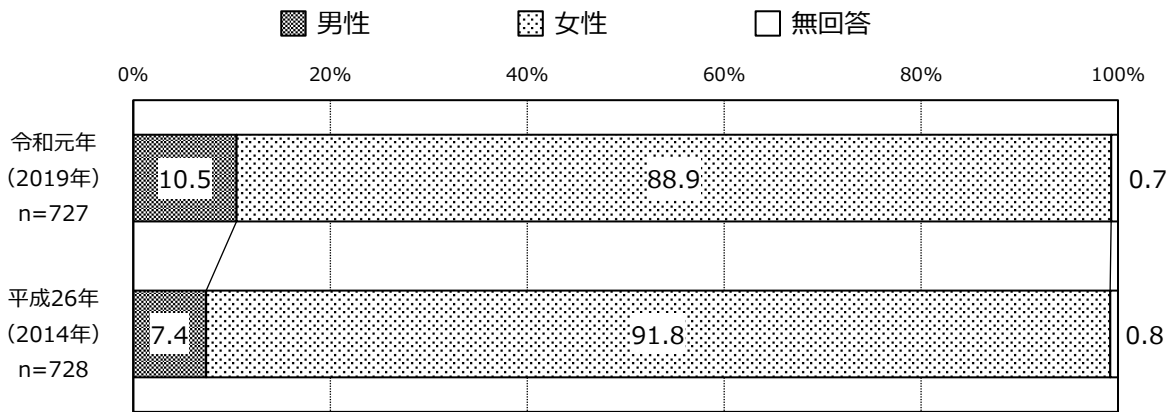
●平成26年（2014年）



Ⅱ 保護者

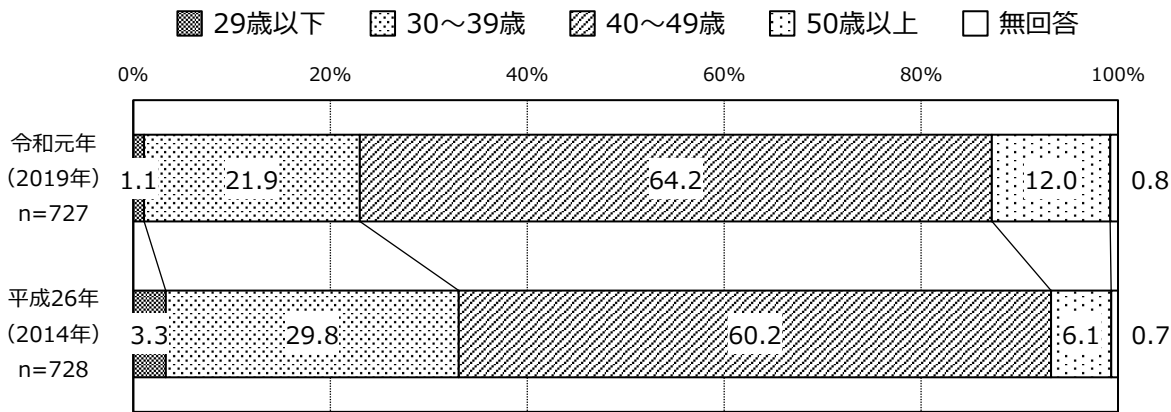
問 1 あなたの性別を教えてください。

女性が88.9%と圧倒的に多い。



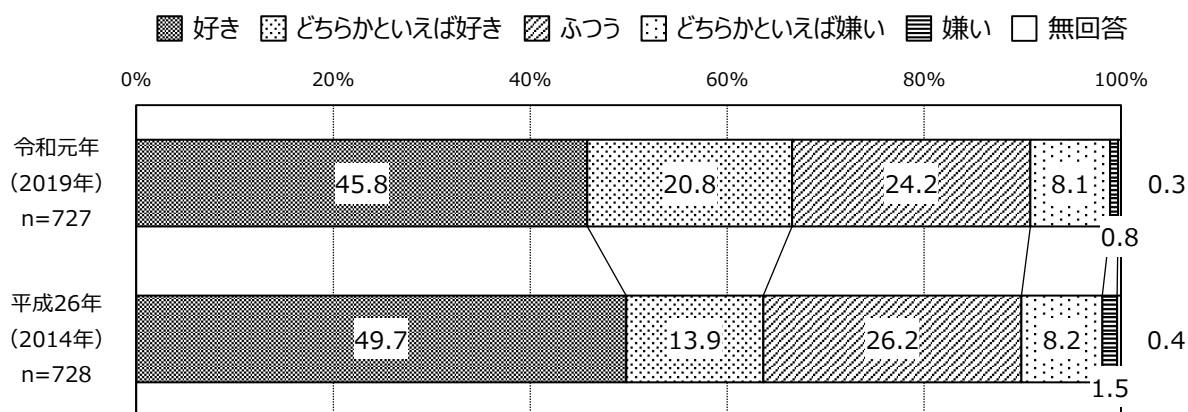
問 2 あなたの年齢を教えてください。

「40代」が最も高く64.2%、次いで「30代」21.9%、「50歳以上」12.0%と続く。



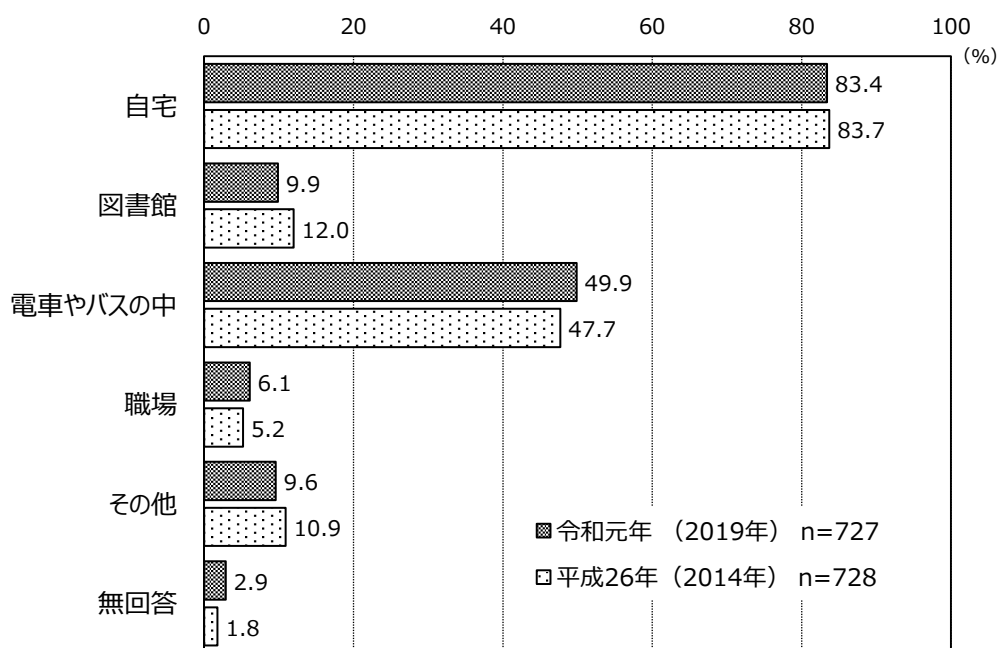
問3 あなたは本を読むのが好きですか。

「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせると70%弱で、「どちらかといえば嫌い」と「嫌い」を合わせると約9%。



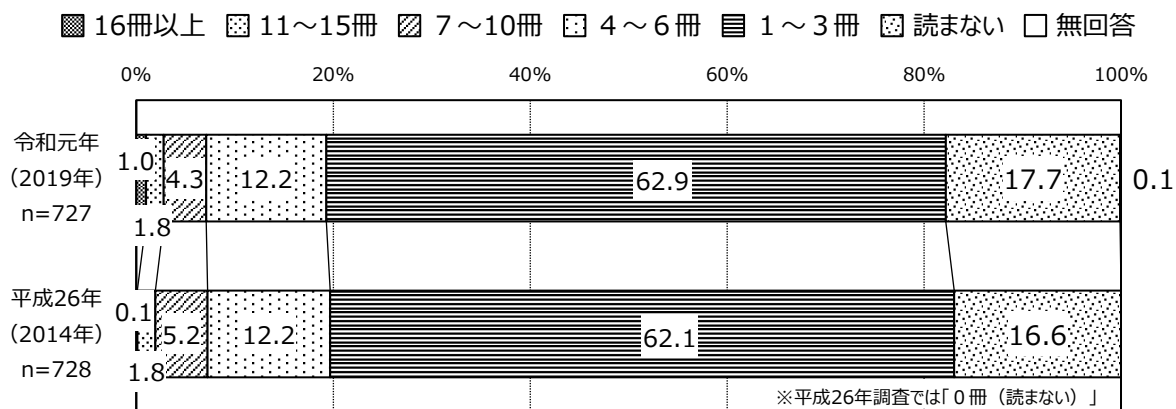
問4 あなたはどこで本を読んでいますか。(複数回答)

「自宅」が最も高く83.4%、次いで「電車やバスの中」49.9%、「図書館」9.9%と続く。
【平成26年】と【令和元年】の全ての項目が概ね同程度の割合。



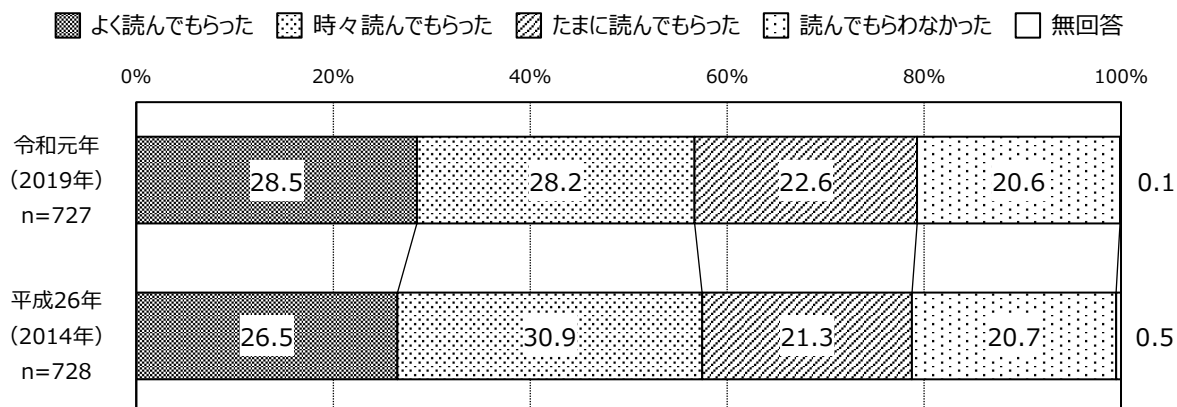
問5 あなたは1か月間に大体何冊本を読みますか。

「1～3冊」が最も高く62.9%、次いで「読まない」17.7%、「4～6冊」12.2%と続く。
【平成26年】と【令和元年】は概ね同程度の割合。



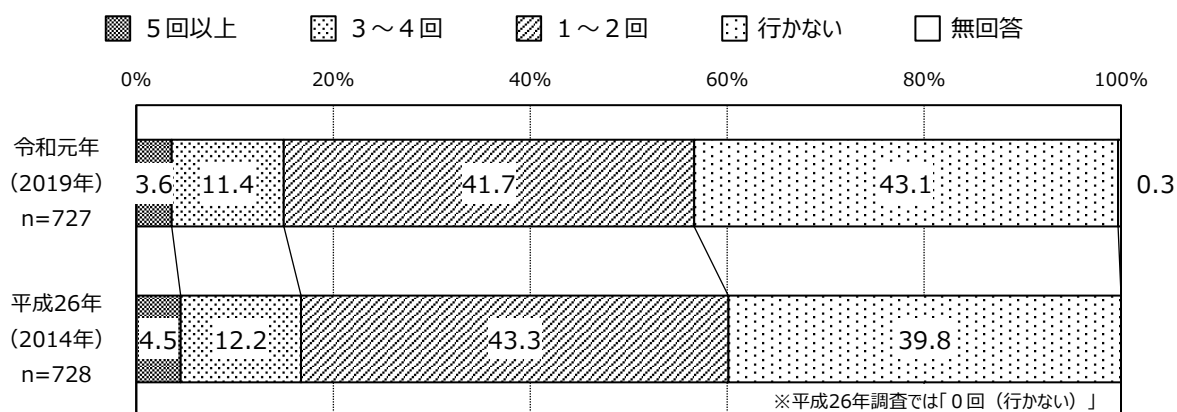
問6 あなたは子どもの頃、家族や身近な人に本を読んでもらっていましたか。

「よく読んでもらった」が最も高く28.5%、次いで「時々読んでもらった」28.2%、「たまに読んでもらった」22.6%と続く。
【平成26年】と【令和元年】は概ね同程度の割合。



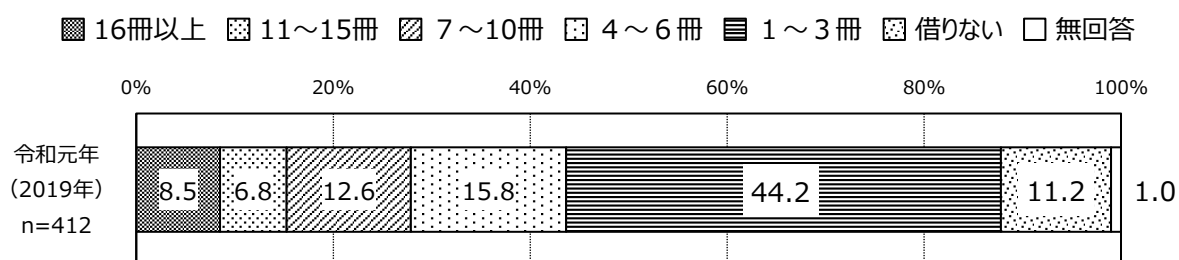
問7 あなたは1か月間に大体何回図書館へ行きますか。

「行かない」が最も高く43.1%、次いで「1～3回」41.7%、「3～4回」11.4%と続く。
【平成26年】と比べ、「行かない」が39.8%→43.1%（3.3ポイント増）。



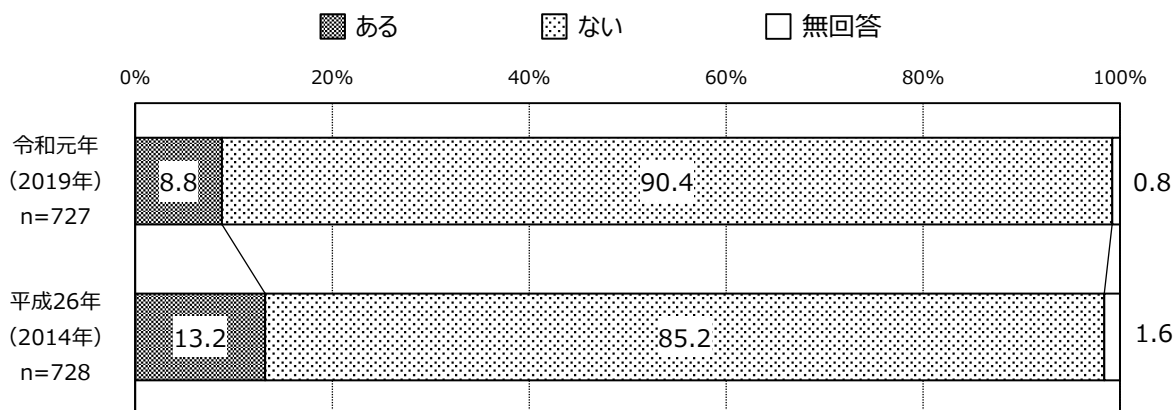
問8 あなたは1か月間に大体何冊図書館で本を借りますか。

問7で「1～2回」「3～4回」「5回以上」と答えた 図書館に行く人数は、412人/727人中。
「1～3冊」が最も高く44.2%、次いで「4～6冊」15.8%、「7～10冊」12.6%と続く。



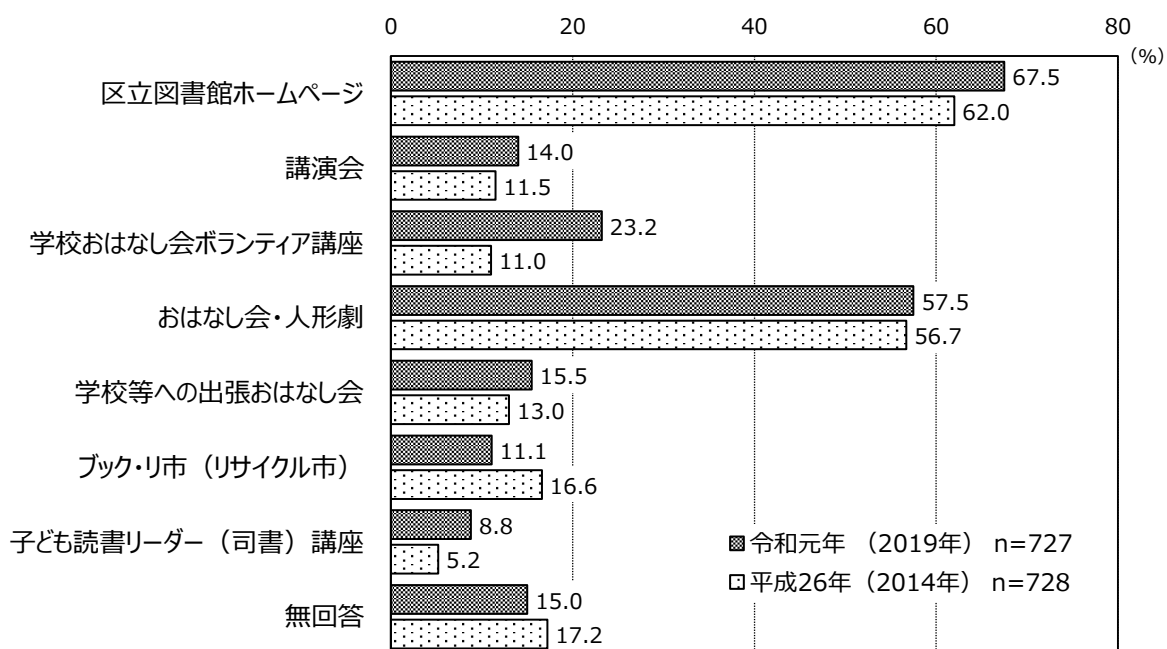
問9 「毎月23日は世田谷区家庭読書の日」としていますが、聞いたことがありますか。

「ない」が90.4%と高い。
【平成26年】と比べ、「ない」が85.2%→90.4% (5.2ポイント増)。



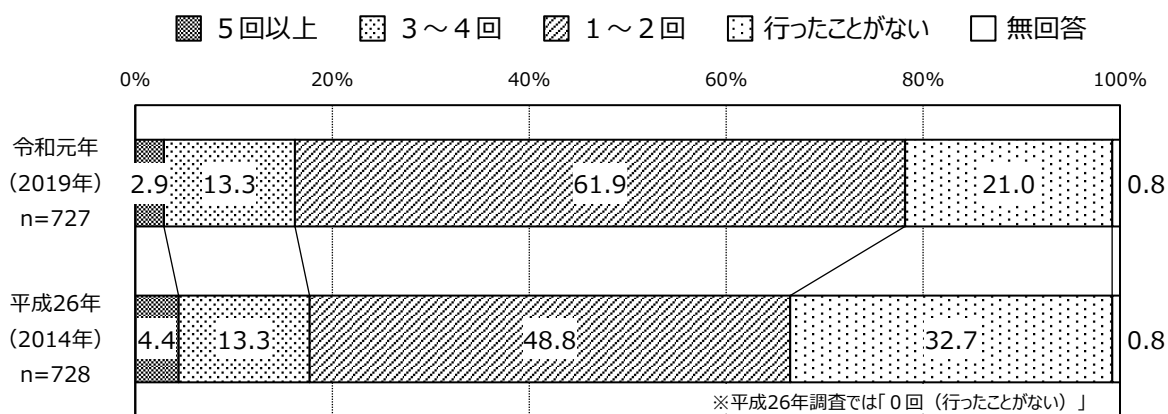
問10 世田谷区の図書館で実施しているもので、知っているものはありますか。(複数回答)

「区立図書館ホームページ」が最も高く67.5%、次いで「おはなし会・人形劇」57.5%、「学校おはなし会ボランティア講座」23.2%と続く。
【平成26年】と比べ、「学校おはなし会ボランティア講座」が11.0%→23.2% (12.2ポイント増)。
その他の項目は概ね同程度の割合。



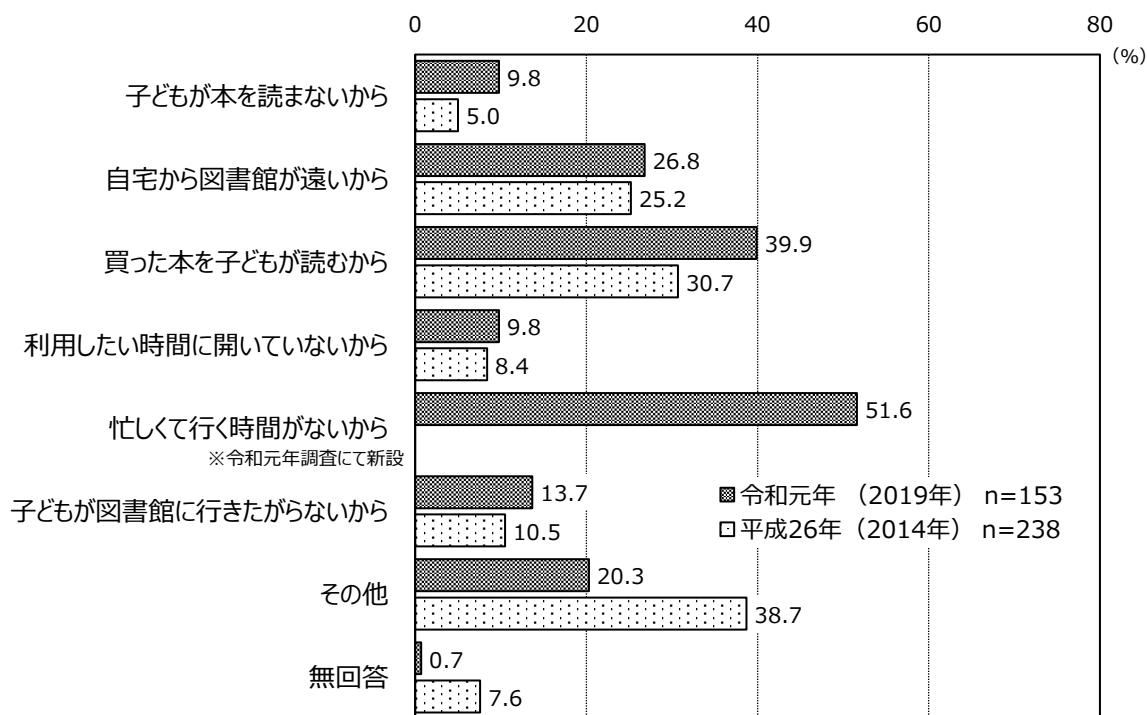
問11 あなたは1か月間に大体何回お子さんと一緒に図書館へ行きますか、または行っていましたか。

【平成26年】と比べ、1回以上行った割合の「1～2回」「3～4回」「5回以上」を合わせると、66.5%→78.1% (11.6ポイント増)。



問12 お子さんと一緒に図書館に行かない、または行かなかった理由は何ですか。（複数回答）

問11で「行ったことがない」と答えた人数は、153人/727人中。
「忙しくて行く時間がないから」が最も高く51.6%、次いで「買った本を子どもが読むから」39.9%、「自宅から図書館が遠いから」26.8%と続く。

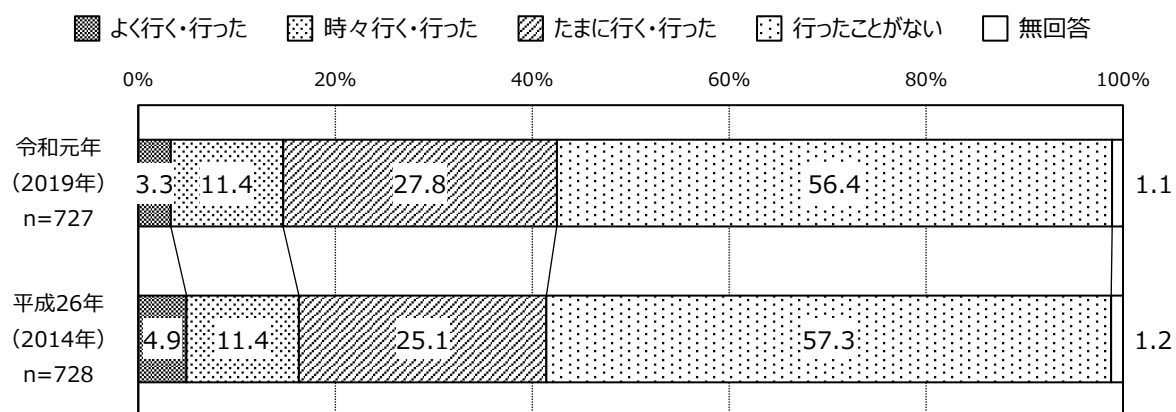


※問11「行ったことがない」の回答者

問13 「おはなし会」にお子さんを連れて行きますか、または行ったことがありますか。

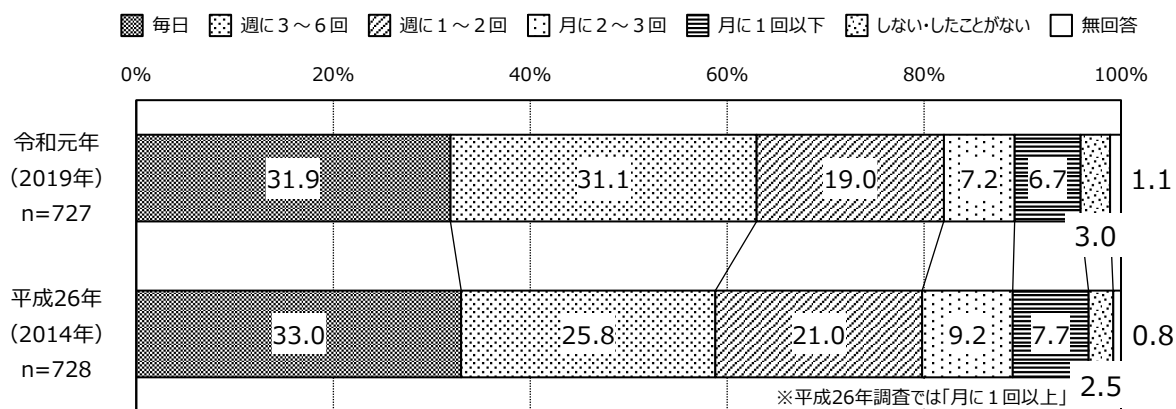
「たまに行く・行った」が27.8%、次いで「時々行く・行った」が11.4%と続く。「行ったことがない」は56.4%。

【平成26年】と【令和元年】は概ね同程度の割合。



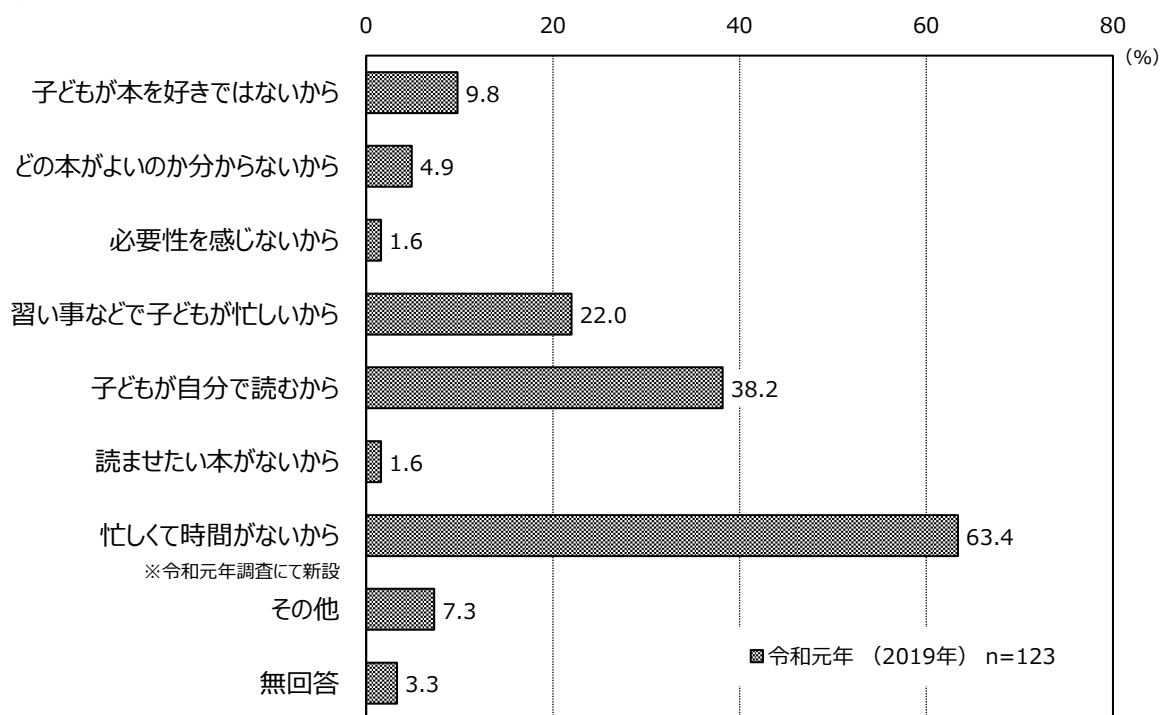
問14 あなたが、お子さんに本の読み聞かせをしている、またはしていた頻度についてお答えください。

「毎日」が最も高く31.9%。次いで「週に3～6回」31.1%、「週に1～2回」19.0%と続く。
【平成26年】と【令和元年】は概ね同程度の割合。



問15 あなたがお子さんにあまり読み聞かせをしない、またはしなかった理由は何ですか。（複数回答）

問14で「月に2～3回」「月に1回以下」「しない・したことがない」と答えた、あまり読み聞かせをしない・しなかった人数は123人/727人中。
「忙しくて行く時間がないから」が最も高く63.4%、次いで「子どもが自分で読むから」38.2%、「習い事などで子どもが忙しいから」22.0%と続く。

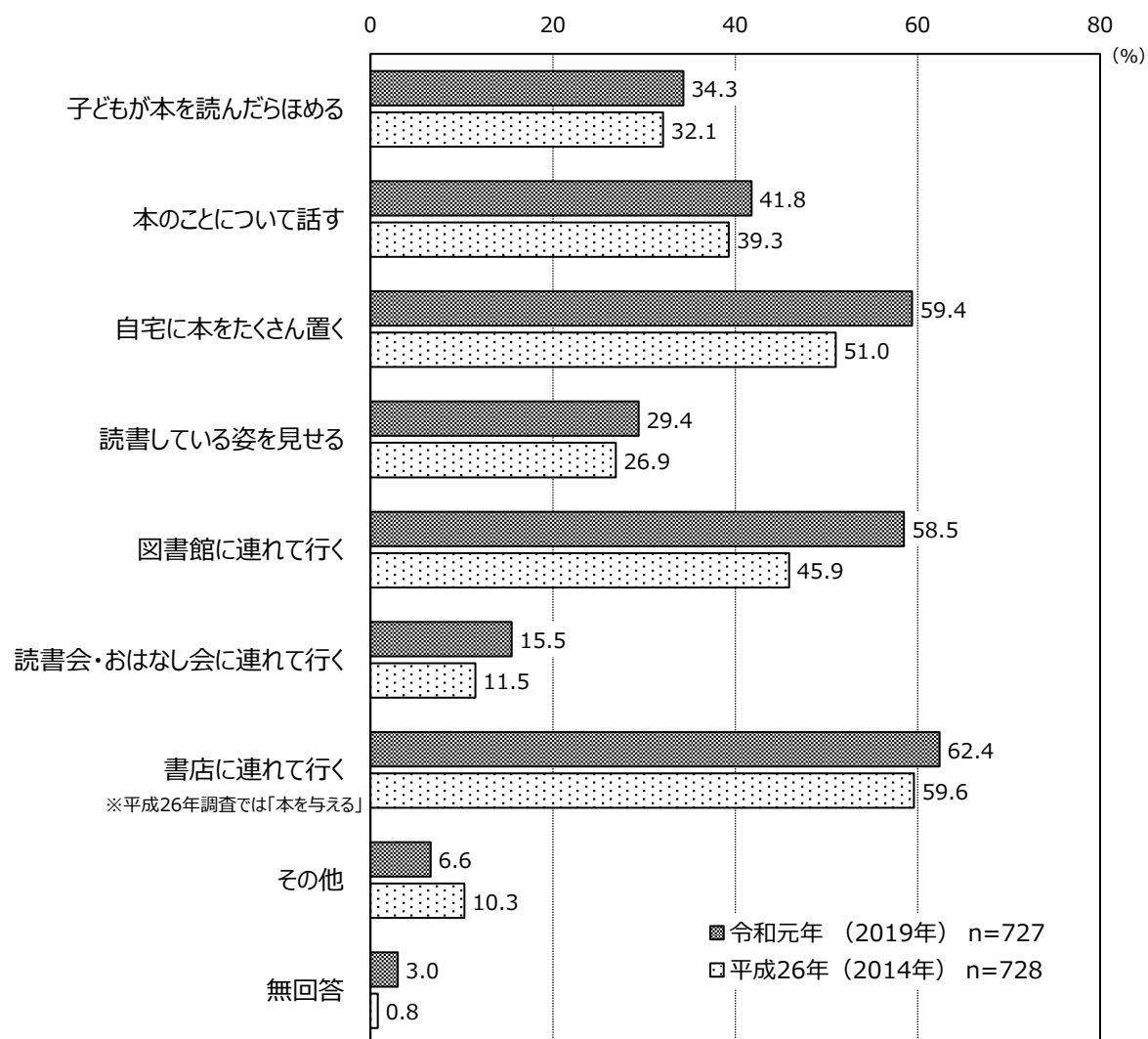


※問14 令和元年調査「月に2～3回」「月に1回以下」「しない・したことがない」の回答者

問16 お子さんの読書環境を整えるためにしている、またはしていたことは何ですか。（複数回答）

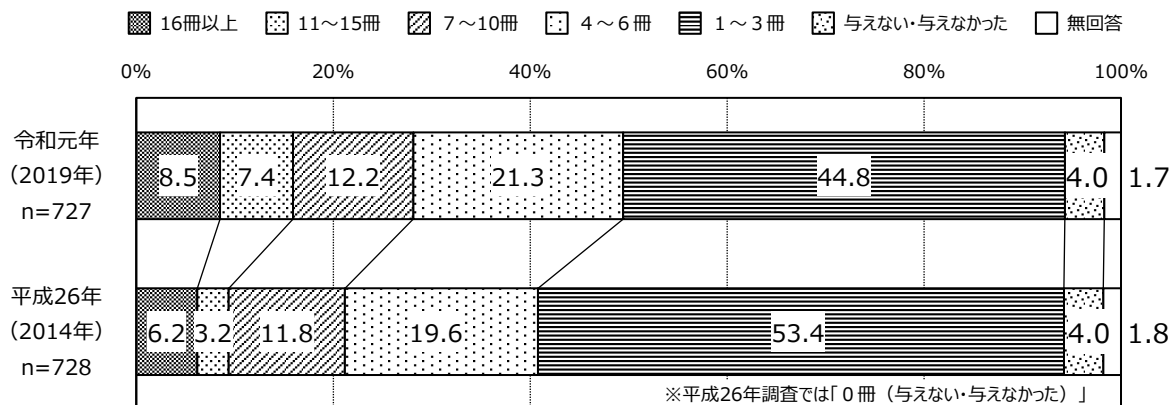
「書店に連れて行く」が最も高く62.4%、次いで「自宅に本をたくさん置く」59.4%、「図書館に連れて行く」58.5%と続く。

【平成26年】と比べ、「その他」以外の項目のポイントが増加。



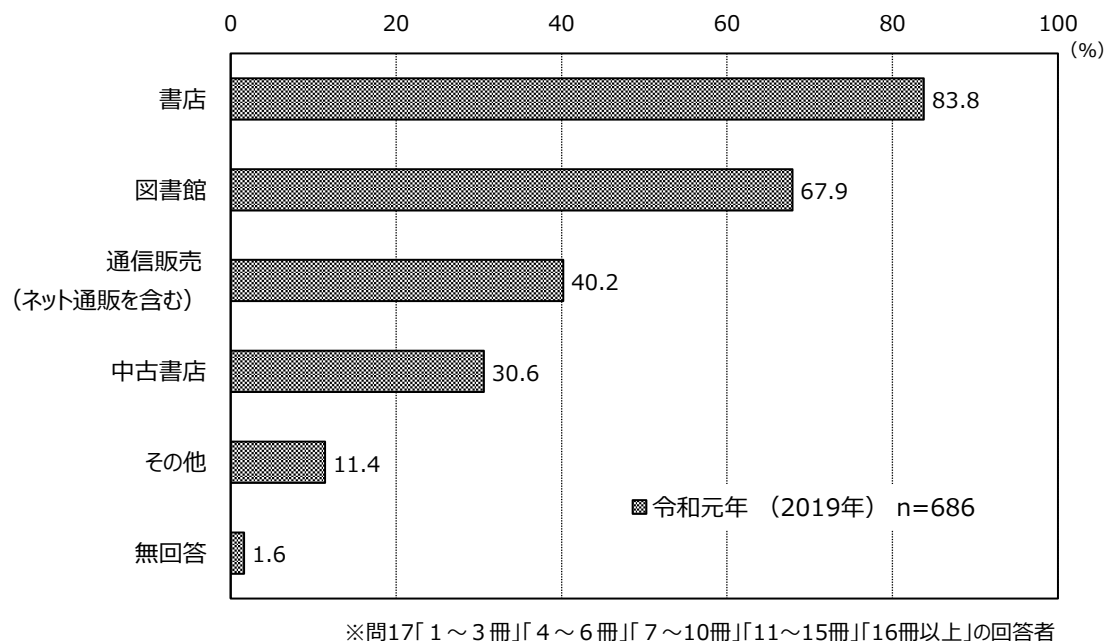
問17 あなたは1か月間に大体何冊本をお子さんに与えますか、または与えていましたか。

「1～3冊」が最も高く44.8%。次いで「4～6冊」21.3%、「7～10冊」12.2%と続く。
 【平成26年】と比べ、「与えない・与えなかった」は同値だが、与える冊数の割合は、「4～6冊」19.6%→21.3%（1.7ポイント増）、「7～10冊」11.8%→12.2%（0.4ポイント増）、「11～15冊」3.2%→7.4%（4.2ポイント増）、「16冊以上」6.2%→8.5%（2.3ポイント増）とそれぞれ増加している。



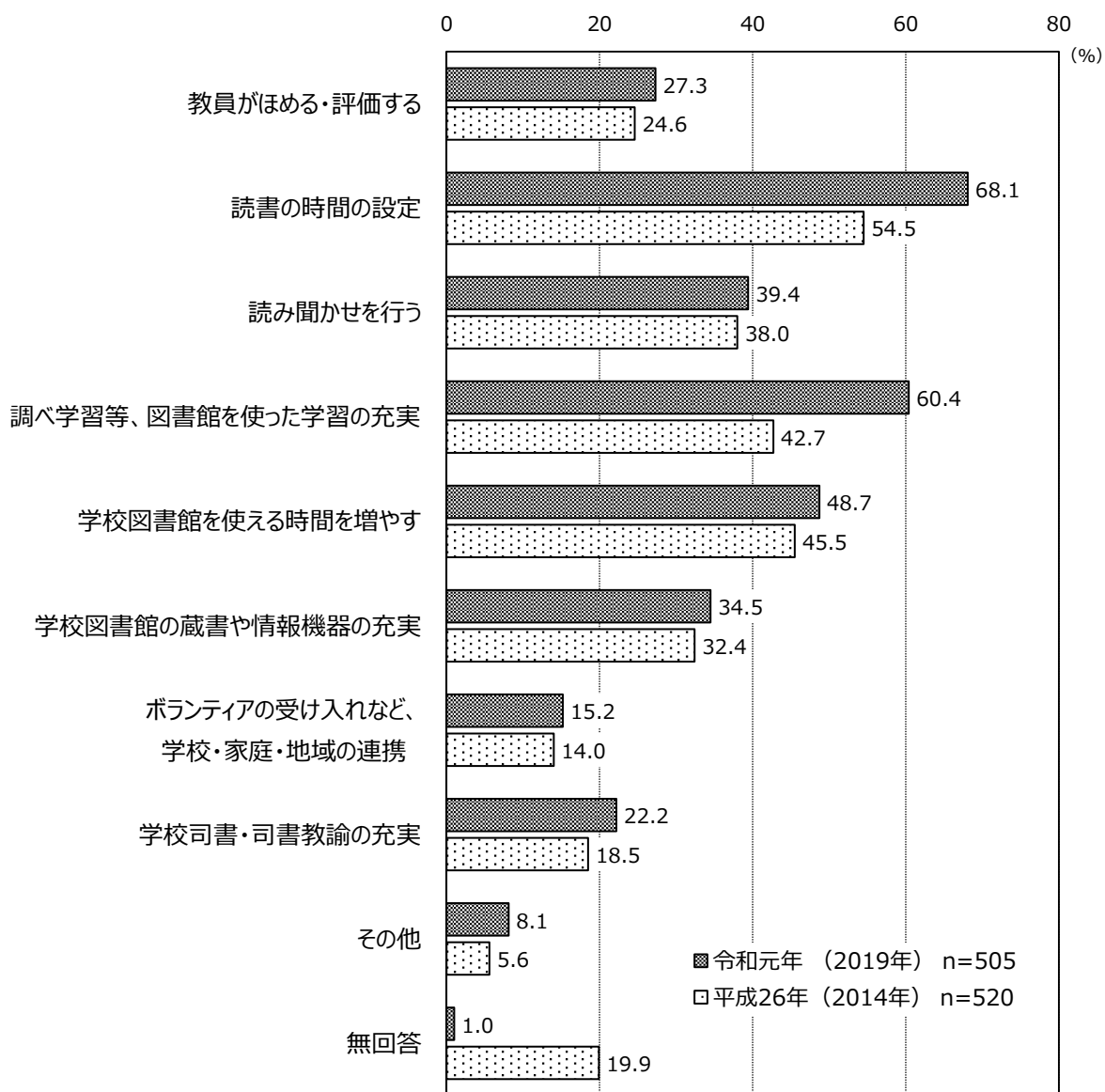
問18 お子さんの読む本を入手する、または入手していた場所をお答えください。（複数回答）

「書店」が最も高く83.8%、次いで「図書館」67.9%、「通信販売（ネット通販を含む）」40.2%と続く。



問19 子どもの読書環境を整えるために必要だと思う学校の活動（複数回答）

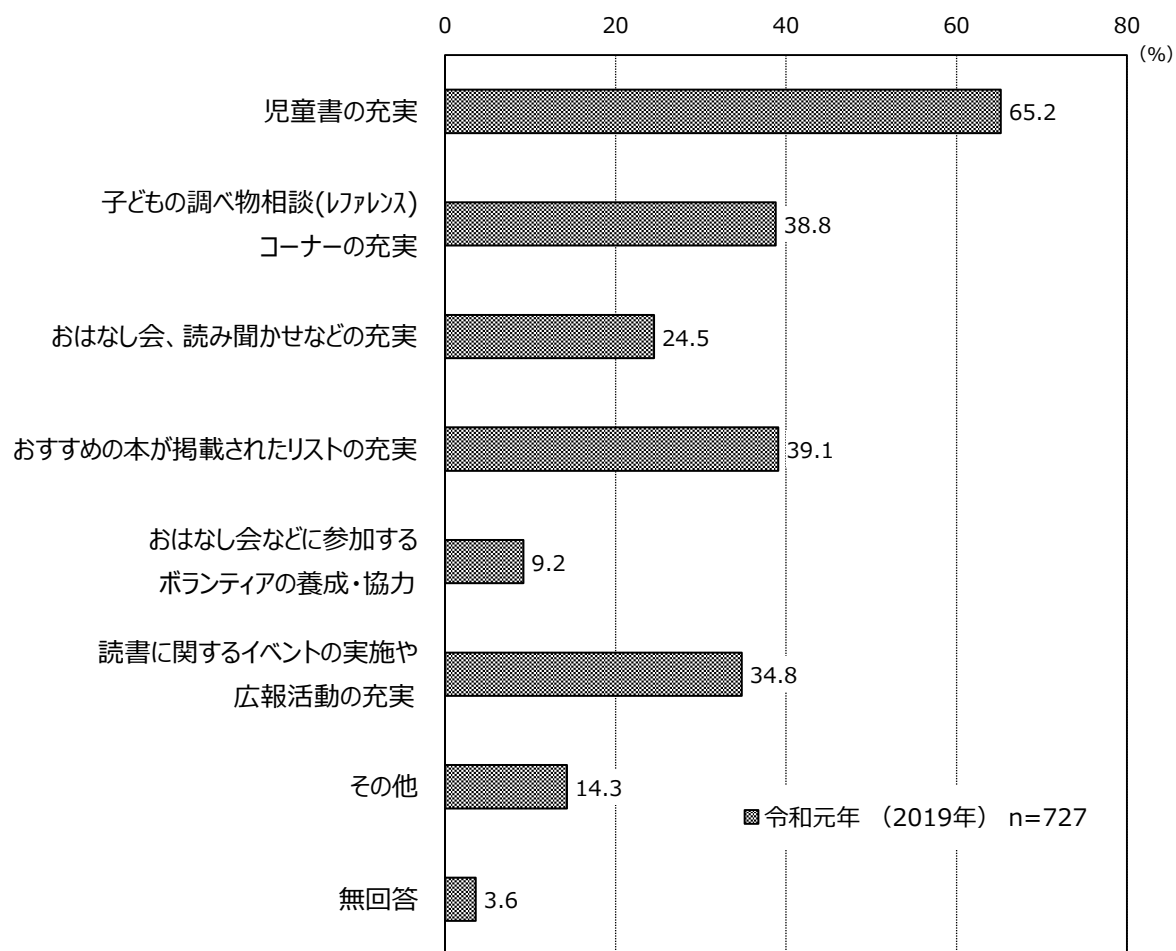
「読書の時間の設定」が最も高く68.1%、次いで「調べ学習等、図書館を使った学習の充実」60.4%、「学校図書館を使える時間を増やす」48.7%と続く。
【平成26年】と比べ、全ての項目のポイントが増加。特に「読書の時間の設定」が54.5%→68.1%で13.6ポイント増、「調べ学習等、図書館を使った学習の充実」が42.7%→60.4%で17.7ポイント増となった。



※ 5歳児の保護者を除く

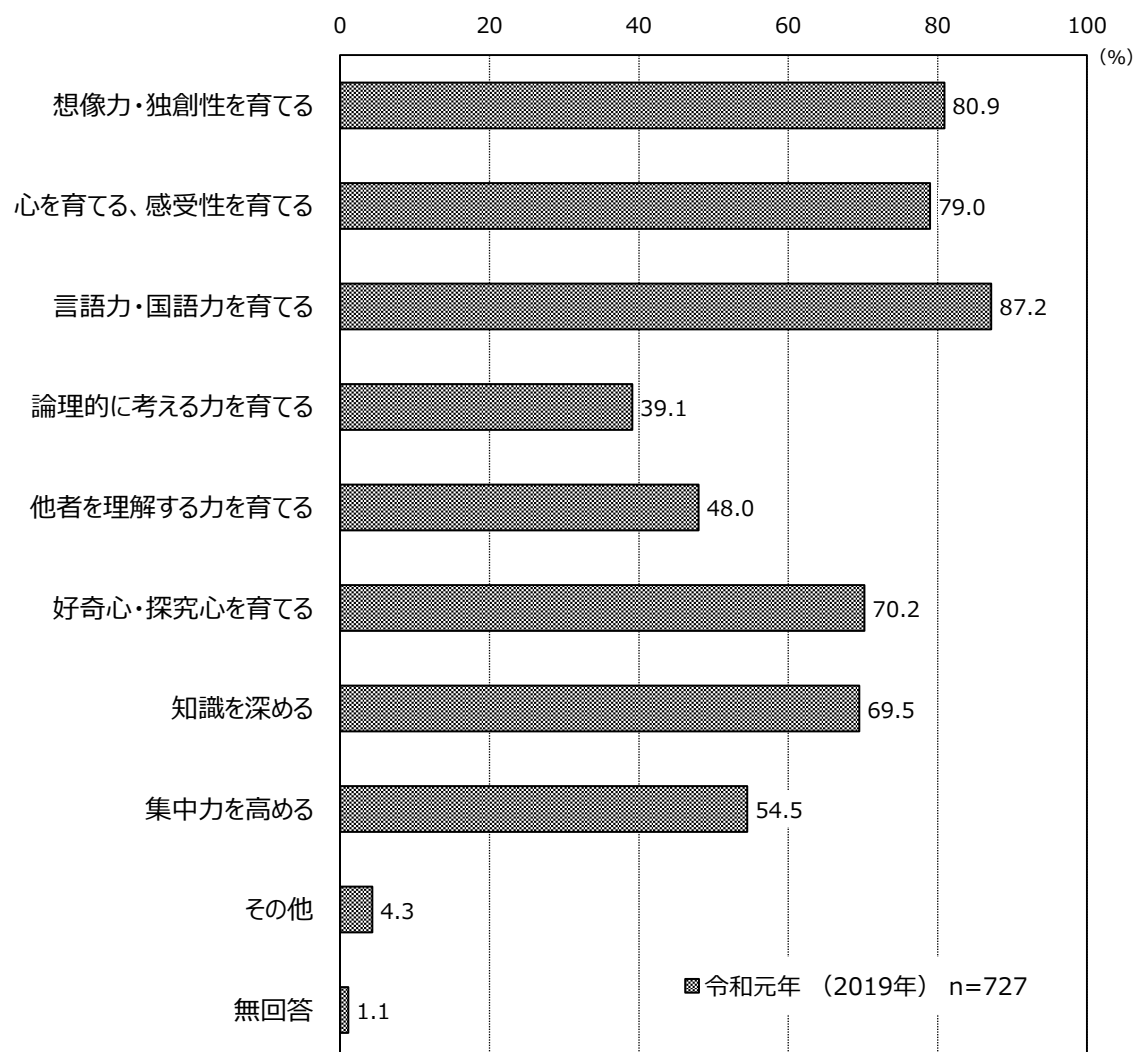
問20 子どもの読書環境を整えるために必要だと思う公立図書館の活動（複数回答）

「児童書の充実」が最も高く65.2%、次いで「おすすめの本が掲載されたリストの充実」39.1%、「子どもの調べ物相談(レファレンス)コーナーの充実」38.8%と続く。



問21 あなたは子どもの読書にどのような効果を期待していますか。（複数回答）

「言語力・国語力を育てる」が最も高く87.2%、次いで「想像力・独創性を育てる」80.9%、「心を育てる、感受性を育てる」79.0%と続く。

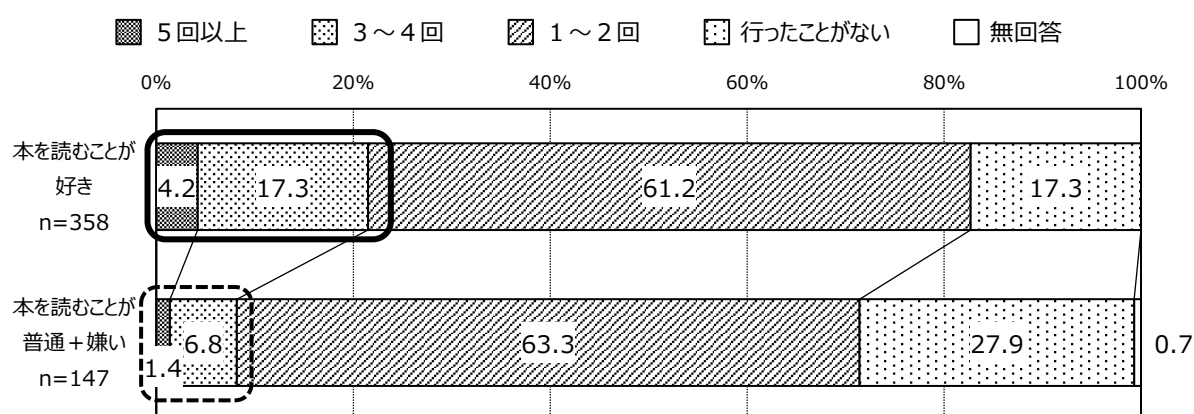


Ⅲ 子どもの読書嗜好と保護者の活動について

子どもへの設問『あなたは本を読むのが好きですか。』の回答を元に、子どもが本を読むことが好きな家庭（「好き」+「どちらかといえば好き」）と、そうではない家庭（「ふつう」+「どちらかといえば嫌い」+「嫌い」）に分け、子どもの読書嗜好と、子どもが小さい頃に保護者が行っていた活動の関係を分析した。

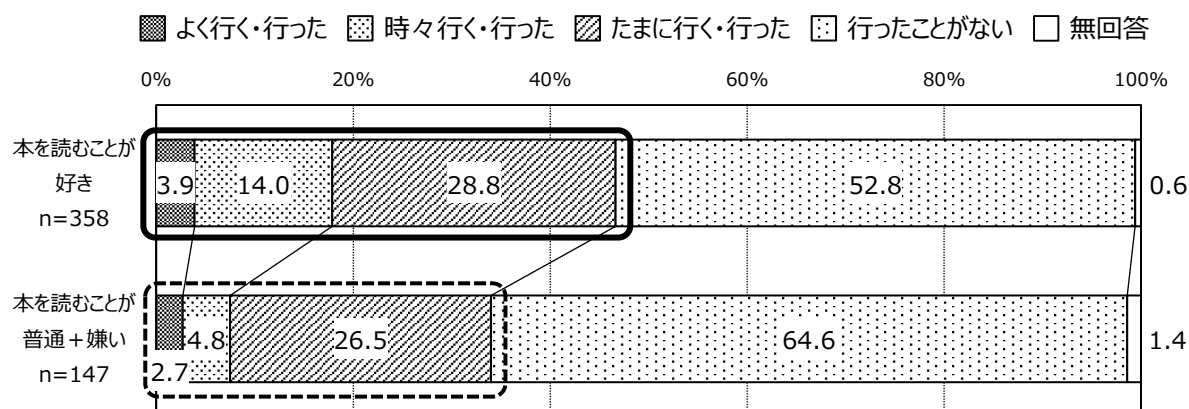
1 か月間に大体何回お子さんと一緒に図書館へ行っていましたか。

子どもが本を好きな家庭は、月3回以上子どもと図書館へ行っていた割合が13.3ポイント（21.5%と8.2%）高い。



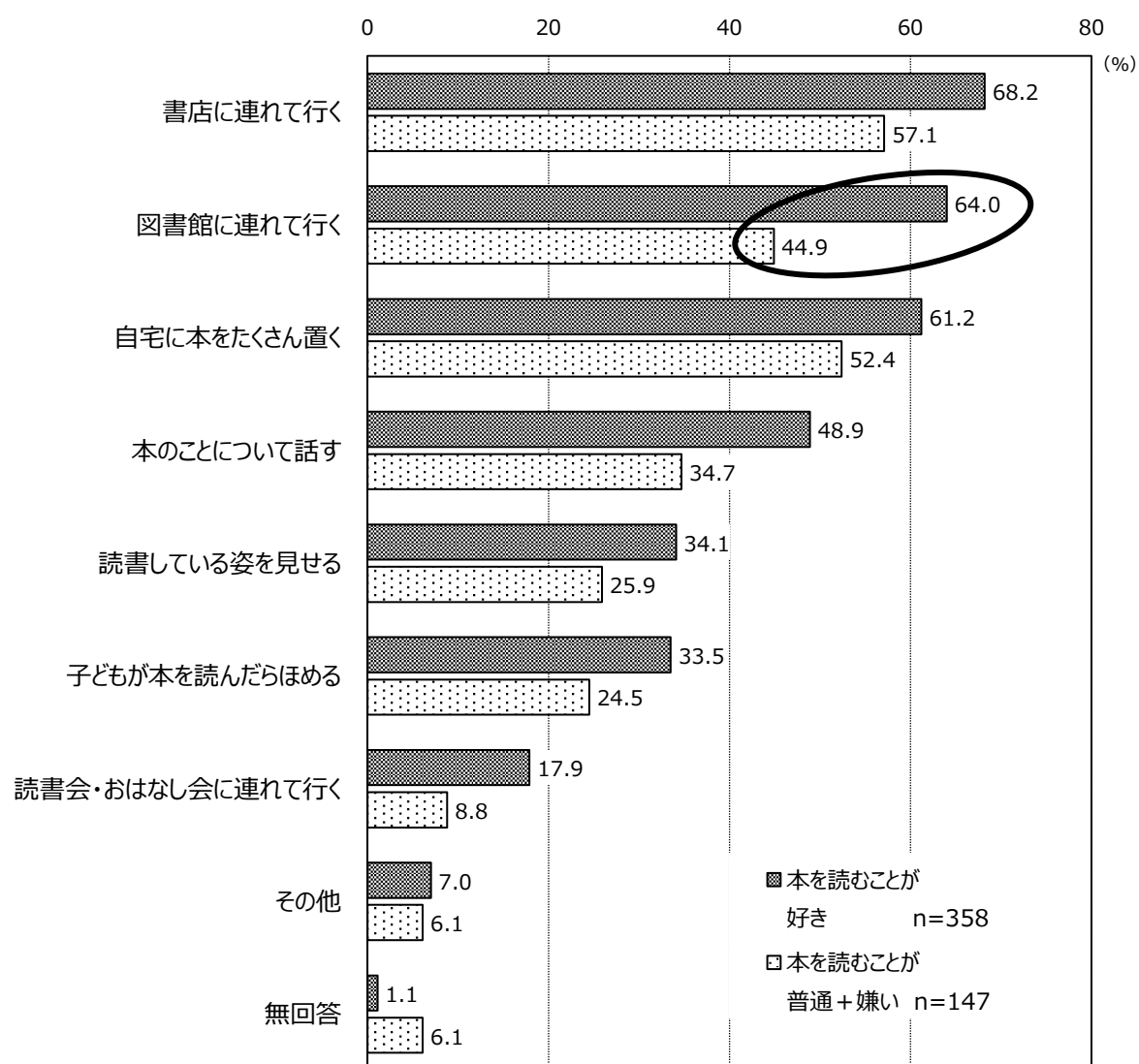
図書館等実施の「おはなし会」にお子さんを連れて行ったことがありますか。

子どもが本を好きな家庭は、「おはなし会」へ連れて行っていた割合が12.7ポイント（46.7%と34.0%）高い。



お子さんの読書環境を整えるためにしていたことは何ですか。

子どもが本を好きな家庭では、子どもが本を読むための取り組みをより多くしている。中でも「図書館に連れて行く」では19.1ポイント(64.0%と44.9%)高い。



IV 自由記述（保護者）

子どもの読書活動についてのご意見などを自由に記入してください。

5 歳児 保護者

▶ 地域の図書館について

- ・ 「ディズニープリンセス」「昔話名作シリーズ」の絵本があるといいなと思います。DVDでスポーツのレクチャーやバレエ、ダンスなどの視聴覚資料も借りられると嬉しいです。
- ・ 「予約」されることの多い児童書をたくさん用意してほしい。寄付したい絵本を受け取ってほしい。
- ・ 6才の子どもの母ですが、興味が時々によってとても偏っていて、今は恐竜に夢中です。子ども向けのおはなし会（男の子）なども時々行きますが、もちろん色々な本を読んで頂けるのは、好奇心を育むのにとっても良いと思いますが、きっかけ作りとして、あまり本を読まない男子etc. にも「虫」に関するおはなし会とか「のりもの」に関するおはなし会など、少し特化したものなどもやってみると、普段来なくても行ってみようかという気になるかもしれません。
- ・ いつも図書館にお世話になっています。ありがとうございます。子どもの絵本について、テーマごとに探せたら良いなと親目線で感じます。「食べもの」「きょうだい」「乗りもの」「友達」など、カテゴリー分けされていたらその時々で、読んであげたい本を選びやすいのでは？と思います。
- ・ おはなし会等の種類を、日本語ver. 英語ver. と増やすと楽しいと思います。一つの絵本を英語で読んだ後、日本語訳をつけながらおはなしする等工夫して自然に内容、語学にふれる機会を作ってはいかがでしょうか。
- ・ かわいい児童書コーナーは子ども心に楽しいみたいです。よい絵本をかわいく展示すると手にとって見えています。
- ・ ゲームやスマホより、奥深さのある読書体験を多くの子に実感してほしいです。不登校の子にも、図書館が開かれると良いですね。
- ・ 移動図書館が公園に来るとか、本から近くに来てくれると子どもも手にとると思います。あと、未就学児（0～3才）を図書館に連れて行くのは、静かにしなければならない場所となるのでハードルが高いです。児童館の本はなんとなく汚いイメージですし、借りられると知っている人は少ないと思います。図書館もキッズデーとかあるといいのかな？前に行っていた図書館は常連のおじ・お婆の視線が子どもが泣いたりすると痛かったです。
- ・ 奥沢図書館が古く、雰囲気が暗くて子どもが行きたがらない。新しく建て替えてほしいです。
- ・ 絵本の年齢別のおすすめなどが分かると嬉しい。
- ・ 絵本は大好きでよく「読んで」と言ってくるのですが、自分一人で読もうとしません。字の読み書きが苦手（というか苦痛？辛そうなのです）みたいで、もしかしてディスレクシアかな？と思っています。こうした子たちへの読書支援があったら嬉しいです。
- ・ 共働きで土日が中心となってしまう、平日に開催されるイベントに参加できません。専業主婦の家庭だけを基準に物事を決めないで下さい。土日におはなし・読み聞かせをやって下さい。
- ・ 子どもが実際に手に取って、選びやすい展示を行っていただけると嬉しいです。
- ・ 私は本は手に取って選びたいのでネットでは買っていません。本屋さんが減っていく中、図書館がとても育児に助かっています。

- ・ 近場に図書館が多いので恵まれた環境だと思います。
- ・ 長男は本好きで小学生のときは、毎週図書館で本を借りて年間800冊読んだこともありましたが、でもそれは地方に住んでいた時の話です。非常にのびのびと図書館を利用させてもらいました。子どもに優しいのです。東京の図書館は非常に息苦しい。親子で図書館に行くのはとても大変なのです。重い本と子どもと子どもの荷物を持って出かける。でも図書館では大人たちのゆったり優雅な空間を邪魔しないように気を遣わなければならない。涙が出そうです。また、図書館はまじめなまっとうな本好きな人用にカスタマイズされすぎており、それほど本が好きでない子を本嫌いにする空間だと思います。図書館を運営する人はそういう視野がとても狭い気がする。本が好きじゃない人は来てほしくないと思ってるのか？読書感想文も本嫌いを作り出す元凶です。読書感想コメント程度にしてほしい。景気が悪くなると、家計の中で削られるのは、子どもの本代です（スマホ代は削られない…）。図書館はもっと間口を広げてほしい。もともと本を読んでいた人だけを対象に運営してはダメです。本を読む子はどんどん減っています…
- ・ 小さい子どもを連れて図書館に行くことがすごくハードルが高く、行きたくても行けず、本当はもっと本を読んであげたかったのに、あまり読み聞かせをしてあげられませんでした。子育てひろばなどでもっと読み聞かせ活動があるといいなと思いました。
- ・ 親子でいつも利用させてもらってます。子どもは自分で本を選ぶのが楽しいようです。
- ・ 人によって丁寧だったり、話が通じやすかったりですが、3分の1ほどの方は、言い方は大人でも裏の感情の負のオーラが伝わってきたり、主に年齢の高い女性、男性の上から目線や横柄な感じがずーっと気になっています。いっそのこと、機械で貸出、返却システムが取り入れられるとスムーズになると思います。本も何度借りてもやぶれが直されてなかったりしています。
- ・ 図書館でのおはなし会や読み聞かせの時間を曜日時間固定ではなく、様々な曜日や時間帯にお願いしたいです。習い事の始まる前の時間のちょっとした間でも図書館に行くきっかけになればいいと思います。
- ・ 図書館でやるイベントをもっと知りたい。パパと図書館へ行けるイベントなど知りたい（パパと行く場所がゲームセンターになりがちで残念）。
- ・ 図書館のおかげで、親子とも充実した読書習慣をつけられており、感謝しております。読書習慣をつけるには、定期的に図書館に足を運ぶ機会があるといいのかな？と思います（イベントや、ポイントを付けたり、ハンコを押すなど…よいアイデアがなくすみません）。
- ・ 図書館の貸し出し巡回バス&おはなし会等のイベントがあると良いです。
- ・ 図書館の入口にわかりやすく1冊だけ紹介する（1冊／1日～1冊／1月）。何があるかな？と行くのが楽しみになる。
- ・ 図書館は近くにたくさんあって、とても満足しています。世田谷文学館の絵本コーナーがとても好きです。もっと子どもが楽しめる企画展などをやってくれると、もっと色々な事に興味が持てるかなあと思いました！
- ・ 図書館をよく利用しています。借りてきた本にお菓子のクズや小さな虫がついていることがあり、それがきっかけで図書館の本は汚い…と子どもが思ってしまうところがあります。なので我が家では、借りた本はベッドでは読まないルールがあります。消毒をするなど、衛生面に配慮していただけるとありがたいです。
- ・ 図書館を利用したい気持ちはありつつ開館時間は仕事があり、利用出来ませんでした。子どもが小学生になったら、少しずつ利用出来たら嬉しいです。各小学校で図書館利用に関して広報されると良いかも。（既にされていたら、すみません。）下の子は3か月ですが、世田谷でもブックスタートがあったら嬉しかったです。
- ・ 図書館大好きです。いつも本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。
- ・ 先日、図書館で本を借りる時に、司書の方が「この本僕も好きなんですよ」と息子に話しかけて下さいました。息子（5才）もだんだん大きくなってくると、親以外の大人の話をよく聞くので、司書の方が気軽に話しかけて下さるのはとても良い事だと思います。そういうきっかけで、本に興味を持つ事もあると思います。

- ・読書は大切に、貧困家庭で育った自分は図書館の本が先生でした。また、冷暖房や机もある図書館は天国でした。現在、共働きの家庭のため、図書館を利用することがありません。ネットでは購入し、自宅へ届けてもらうことが当たり前になっています。利便性が向上すると使いやすいです。
- ・読書をするるとどんなメリットがあるのかをもっと教えてくれる場がほしい。人気のある本を図書館でも借りられるように増やしてほしい。
- ・読書好きの子どもに育てたく、常に良い本を身近に置くよう心がけています。児童書が充実し、リクエストした本がすぐに手に入る環境を望みます。
- ・母である自分自身が子どもの頃、絵本を読んでもらえなかったり、小学生になっても読書する環境もなく本があまり好きになれなかった。でも本から学ぶ事はとても多いと感じているので、自分の子どもには本を好きになってもらい、どんどん読んで欲しい。経堂図書館には息子が借りたと思った本がなく、いつも予約になるが、そのせいで息子のモチベーションが下がり、図書館に行きたがらなくなってしまった。キャパの問題もあるが、ぜひ経堂図書館をもっと充実させてほしい。
- ・未就学児は静かにできないので図書館に行っても座って読むことができないのが残念です。
- ・予約や返却場所の自由など、世田谷区の図書館の使い勝手がとても良く図書館へ行くようになって、本好きな子どもはますます本をたくさん読むようになって本当にありがたいです。オススメの本の冊子を見て借りることも多くとても便利です。
- ・幼児教室や雑誌、子ども用のちょっとしたチラシのようなどころにあるおすすめ絵本を読ませようと思ったが、図書館にない、貸出し中、遠い場所の図書館にある等ですぐ読めないことがよくあった。子どもが幼いころの話です。少し大きくなると楽しめる蔵書は増えると思うが、絵本に関しては期待するほど揃ってない印象でした。

▶ 学校教育・学校図書館について

- ・私は司書さんがいなければ出会えなかった本が沢山あります（中学、高校時代）。司書さんのおかげで選択肢が広がり、さらに好きになりました。小学校にそういう人がいて欲しかった。
- ・就学予定の小学校で、夏休み中に図書館を利用できる事を知らなかった。年長の息子は本が大好きなので、入学前の家庭にもその様な情報が伝われば良いと思う。

▶ 家庭での取り組みについて

- ・もっと読み聞かせをしてあげたいが、私の体力、時間がなくてなかなか出来ない。
- ・タブレットが主流になり、また習い事等で忙しくなっているので読書のきっかけ時間が激減していると思います。友だちとも遊ばず、とにかく「ひま」な時間を作ることが、実は読書への1番の近道なので、そういう時間をあえて作ることを心がけたいです。
- ・強制ではなく、自然に本に興味を持つようになると思います。最初に、両親に本を読んでもらうのが理想ですが、忙しい、図書館が遠いetc. あると思うので、子どもと過ごす時間的余裕ができると良いと思います。その為には働き方改革が必要ですね…
- ・今は読み聞かせがメインですが、自分でも読み始めているので、今後は更に図書館に行く事も増えそうです。本は大好きで楽しみの1つようです。
- ・子ども以前に、親が読書をするような施策のほうが重要と思います。親が読まなければ、いくら環境を整えても子どもが読まない。
- ・私自身は読書が好きなのですが、息子はゲームのほうが好きみたいです。おしりたんていなどの本は楽しく読んでいるので、小学生になったらもっと色々な本を読むようにさせたいなと思っています。
- ・時間が許す限り保護者が本を読んであげることが、特に未就学児には大切だと思っています。

- ・自分が小さい頃、読み聞かせもほとんどされず、本をあまり読まないまま大人になってしまったので、子どもには息を吸うように本を読むようになってもらいたいと赤ちゃんの頃から読み聞かせの時間を取ってきました。そのお陰で、時間があると本をパラパラめくって読むようになりました。小学校に入り、親と離れる時間が多くなった時も本を読む事を続けてもらいたかったので、小学校の先生にも読書の大切さを話していただいたり、隙間時間を読書にあてる時間にしていただけるといいなと思っています。また、今思えば、赤ちゃんの頃の児童館の赤ちゃんタイムで図書館館長さんの読み聞かせの時間、ボランティアの読み聞かせる会、子どもが本を好きになる大事な時間だったような気がします。
- ・親が読書をしている姿を見せて、親子でもっとたくさんの本を読みたい（読ませたい）と思います。
- ・図書館は子どもの読書への環境作りに良い場所です。もう少し親子で利用頻度を上げ読書習慣を付けていきたいです。
- ・友人が友人の子どもに毎日1時間読み聞かせを（未就学児の頃）続け、現在6年生のその子は毎日1～2冊本を読む力を身につけています。親の努力が未来を明るくすると確信し、少しずつ努力しています。

▶ その他

- ・自身が子どもの頃、ほとんど本を読むことはありませんでした（授業は除く）。大人になって、どんな分野においても書籍は存在し、本の世界は広いことを知りました。そのことを子どもの頃に知っていたら、もっと出会えていた本も多かったかなと思います。“食わず嫌い”ではありませんが、本の“読まず嫌い”はもったいないと思います。本は身近なもの、子どもたちに教えてあげたいです。
- ・小学生の兄姉の影響で、幼稚園児も毎日マンガを読んでいます、その集中力と読んだ後の記憶力に驚きます。今までマンガは否定的イメージでしたが、本人が楽しんでいるなら良いかな、と思っています。
- ・読み聞かせの時間をなかなかとれなくて悔やまれる。
- ・日本の昔ばなしを読みたがらないのは、どうしてだろうといつも疑問視している。読み聞かせが好きで、自分から本を読まない。
- ・保育園で絵本のリサイクル、貸し出しなどをすると、多くの方に活用されるのではないかと思います。
- ・保育園で絵本を読んでもらったり、たくさんの絵本を自由に手にできることは、（読めなくてもページをめくるだけでも）、子どもにとっては大切な経験で、これからもそういった保育や環境の維持をお願いしたいです。
- ・本を楽しむ力、身につけてあげたいです。
- ・名作を含め、絵本や書籍が無造作にゴミに出されているのを拝見するたび心が痛みます。本のリサイクルの機会やその情報を増やして、区内の学校や図書館で子どもたちのための本がもう一度活躍するチャンスを作って頂きたいです。家庭で読書の時間を設けて、それぞれの読んだ本と感想を話し合うという宿題を学校から出して頂き、家庭で、クラスで、皆の読書経験を共有して楽しむという案はいかがでしょうか？
- ・幼稚園で毎週本の貸し出しがあり、子どもが自分の好きな本を貸してもらえる環境にいます。先生方のおかげもあり、子どもは本が大好きになりました。読書を家庭だけでなく、幼稚園・保育園など日々の生活の中で取り入れていくことが大切だと思います。

小学3年生 保護者

▶ 地域の図書館について

- ・ “図書館探検”などを企画して、図書館の魅力やおもしろさ、活用の仕方のレクチャーなどを子ども向けにやってみるのはいかかでしょうか。子どもと一緒に調べものをしたい時や、知りたいことがあった時、どんな本を選べば良いのか、気軽に相談できる窓口の担当者がいるといいのになあと、いつも思います。
- ・ テレビ・ゲームの影響で読書に対する興味が思ったより増えずに残念です。シリーズものと、せっかくだから全部読んでみようと思ったりするので、シリーズものを増やしてほしいです。あと、シリーズもので欠番があるのが残念です。
- ・ 以前、図書館のスタッフの対応が悪く行く気がしない。スタッフの質が悪い。
- ・ 近くの尾山台図書館は、本の並び方が著者名順でわかりにくい（タイトルはわかるけど著者名がわからず、いちいち調べないといけません）。どうしても読みたい本は検索しますが、本当はふらっと歩きながらタイトルを見て手に取ってというように選びたいです。
- ・ 最も利用しているのが（しやすいため）、深沢図書館です。子どもが未就園の頃は絵本・紙芝居など必要な図書が充実していると思っていましたが、小学校に入学すると、世界の名作などに不足を感じるようになりました。古典的な名作も揃えていただけると大変ありがたいと思います。
- ・ 最近は図書館の司書の方が非常勤にされてしまうケースが目立ちますが、正規の職員として存分に力を発揮できることを望みます。学校の中でも、図書の先生の存在感が大きくなるといいなと感じております。
- ・ 子どもが図書館好きなので、これからも活用させていただきます。
- ・ 私の子どもは幸い本が大好きですが、本を全く読まない子は本に触れる事すらしないと思います。なので、まずは図書館に行きたくなるように、もっと世田谷の図書館も充実してほしいと思います。工夫している所はたくさんありますので、ぜひお願いします。
- ・ 私は地方出身なので、世田谷区の図書館を初めて利用した時に、本の多さ、区内での図書館の多さ、ネット予約や近所の図書館に届けてくれる等のサービスの充実具合に本当に感動しました。なので、子どもにもよく図書館を利用させています。これからも沢山の本と出会える場所になってくれたらと思います。
- ・ 外国、ドイツなどでは、ディスレクシアの子どもの為に音声図書が沢山あるそうです。日本でもディスレクシアの子どもは10人中0.5人はいます。ディスレクシアの子どもの為に本棚を用意してあげて下さい。
- ・ 主に砧図書館を利用しています。子ども用のクツをぬいで本を読むスペースがあり、小さい頃から紙芝居や本を読んだりなど活用させて頂きました。やはり床に直に座りこみ、本を読むのは精神的にも安心し、落ち着いて本に集中できるようでとても良いスペースだと思います。出産してからは、今までほとんど利用しなかった図書館にたびたび行くようになりました。未就学のお子様を持つ母親にとって図書館は天候に関わらず利用しやすい施設だと思います。おはなし会、その他のイベントなどますます充実した活動をして頂けたら嬉しく思います。
- ・ 図書館で子どもが何冊も本を借りたいと持ってきます。読む事も好きなようですが、“借りる”という動作・行為自体が好きなようです。自分のカードで1人で借りた時も、すごく満足気でした。優しく対応してくださる職員さんに感謝しています。ありがとうございます。
- ・ 図書館のおはなし会、とっても興味ありましたが、仕事の都合上、行けませんでした。残念に思っています。

- ・ 図書館の子どもコーナーに、足をのばして座り、読み聞かせのできるスペースがほしい。館内で飲食コーナー（軽食）スペースがほしい（食事というより、おやつや水筒で一息つきたい）。未就学児と児童の棚を分け、タイトルのあいうえお順（現況、作者名順は読みたい本が見つけれない）。語り継がれる昔話の本の棚を独立。
- ・ 図書館の本を詰めすぎて並べると、子どもの力では取り出せない様子でした。子ども目線に平置きの本が並んでるといいな。
- ・ 他の区の子ども図書館に1年生の時連れていったところ、人物の本に興味をがあることを知り、それから40冊以上わが家に購入した本が並んでいます。親も子どもの興味を知る場として活用できました。子どももたくさんの子ども向けの本を小さい頃よく図書館で読んでいました。子ども図書館がもっと身近にあると、小さい子も連れていきやすいと思います。
- ・ 男子なので、騒いでしまうと図書館はためらってしまいます。昔のように青空図書館を実施してほしいです。
- ・ 本当であれば図書館を利用したいのですが、近くに図書館がなく、仕事をしているためなかなか利用できず残念に思っています。近く（生活行動内）に図書館があれば、子どもも利用する回数が多くなると思っています。
- ・ 問20にも書きましたが、近くに図書館がなく、子どもが友達と利用する、雨の日に行く場所もないとよく言っています。小さくても、もっと図書館を増やしてほしいです。

▶ 学校教育・学校図書館について

- ・ 学校の司書の先生が、もう少し積極的に子ども達に関わってくれと、子ども達も本が好きになると思いました。他校と比べ、子ども達への声かけが少ないように感じます。
- ・ 学校の先生が、朝の時間に音読してくれています。皆が本好きになったようで、とても効果的な活動だと感じています。今の時代、どういった本であるかは、目で見て、聞いて感じるほうが伝わるのかなと思いました。
- ・ 私が小学生だった頃、学校の図書室はいつでも開いていたように思います。好きな休み時間に行って、好きな本を読んで読み終わらなかつたら借りて帰っていたように思います。今の小学校は、図書室が開いている時間が限られていたり、借りられる日が限られていたり、せっかく借りたくても借りられないと言っているのをよく聞きます。もっと小学校の図書室を身近なものにしてほしいです。
- ・ 私自身本を読むのが大好きですが、今はYouTubeなどネットが多く、本にふれる機会が子どもは少ないなあと感じています。図書の時間など、より充実するといいな。本はすばらしい。色んなことを学べる。
- ・ 小学校で、マンガを禁止されることがよくあります。たしかにアニメ等は、あまりよく思わないのですが、「歴史マンガ」や「学校では教えてくれないシリーズ」他にも、「どうして勉強するのか」「かっこいいってどういうこと？」等、とても為になり、楽しく気楽に読めるマンガが増えています。むやみにマンガ調だからNGとされる認識を先生方も改めてほしいと思っています。好きな本が必ず手に入り、勉強スペースも提供されるTSUTAYA、T-siteに、3人の子どもは行きたがり、図書館の魅力はあまり感じる事ができていません。
- ・ 小学校へ上がると図書館へ行く時間が減少します。各小学校の本を増やしてほしいです。

▶ 家庭での取り組みについて

- ・今の子どもはユーチューブなどに夢中になりがちですが、本を読むことで知識を深め、想像力を上げられる子どもになってほしいと思います。そのためには、まず身近な親たちが見本を見せる。本の楽しさを教えてあげることが大切と考えています。
- ・子どもの読書活動には、大人の姿勢や働きかけが必要だと気づかされました。
- ・小学校では読書の時間を大切にしてくれています。保護者による読み聞かせも実施しています。家で何ができるかももう一度考えてみたいと思います。
- ・最近はタブレットを利用して読書をすることもあります（ベネッセ、チャレンジpad）。最初は抵抗もありましたが、今では良いキッカケだったと思います。紙とweb、読書も上手に使っていかなくてはと思いました。
- ・男の子がいるのですが、中々本に興味を持ってくれず困っています。ゾロリやドラえもん（マンガ）だと読んでくれるので、その辺ばかりであとは読み聞かせで読書といった感じです。
- ・平日は学校や習いごと、外あそびもしたりと忙しく、なかなか読書タイムの確保が難しいです。小さかった頃のように眠る前の読み聞かせ、もう小3になりましたが、好きな時間でしたので、また復活させてみたくなりました。

▶ その他

- ・楽しく読書量を競わせるイベントをしていた学校の生徒さんの大半が、それをきっかけに本好きになっていたのによいと思いました。
- ・マンガやライトノベルは子どもにとって始めやすい「本」です。字だけの「本」が「本」ではありません。「読書」に対して考え方が古い。
- ・現在、小学3年生（男児）ですが、恐竜などについて詳しく知りたい時、ちょうどよいレベルの本を選ぶのは難しい。じっくり読書する時間をなかなかとれないが、読書の楽しさを知ってほしいです。
- ・子どもが小学3年なのですが、やはりマンガが好きです。もっと、子どもに読ませたいマンガが増えればいいなあ、と感じています。
- ・読んだ本の感想を発表したり、本で調べた事をレポートにまとめたり、子ども達がアウトプットする場もあると良いと思いました。
- ・本を読むことが勉強の原点だと思うので、楽しく、たくさんの本に触れてほしいと思っています。新しい発見をした時に、本の内容の話をしてくれる様子がいきいきしています。
- ・本好きになってほしいと思う親は多いと思います。子どもがなかなかそうではなく、悩ましいです。何とかきっかけがほしいです。

小学6年生 保護者

▶ 地域の図書館について

- ・ いつも図書館を利用させていただいています。子どもが幼い頃は、もっと本にふれる機会をつくっていましたが、今は自ら好きな本を読んでいるようです。好きな本に出会うきっかけを大人がつくってあげられるといいですね。
- ・ 日本語以外の本も読めれば良いと思います。本アンケートは日本語の本の読書の機会についてお答えしました。
- ・ 我が家は、子どもが小さい時、基本テレビはつけず、買うおもちゃを半分にし本を月2冊配本して頂く様にして、あい間あい間に読み聞かせを夫婦でしておりました。今、子どもが6年生になり、その方針はまちがってなかったと確信しております。配本を選んだのは、今の年齢の我が子にどの本を与えるのが良いのかわからなかったのがきっかけですが、その判断も良かったと思っています。子どもはその年齢に応じたふさわしい本をその時に読み聞かせてあげるのが子どもの心を成長させていると実感しております。ですので、図書館でもそれぞれの年齢に合わせた本当に子どもに良い本の紹介リストは有効だと思います。今は配本+学校の図書館の本を読みあさる毎日です。決して勉強がすごくできる訳ではありませんが…。
- ・ 近くに図書館がなく読む本が限定的になってしまっています。もう少し身近にあれば子どもの読む本の幅が広がると思います。
- ・ 近所の図書館の蔵書数を増やしてほしい。学生が使えるスペースも増やしてほしい。
- ・ 今の時代に合ったメディアの提供が望ましい。（LINE、タブレット等の活用）
- ・ 今は受験のため、ほとんど読書に割く時間がない状況ですが、来年からはまた図書館をたくさん利用させてもらおうと思っています。引き続き蔵書の充実をお願いいたします。
- ・ 子どもが見やすいように低い棚に本を置くなど、図書館で工夫してほしい。作家順に並べるよりも時々テーブルに並びかえて（ハロウィン、豆まき、海など）、注目させるような工夫がほしい。
- ・ 図書館で借りた本を返すのが大変になり、図書館をあまり使わなくなってしまいました。荷物などをコンビニで受け取れるように、本もコンビニなどで返せると、とても便利だなと思います。なかなか難しいと思いますが…。
- ・ 図書館には質の良い児童書を増やしてほしいと思います。マンガ風のさし絵や大きすぎる活字のものばかりではないほうがいいです。また、先日「宇宙」に興味を持って資料を調べに行きましたが、古いものが多く、20年前の本などでは団体名や情報が古すぎて役に立ちませんでした。調べ学習に使うには、定期的に蔵書の見直し・入れ替えをしていただきたいと思います。
- ・ 図書館は、年齢を問わず誰もが集えるとてもステキな場所だと思うので、もっと数を増やして、自宅から近いところにも図書館ができれば嬉しいです。また、自習やパソコン作業などができるスペースももっと増やしてほしいです。
- ・ 図書館をよく利用している様です。
- ・ 子どもが小さい時も、今の自分も図書館を利用したいが、フルタイムで働いており、土日にも忙しいと返却するタイミングを考え借りれなくなってしまう。郵便ポストがコンビニにあるように、返却ポストがコンビニにあったら、子どもも大人ももっと図書館を利用できると思う。
- ・ 他府県でやっている図書通帳を世田谷区も作ってほしいです。
- ・ 大人が読書を楽しむ姿を見せるのが一番だと思う。小1～小3が一人で読める、絵本以外の本が探しにくい。小1～3は漢字ルビが総ルビでないと読めない場合が多いが、だんだん全ひらがなの絵本ではものたりない、ということがある。本に「総ルビ」という表示があると、絵本から児童書へのスムーズな移行ができると思う。

- ・読書量が多いと文章力が養われ、知識が深まり良いと思っているので、学校に行くようになるまでは、よく図書館を利用し、私が幼い頃に読んだ本など読み聞かせをしました。娘は、読書好きになり作文も抵抗なく取り組めるようになったきっかけになったのではないかと思います。仕事と育児に追われ読書の時間をとれなく残念です。
- ・尾山台図書館は借りたい本が揃っていないので、他館から取り寄せる事の頻度が多く不便に感じる（急いでる時は特に）。

▶ 学校教育・学校図書館について

- ・ブッククラブを学校の授業でも取り入れて、アクティブ・ラーニングを進めてほしい。
- ・夏休みや冬休みなどまとまった休みのドリルなどの宿題は減らし、本をたくさん読む時間を作ってほしいです。忙しい高学年は休みの時なかなか時間がとれません。海外や日本のASIJでは宿題をやった学校とそうでない子どもとの学力に差はそれ程ないが、読書量は後々の学力に大きく影響するという研究結果があると説明しています。
- ・学校の課題、受験の低年齢化により、読書時間が減ってそうです。図書館だけでなく、教育改革が抜本的に必要です。
- ・学校の宿題で、ランダムに選ばれた（自分で選ぶのではなく）本を読む、感想文を書くといった事があれば、興味の幅が広がって、知らない好きな本に出会えそうな気がします。
- ・学校図書室の蔵書が少ない。
- ・子どもの通っている小学校では、天気の良い日は必ず休み時間に外に出なくてはならないというルールがあるそうです。もっと子どもたちを自由にしてあげてほしい。私が小学生のときは、休み時間に本を読むことが許されていて、友達と本を交換して読んだり、競い合うように推理小説やルパンを読んだりしたことが楽しかった。
- ・息子の小学校で朝の時間に保護者によるボランティアがあります。が、授業数（時間）の確保のため、年々開催日が減っていきます。小学校高学年になっても読み聞かせはあると嬉しいようです。教育委員会と連携し、こういう不斷の努力も必要です。

▶ 家庭での取り組みについて

- ・子どもが高学年になると、習い事や塾が忙しく、一緒に図書館へ行く機会がめっきり減りました。幼稚園の頃は月2～3回図書館へ行き、一緒に本や紙芝居を楽しく選んでいたことを、なつかしく思い出しました。今は、書店で選んで買うことが多くなりました。上の子の本棚から借りることもあります。
- ・子どもは小6男子ですが、こどもの友（年長対象）の定期購読を続けています（本人の希望）。時々、「読んで」と寝る前の読み聞かせタイムもあります。本を読んでもらうという事は、子どもにとって大切な事なのかな…と実感しています。
- ・小さい頃はたくさん本を読んでおり、借りておいておくと、次から次へ読んでいました。小さい時にたくさん読んだ力がついているのか、国語は得意。読むのも速いのは、今となっては財産です。読書力は、すぐには身につかない。また、本人が興味のあるものでないと読まないと思います。
- ・同じように育てましたが、上の子は大の本好きに。一方下の子は、体を動かすほうが好きなようです。大人としては、本人が気が向いたときにいつでも接する環境を整えてあげることしかできないですね。ただ、やはり語彙を多く知っていると自分で考えていることを相手に伝える能力に雲泥の差ができ、不要な誤解・トラブルの素になりかねないので、楽しんで国語力を身につけるせっかくのチャンスは生かしてほしいです（最後はぐちになってしまった…）。

- ・読書週間や、ノーテレビ、ノーゲームデーなど学校でやっているのを下の子どもから聞いてはいませんが、学校での指導だけでは無く、家族で親兄弟と一緒に本のいいところを理解して、率先して読むなどをするほうがいいかと思います。残念ながら近所の図書館は子ども達が小さい頃に何度か行きましたが、そんなに充実しているとは感じなかった為、今は使ってません。
- ・本が好きで図書委員長をしているので、他の子より本に近いと思いますが、なかなか読む時間が作れないのが現実です。忙しい日々の中でも本の世界に“行ける”ように時間を調整してあげたいと、改めて思いました。
- ・本を読む行動は自発的なものだと思うので、他人に評価されたり、授業で皆で行かせたりするものではないと思う。幼い頃から親が読んであげる、というのが大きい環境作りだと思う。保育園や幼稚園からでも多くの本に触れる事が、その後の読書の習慣につながっていくと思う。
- ・娘は読書好きで、暇さえあれば本を読み、学校では図書委員を何度もやっています。幼少の頃に読み聞かせや図書館に行くなどしましたが、その効果なのかは分かりません…。でも有難いことです。お友達と面白かった本を共有するなど周りの影響もありそうです。言葉の能力や論理的思考力にはまだ結びつかないのが歯痒いところですが、読書は娘にとって癒やしの時間のようなので、なるべく読書時間は確保してあげたいです。

▶ その他

- ・デジタルの本もあるが、それは欲しい情報をすぐにとりたい、ザッピングして読むには良いが、なんとなくながめたり、表紙を見て手にとるなど、本に囲まれる体験が大事なかなと思います。
- ・ネットが盛んになればなるほど、情報の真偽を判断できるようになるためには読書が必要になる。そのことをもっと広く伝えられたら。
- ・ビブリオバトルで他学校のお友達がどのような本を読んでいるか、どのように紹介するか、見てみたいです。
- ・現在小6で受験準備中です。本を読む時間が確保できません。
- ・今の時代、何でもマンガで読めてしまうので…あまり読書する姿を見ないのでとても心配です。
- ・書店を維持する取り組みはできないでしょうか。身近に新しい本を「見つける」ことができません。
- ・本とマンガを分けて考えなくてもいいのではと思います。
- ・問16と19に「ほめる」という言葉があったことに違和感がありました。

中学3年生 保護者

▶ 地域の図書館について

- ・インターネット上の検索システムをもっと使いやすく良いものにしてほしいです（キーワードでもっと広くヒットすればいいなと思っていました）。
- ・経堂図書館等、委託だと聞いています。そのせいか、職員の方がよく入れかわっていると思います。残念です。
- ・子どもに焦点をあてた図書館、授業の一貫で定期的に「図書」の時間がある、図書室（学校）の開館時間が長く借りやすい環境。このような地域に住んでいた時、周りには読書を当たり前にする子どもが多かったです。
- ・発達の遅れがある子をフォローしてくれる窓口も設けてほしいです。図書館の本が古いものも多い。昭和時代の手芸やケーキの作り方の本など興味がわからない。ドリンクやフードを持ち込めるデスクを作してほしい。
- ・小さい子どもはほめてあげると本当に喜び、読み、知ることへの扉が開くと思うので、小さいお子さんをお持ちのお母さんに向けての広報活動があればより良いと思う。
- ・図書館において、本がもっときれいだったり、読むスペースが広がったり、きれいだったりすると良いと思います。
- ・声優志望の方に読み聞かせしてもらおう。ラジオのアナウンサーさんに読み聞かせしてもらおう。英書を充実させる。
- ・地域で本を読むと通帳記入をしてくれるところがあると聞きました。世田谷区も導入していただくと、本を読む意欲がわくのではないかと思います。
- ・中学校に入り、スマホを持ってから、図書館に行くことも、本を読む時間も圧倒的に減りました。親が借りてきて渡すと少し読むので、そのようにしています。もう少し、中高生が好むような本が図書館に多くあるといいなと思います。
- ・問20にも書いたように、子どもが小さいころは図書館は居場所としてもありがたかった。ただ遠くにしかなかったのが残念。狭くてもいいから何か所か図書館があるといい。日中の司書のパートはすぐ見つかると思う。
- ・問7について。問20でも答えましたが営業時間が短い（早すぎて）行けません。遅い時間に開いているなら今でも行くでしょう。
- ・幼稚園の年中～年長の1～2年の間、小学校受験の為に必死で調べて、借りて、読み聞かせをしました。これだけはテストに出るというものをピックアップしました。今では親子の良い思い出です。本の充実期待します。

▶ 学校教育・学校図書館について

- ・我が家の徒歩10分圏内に図書館はない。世田谷区はたくさん学校があるのだから、学校の図書室をもっと開放してほしい。管理やセキュリティ等、課題はあるだろうが、子どもの身近な場所を上手く活用できると嬉しい。教科がぎっしりつまった時間割の中で、図書室利用の時間がとれない現実。せつかくの図書室がもったいない。本を選ぶ楽しみも大切なので、もっと利用できる時間を作ってあげてほしい。読書感想文のために本を読むだけになりがちだからつまらない。本を読むことでの結果（効果）を求めすぎるから、子どもは嫌になるのではないだろうか。本を手にする時間と環境、本を選ぶ楽しさ、本を自由に読む（感じる）面白さを与えてあげられたらと思う。
- ・学校が本気で読書させたいと思っていると思えない。読書環境を整えたいなら、学校が変わらないと無理。
- ・学校での調べ学習の方法が、パソコンが主流になっているのが、時代とは言え、とても心配です。

- ・書店が減る時代になり、本というものが遠ざかっている。授業参観で子どもの読書の時間に行ったが、本を読まず、遊び騒ぐ子ども達が大半であった。学校でそのような状態であるのに本は大切か否かのこのアンケートに疑問がわく。学校での本への教育を問いたほうが早いのでは？

▶ 家庭での取り組みについて

- ・基本は、幼少期からの読み聞かせ。少し大きくなったら、マンガも読むのを敵視しないでいると、また、自分の中から、読みたい気持ちがわいて来て、本に戻って来るので、ある程度成長したら見守ることも大切。
- ・読書量と学力には大きなつながりがあると思います。学校だけでなく、保護者にも本の重要性が伝わると思います（タブレット、映像では培えない力がつくこと）。
- ・言葉も文字も分からない小さい頃からの読み聞かせが大切だと実感しています。上の子には毎晩読んであげましたが、下の子には余裕がなく、ほとんど読んであげられませんでした。上の子は読書好き、下の子は読書嫌いになってしまいました…。
- ・子どもの読書習慣は、基本的に学校や図書館よりも家庭教育の一貫で養うものと考えています。
- ・小さい頃に読み聞かせやたくさん本を借りて与えたが効果がなかった。本の内容について話したり、ほめたりしなかったから、本好きにならなかったと思う。
- ・本を読むって楽しいとわかれば、自然に本を読む子になると思うので、親子でいろんな本を読んでいきたいと思います。

▶ その他

- ・“紙での読書の持つ意味”を大人がきちんと子どもに伝えていかなくてはならない。そのためには、本を読む意味を、子ども目線で考え、今の子どもの理解力や興味にあった内容を考えるべきである。従来のような読書のすすめ方では、一部のかしこい子しかついてこないと思う。
- ・スマートフォンの普及とともに、本を読む機会が極端に減ってしまった。学校で出してくれる課題図書のみ読んでいる状態で、もう少し本を読んでほしいと思っていても、本人には響かず残念です。
- ・以前、上の子が小学生の時、図書館のボランティアをしていました。その頃のことを懐かしく思い出しました。上と下では13歳離れているので、時代も変わり本よりもタブレットやパソコン、スマホ、アイパッドが主流になってしまい寂しく思います。
- ・今はテレビやインターネットで手軽に楽しい映像を見られますが、文字を読んでイメージを広げるといふ読書の楽しさを持ってほしいなと思います。
- ・子どもは中3男子ですが、学校の図書館の本は読まず、ライトノベルを読んでいます（買ったり、中古本も含めて）。親はもっと地元や中学の図書館を利用したら良いのと思うのですが、難しいなあと思います。
- ・読ませたいけれど、忙しすぎてどうにもならない。
- ・読書は多くのことを育むために最も効果的な方法なので、その重要性について、啓蒙することを行政を中心に拡充してほしい。

第3章 調査票

I 子ども向けアンケート

●以下の質問について、あてはまる項目の番号に○をつけてください。

●書き終わったら、ご家族の方に渡してください。

問1 あなたの性別を教えてください。(どちらかに○をつけてください)

1. 男

2. 女

本を読むことについて質問します(マンガ、新聞は入れないで教えてください)

問2 あなたは本を読むのが好きですか。(1つに○をつけてください)

1. 好き

2. どちらかといえば好き

3. ふつう

4. どちらかといえば嫌い

5. 嫌い

問3 あなたが本を読むのはどうしてですか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. おもしろいから・楽しいから

2. ためになるから

3. 友だちが読んでいるから

4. 家族が読んでいるから

5. 調べものをするため

6. 友だちや家族、先生にすすめられるから

7. ほめてもらえるから

8. その他(具体的に:

)

問4 あなたはどこで本を読んでいますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 自分の家

2. 学校

3. 図書館

4. 児童館

5. 新BOP

6. 塾

7. 友達の家

8. 親戚の家

8. 親戚の家

9. その他(具体的に:

)

問5 あなたは1か月の間にだいたい何冊本を読みますか。

(1つに○をつけてください) ※同じ本を2回読む場合は、2冊と数えてください。

1. 読まない

2. 1～3冊

3. 4～6冊

4. 7～10冊

5. 11～15冊

6. 16冊以上

問6 【問5で「読まない」または「1～3冊」と答えた人だけが回答してください】

あなたがあまり本を読まないのはどうしてですか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 本を読みたいと思わないから	2. 塾や習い事で時間がないから
3. 放課後活動や部活動で時間がないから	4. 友だちと遊ぶほうが楽しいから
5. テレビやゲームのほうがおもしろいから	6. マンガのほうがおもしろいから
7. 何を読んだらいいか分からないから	8. その他 (具体的に:)

問7 1年前と比べて、本を読む量が変わりましたか。その理由も教えてください。

(読んだ量に1つ、その理由についてはあてはまるものすべてに○をつけてください)

量	1. 読む量が増えた	2. あまり 変わらない	3. 読む量が減った
	↓		↓
理由	1. 学校で読書の時間が増えたから 2. 本を読むのが好きになったから 3. 勉強で必要になったから 4. 本を読むのをすすめられたから 5. 学校以外で読む時間ができたから 6. その他 (具体的に:)		1. 学校で読書の時間が減ったから 2. 本を読むのが嫌いになったから 3. 読みたい本がなかったから 4. 忙しくなったから 5. その他 (具体的に:)

問8 授業以外で、あなたが1週間に次のことをしている日数を教えてください。

(項目ごとに1つずつ○をつけてください)

項目	1週間にしている日数							
	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	毎日
本を読む	0	1	2	3	4	5	6	7
マンガを読む	0	1	2	3	4	5	6	7
ゲームをする (スマホなどでするゲームも含める)	0	1	2	3	4	5	6	7
外で遊ぶ、スポーツをする	0	1	2	3	4	5	6	7
塾に行く	0	1	2	3	4	5	6	7
習い事やおけいこ事をする	0	1	2	3	4	5	6	7

問9 あなたは小さい頃、家族や身近な人から本を読んでもらっていましたか。

(1つに○をつけてください)

- | |
|----------------|
| 1. よく読んでもらった |
| 2. ときどき読んでもらった |
| 3. たまに読んでもらった |
| 4. 読んでもらわなかった |

学校の図書館について質問します

問10 あなたは1か月の間に学校の図書館にだいたい何回行きますか。

(1つに○をつけてください)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 行かない | 2. 1～2回 |
| 3. 3～4回 | 4. 5回以上 |

問11 【問10で「1～2回」「3～4回」「5回以上」のどれかを答えた人だけが回答してください】

あなたは1か月の間に学校の図書館で平均何冊の本を借りますか。

(1つに○をつけてください)

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 借りない | 2. 1～3冊 | 3. 4～6冊 |
| 4. 7～10冊 | 5. 11～15冊 | 6. 16冊以上 |

問12 学校で読書についてしていることで知っているものがありますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1. 読書の時間（朝読書など） | 2. 読み聞かせ |
| 3. ブックトーク（本の紹介） | 4. おすすめの本が載っているリスト |
| 5. 読書週間の行事 | 6. その他（具体的に： _____） |

問13 あなたはどんな学校図書館だったらいいと思いますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 新しい本がある | 2. 本がたくさんある |
| 3. 自分の読みたい本がある | 4. 長い時間開いている |
| 5. 学校の行きやすい場所にある | 6. いつも先生（司書）がいる |
| 7. 本の相談にのってもらえる | 8. 本を読める場所がたくさんある |
| 9. その他（具体的に： _____） | |

地域の図書館について質問します

問14 あなたは1か月の間に地域の図書館にだいたい何回行きますか。
(1つに○をつけてください)

- | | |
|---------|---------|
| 1. 行かない | 2. 1～2回 |
| 3. 3～4回 | 4. 5回以上 |

問15 【問14で「行かない」と答えた人だけが回答してください】
あなたが地域の図書館に行かないのはどうしてですか。
(あてはまるものをすべてに○をつけてください)

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 本を読まないから | 2. 家から図書館が遠いから |
| 3. 本は買って読むから | 4. 行きたい時間に開いていないから |
| 5. 行く時間がないから | 6. 学校の図書館を使っているから |
| 7. その他 (具体的に: _____) | |

問16 あなたは1か月の間に地域の図書館でだいたい何冊の本を借りますか。
(1つに○をつけてください)

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 借りない | 2. 1～3冊 | 3. 4～6冊 |
| 4. 7～10冊 | 5. 11～15冊 | 6. 16冊以上 |

問17 これまで地域の図書館の「おはなし会」などに参加したことがありますか。
(1つに○をつけてください)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. よく参加した | 2. ときどき参加した |
| 3. たまに参加した | 4. 参加したことがない |

問18 「世田谷区立図書館」のホームページにある「こどもページ」や「Teensのページ」を知っていますか。(どちらかに○をつけてください)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

問19 世田谷区では「毎月23日は世田谷区家庭読書の日」としていますが、聞いたことがありますか。(どちらかに○をつけてください)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

アンケートへのご協力、ありがとうございました。
書き終わったら、ご家族の方に渡してください。

Ⅱ 保護者向けアンケート

保護者用

- 以下の質問について、回答欄の当てはまる項目の番号に○をつけてください。
【 】に但し書きのある質問は、該当する方のみ回答してください。
 - 「その他」を選択された場合には、お手数ですが、具体的な内容をご記入ください。また、自由に回答を記入していただく質問もございますが、ご協力いただきますようお願いいたします。
 - お子さんに関する質問については、**封筒の宛名のお子さん**についてお答えください。
 - お手数ですが、**10月15日（火）**までに、お子さんが記入した調査票と一緒に同封の返信用封筒で返送してください。
- ※ 封筒の宛名が未就学児の方は、この調査票のみを返送してください。

問1 あなたの性別を教えてください。(どちらかに○をつけてください)

1. 男性

問2 あなたの年齢を教えてください。(1つに○をつけてください)

1. 20 歳未満 2. 20～29 歳 3. 30～39 歳
4. 40～49 歳 5. 50～59 歳 6. 60 歳以上

あなたの日ごろの読書状況についておたずねします
(マンガ、新聞は除いてお答えください)

問3 あなたは本を読むのが好きですか。(1つに○をつけてください)

1. 好き 2. どちらかといえば好き 3. 普通
4. どちらかといえば嫌い 5. 嫌い

問4 あなたはどこで本を読んでいますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 自宅 2. 図書館 3. 電車やバスの中
4. 職場 5. その他（具体的に： ）

問5 あなたは1か月間に大体何冊本を読みますか。(1つに○をつけてください)

※同じ本を2回読む場合は、2冊と数えてください。

1. 読まない 2. 1～3冊 3. 4～6冊
4. 7～10冊 5. 11～15冊 6. 16冊以上

問6 あなたは子どもの頃、家族や身近な人に本を読んでもらっていましたか。

(1 つに○をつけてください)

1. よく読んでもらった 2. 時々読んでもらった
3. たまに読んでもらった 4. 読んでもらわなかった

問7 あなたは1か月間に大体何回図書館へ行きますか。(1つに○をつけてください)

1. 行かない 2. 1～2回 3. 3～4回 4. 5回以上

問8 あなたは1か月間に大体何冊図書館で本を借りますか。(1つに○をつけてください)

- | | | |
|----------|-----------|----------|
| 1. 借りない | 2. 1～3冊 | 3. 4～6冊 |
| 4. 7～10冊 | 5. 11～15冊 | 6. 16冊以上 |

問9 世田谷区では「毎月23日は世田谷区家庭読書の日」としてありますが、聞いたことがありますか。(どちらかに○をつけてください)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問10 世田谷区の図書館で実施しているもので、知っているものはありますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 区立図書館ホームページ | 2. 講演会 |
| 3. 学校おはなし会ボランティア講座 | 4. おはなし会・人形劇 |
| 5. 学校等への出張おはなし会 | 6. ブック・リ市(リサイクル市) |
| 7. 子ども読書リーダー(司書)講座 | |

お子さんの読書活動についておたずねします

(お子さんが小学生以上の保護者の方は、問11～問18については、お子さんが小さい頃のことをお答えください)

問11 あなたは1か月間に大体何回お子さんといっしょに図書館へ行きますか、または行っていましたか。(1つに○をつけてください)

- | | | | |
|-------------|---------|---------|---------|
| 1. 行ったことがない | 2. 1～2回 | 3. 3～4回 | 4. 5回以上 |
|-------------|---------|---------|---------|

問12 【問11で「1. 行ったことがない」を選択した方のみ回答】

あなたがお子さんといっしょに図書館に行かない、または行かなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1. 子どもが本を読まないから | 2. 自宅から図書館が遠いから |
| 3. 買った本を子どもが読むから | 4. 利用したい時間に開いていないから |
| 5. 忙しくて行く時間がないから | 6. 子どもが図書館に行きたがらないから |
| 7. その他(具体的に:) | |

問13 あなたは、図書館等で実施している「おはなし会」にお子さんを連れて行きますか、または行ったことがありますか。(1つに○をつけてください)

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. よく行く・行った | 2. 時々行く・行った |
| 3. たまに行く・行った | 4. 行ったことがない |

問14 あなたが、お子さんに本の読み聞かせをしている、またはしていた頻度についてお答えください。(1つに○をつけてください)

- | | | |
|-----------|-----------|----------------|
| 1. 毎日 | 2. 週に3～6回 | 3. 週に1～2回 |
| 4. 月に2～3回 | 5. 月に1回以下 | 6. しない・したことがない |

問15 【問14で「4～6」を選択した方のみ回答】

あなたがお子さんにあまり読み聞かせをしない、またはしなかった理由は何ですか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 子どもが本を好きではないから | 2. どの本がよいのか分からないから |
| 3. 必要性を感じないから | 4. 習い事などで子どもが忙しいから |
| 5. 子どもが自分で読むから | 6. 読ませたい本がないから |
| 7. 忙しくて時間がないから | 8. その他 (具体的に:) |

問16 あなたが読み聞かせのほかに、お子さんの読書環境を整えるためにしている、またはしていたことは何ですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 子どもが本を読んだらほめる | 2. 本のことについて話す |
| 3. 自宅に本をたくさん置く | 4. 読書している姿を見せる |
| 5. 図書館に連れて行く | 6. 読書会・おはなし会に連れて行く |
| 7. 書店に連れて行く | 8. その他 (具体的に:) |

**問17 あなたは1か月間に大体何冊本をお子さんに与えますか、または与えていましたか。
お子さんのために購入した本、借りた本等も含みます。(1つに○をつけてください)**

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1. 与えない・与えなかった | 2. 1～3冊 | 3. 4～6冊 |
| 4. 7～10冊 | 5. 11～15冊 | 6. 16冊以上 |

問18 【問17で「2～6」を選択した方のみ回答】

あなたが、お子さんの読む本を入手する、または入手していた場所をお答えください。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | | |
|---------|-----------------|--------------------|
| 1. 書店 | 2. 図書館 | 3. 通信販売 (ネット通販を含む) |
| 4. 中古書店 | 5. その他 (具体的に:) | |

問19 あなたは子どもの読書環境を整えるために、学校でどのような活動が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 教員がほめる・評価する | 2. 読書の時間の設定 |
| 3. 読み聞かせを行う | 4. 調べ学習等、図書館を使った学習の充実 |
| 5. 学校図書館を使える時間を増やす | 6. 学校図書館の蔵書や情報機器の充実 |
| 7. ボランティアの受け入れなど、学校・家庭・地域の連携 | |
| 8. 学校司書・司書教諭の充実 | 9. その他 (具体的に:) |

問20 あなたは子どもの読書環境を整えるために、公立図書館でどのような活動が必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 児童書の充実
2. 子どもの調べ物相談（レファレンス）コーナーの充実
3. おはなし会、読み聞かせなどの充実
4. おすすめの本が掲載されたリストの充実
5. おはなし会などに参加するボランティアの養成・協力
6. 読書に関するイベントの実施や広報活動の充実
7. その他（具体的に： _____）

問21 あなたは子どもの読書にどのような効果を期待していますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 想像力・独創性を育てる	2. 心を育てる、感受性を育てる
3. 言語力・国語力を育てる	4. 論理的に考える力を育てる
5. 他者を理解する力を育てる	6. 好奇心・探究心を育てる
7. 知識を深める	8. 集中力を高める
9. その他（具体的に： _____）	

問22 【封筒の宛名が未就学児の方のみ回答】

あなたのお子さんが1週間に次の事をして日数を教えてください。

(項目ごとに1つずつ○をつけてください)

項目	1週間にしている日数							
	0日	1日	2日	3日	4日	5日	6日	毎日
本を読む	0	1	2	3	4	5	6	7
マンガを読む	0	1	2	3	4	5	6	7
ゲームをする (スマホなどでするゲームも含める)	0	1	2	3	4	5	6	7
外で遊ぶ、スポーツをする	0	1	2	3	4	5	6	7
勉強をする	0	1	2	3	4	5	6	7
習い事やお稽古事をする	0	1	2	3	4	5	6	7

アンケートへのご協力、ありがとうございました。

最後に子どもの読書活動についての意見などを自由に記入してください。

世田谷区子どもの読書に関する実態調査

編集・発行 世田谷区教育委員会

お問い合わせ 世田谷区立中央図書館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻3-16-8

T E L 03-3429-1811（代表）

F A X 03-3429-7436

発行日 令和2年3月